ISSN 1342-2987

仙台市博物館年報

第 43 号

平成 27 年度

仙台市博物館年報 第43号 平成二十七年度

目　　次

ごあいさつ

1．展示 …… 2
常設展示／国指定文化財の公開／特別展・企画展

2．資料の収集保管 …… 46
受贈資料／購入資料／寄託資料／資料修理／資料保存／資料の貸出／
写真資料の貸出・利用／指定文化財一覧／収蔵資料一覧／

3．教育・普及 …… 51
講座・イベント／プレイミュージアム／情報資料センター／
学校教育との連携／生涯学習施設との連携／広報

4．調査・研究 …… 66

5．仙台市史活用推進事業 …… 70

6．文化庁補助事業 …… 74

7．ボランティア …… 75

8．友の会 …… 78

9．組織・予算・運営 …… 79
博物館組織図／予算概要／職員／仙台市博物館協議会

10. 利用状況 …… 82
月別観覧者数／施設利用状況／講師等利用状況／視察対応状況

11. 条例・規則・要綱等 …… 85
博物館条例／博物館条例施行規則／キャンパスメンバーズ

12. 仙台市博物館のあゆみ …… 92

ごあいさつ

平成27年度の仙台市博物館は、前年度に『仙台市史』の刊行が終了したことにともない、学芸部門の組織編成を刷新してスタートいたしました。主に展覧会の開催を中心に活動する学芸企画室と、教育普及事業や『仙台市史』の利活用などに重点を置く学芸普及室の２室となっています。より一層充実した博物館活動が行われるよう、庶務係を含めた１係２室体制で職員一丸となって取り組んで参る所存です。

さて、東日本大震災から５年が経ちましたが、今年も復興を応援する特別展として「東日本大震災復興祈念　国宝　吉祥天女が舞い降りた！－奈良 薬師寺　未来への祈り」を開催することができました。開催中は薬師寺の僧侶による講話が毎日行われるなど、薬師寺様より多大なるご支援を賜りました。また特別展「ご覧あれ　浮世絵の華－歌麿・北斎・広重　平木コレクションの名品」では、多数の名品によって、浮世絵の変遷がわかる貴重な機会となりました。特別展「歴史姉妹都市締結40周年記念　宇和島伊達家の名宝－政宗長男・秀宗からはじまる西国の伊達」では、愛媛県宇和島市および宇和島伊達文化保存会様の全面的なご協力により、貴重な宇和島の文化財を、多数仙台で公開することができました。企画展「『仙台市史』完結･仙台市地下鉄東西線開業記念　せんだい再発見！－こんなことわかりました。平成の『仙台市史』」では、『仙台市史』の編さん事業の集大成として、仙台の歴史や文化を、展示を通して紹介いたしました。おりしも12月に開業した地下鉄東西線を利用して、多くの市民の皆様に足を運んでいただきました。常設展では展示替えを頻繁に行いながら、片倉景綱没後400年を記念した展示を展開するなど、新鮮な展示を心がけました。

教育普及事業につきましては、出前授業や体験学習プログラムを多数実施するとともに、PTA行事や各教育研究会への協力、仙台･宮城ミュージアム･アライアンス（SMMA）との連携や歴ネット事業など、多方面にわたる学びの機会の充実に努めました。大学向けのキャンパスメンバーズも16校となり、この制度を利用した大学の授業も次第に増えているところです。

また震災後の被災資料救出の取り組み等も引き続き行い、活動を紹介するパネル展示なども館外で行いました。

出版物も充実し、宇和島展をはじめとする展覧会図録や収蔵品図録「服飾　改訂版」のほか、「仙台城ポケットガイド」、「いっきに見る　『仙台市史』」、「『仙台市史』活用資料集vol.2　若林区の歴史探し」などビジュアルで活用しやすいものを各種発行しました。またより博物館に親しんでもらうため、ユネスコ記憶遺産・国宝「ローマ市公民権証書」をデザイン化したトートバッグなどのグッズも製作し好評を得ています。

地下鉄開業や新体制など、27年度は博物館にとって大きな節目の年度となりました。今後ますますの活動の充実を目指すとともに、皆様の一層のご指導とご支援のほどをお願い申し上げる次第です。

仙台市博物館
館長　遠　藤　俊　行

1. 展示

常設展示

⑴　展示概要と使用展示室

常設展示室は、総合展示室、特集展示室、テーマ展示室Ⅰ・Ⅱ、コレクション展示室Ⅰ・Ⅱ、プレイミュージアムの合計７室で構成される。

総合展示室では古代から中世、そして現在の町の骨格が形成された近世を経て、近代都市へと変貌する仙台の様子を、「むかしの仙台」「伊達政宗、仙台へ」「城」「藩」「町」「近代都市へのあゆみ」の６ゾーンに分けて紹介し、特に仙台城や城下町仙台に関する情報を充実させている。

隣接する特集展示室は、通史的な展示では紹介しにくい資料などを、様々なテーマのもとに展示している。既存のテーマ展示室Ⅰ・Ⅱが特別展会場となる場合には、その代替施設として仙台藩の武具や国宝「慶長遣欧使節関係資料」が展示されたが、それ以外の期間には、大画面をもち、他の展示室では展示の制約を受ける屏風絵の展示を行った。

２室あるテーマ展示室のうち「仙台藩の武器・武具」と題されるⅠについては、仙台藩歴代藩主の具足をはじめ、陣羽織･刀剣などを展示、「慶長遣欧使節」と題されたⅡでは、「慶長遣欧使節関係資料」を展示している。なお、両展示室はともに前・奥室の２空間から成るが、Ⅱの奥室については資料保存の観点から閉室する場合もあった。

２つのコレクション展示室では、当館の特徴的なコレクション類を特集して展示している。Ⅰでは、茶道具や古人形･漆工芸･陶磁器を展示している。この展示室の前には特別ケースを設置し、浮世絵を常時展示している。Ⅱでは、主として絵画を展示している。

これら展示室のほか、プレイミュージアムでは、具足などの複製資料を展示している。また、郷土玩具なども豊富にそろえ、大人から子供まで楽しめる体験型展示を行っている。その詳細については、「3. 教育・普及　プレイミュージアム」の稿を参照されたい。

⑵　平成27年度の常設展示

現在、９万点を超える当館の収蔵資料を可能な限り数多く展示し、来館者が楽しめるよう、季節ごとに年４回の展示替えを実施している。各コーナーでは、学芸員が日頃の研究を生かして、様々な切り口による展示を試みている。

本年度の展示で特筆するべきものとして、前年度末に国連防災世界会議の会議出席者向けに行った特別展示「DAIMYO－仙台藩と伊達家の名品」を、引き続き本年度初めに常設展として市民にもご観覧いただいたことが挙げられる。

また、伊達政宗の重臣片倉景綱の没後400年や、慶長使節のイタリア訪問400年を記念した特集展示など、常設展示の中にもアクセントとなる企画を盛り込んだ。

展示手法としては、資料の解説として設置するキャプションにおいて、小学校高学年の児童が理解できる内容を想定した「子どもガイド」の充実を図り、展示資料を身近に感じて、関心をもってもらえるよう努めた。

なお、常設展の展示替えの詳細については、小テーマは右頁「表１」を、その具体的な展示資料については後掲「常設展示展示資料目録（抄録）」を参照されたい。

⑶　外国人来館者への配慮

外国人来館者に、展示をより深く理解していただくために、これまで当館では以下のような取り組みを進めてきた。

１英・中・韓３カ国語対応の音声ガイドの導入
２英文パンフレットの作成
３小テーマの解説への英・中・韓３カ国語併記
４展示資料のキャプションへの英文併記

特に本年度については、上記のように国連防災世界会議特別展示「DAIMYO」で充実を図った英文表記のキャプションや案内表示を引き続き用いた。

⑷　今後の課題等

本年度充実を図った「子どもガイド」などのわかりやすい展示手法を推し進めるとともに、平成22年のリニューアルから６年を経て、展示テーマにも一層の工夫を加えていくことが必要である。

表１　平成27年度展示替え一覧

<table>
<tr><th>展示室</th><th>ゾーン</th><th>コーナー</th><th>旬の常設展2015春「伊達氏、仙台への道」ほか（4/14－6/7）</th><th>旬の常設展2015夏「軍都仙台－戦後70年－」ほか（6/9－9/13）</th><th>旬の常設展2015秋「片倉家特集－景綱没後400年－」ほか（9/15-12/13）</th><th>旬の常設展2015冬「仙台藩の能」ほか（12/15-3/6）</th></tr>
<tr><td rowspan="22">総合展示室</td><td rowspan="7">1　むかしの仙台</td><td>1　仙台のあけぼの</td><td>上ノ原山遺跡の仙台市内最古石器ほか</td><td>上ノ原山遺跡の仙台市内最古石器ほか</td><td>上ノ原山遺跡の仙台市内最古石器ほか</td><td>上ノ原山遺跡の仙台市内最古石器ほか</td></tr>
<tr><td>2　縄文人のくらし</td><td>上野遺跡の皮袋型土器と大野田遺跡のハート型土偶ほか</td><td>上野遺跡の皮袋型土器と大野田遺跡のハート型土偶ほか</td><td>上野遺跡の皮袋型土器と大野田遺跡のハート型土偶ほか</td><td>上野遺跡の皮袋型土器と大野田遺跡のハート型土偶ほか</td></tr>
<tr><td>3　稲作の始まりと有力者の出現</td><td>（弥生）中在家南遺跡･高田Ｂ遺跡の出土資料
（古墳）遠見塚古墳の出土資料ほか</td><td>（弥生）中在家南遺跡･高田Ｂ遺跡の出土資料
（古墳）遠見塚古墳の出土資料ほか</td><td>（弥生）中在家南遺跡･高田Ｂ遺跡の出土資料
（古墳）遠見塚古墳の出土資料ほか</td><td>（弥生）中在家南遺跡･高田Ｂ遺跡の出土資料
（古墳）遠見塚古墳の出土資料ほか</td></tr>
<tr><td>4　中央政権の進出</td><td>郡山遺跡の土偶群・陸奥国分寺跡の復興瓦（貞観地震関係）ほか</td><td>郡山遺跡の土偶群・陸奥国分寺跡の復興瓦（貞観地震関係）ほか</td><td>郡山遺跡の土偶群・陸奥国分寺跡の復興瓦（貞観地震関係）ほか</td><td>郡山遺跡の土器群・陸奥国分寺跡の復興瓦（貞観地震関係）ほか</td></tr>
<tr><td>5　陸奥国分寺</td><td>陸奥国分寺模型</td><td>陸奥国分寺模型</td><td>陸奥国分寺模型</td><td>陸奥国分寺模型</td></tr>
<tr><td>6　武士の台頭</td><td>洞ノ口遺跡の出土資料</td><td>洞ノ口遺跡の出土資料</td><td>洞ノ口遺跡の出土資料</td><td>洞ノ口遺跡の出土資料</td></tr>
<tr><td>7　神仏への祈り</td><td>陸奥国分寺の仏像</td><td>陸奥国分寺の仏像・藩主の念持仏</td><td>9/15-10/4
中尊寺の美術</td><td>10/6-12/13
信仰の中の金工資料</td><td>信仰の中の金工資料</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2　伊達政宗、仙台へ</td><td>8　伊達氏の登場</td><td>伊達氏、仙台への道</td><td>伊達氏の家臣たち</td><td>伊達氏、戦国の世へ</td><td>奥羽の戦国大名
（12/5-2016.2/7重文塵芥集）</td></tr>
<tr><td>9　仙台藩主、伊達政宗</td><td>5/19-24重文政宗具足、4/14-5/18複製政宗具足</td><td>6/9-9/13複製政宗具足、
6/30-8/30複製伊達政宗画像</td><td>9/1－10/4
複製伊達政宗画像</td><td>10/6-12/6
政宗書状特集</td><td>12/8-12/20
重文政宗具足</td></tr>
<tr><td rowspan="3">3　城</td><td>10　仙台城のすがた</td><td>遺品に見る仙台城</td><td>仙台城と江戸屋敷</td><td>城を建てる、城をなおす</td><td>遺品に見る仙台城</td></tr>
<tr><td>11　藩主と夫人たち</td><td>伊達家と茶の湯</td><td>藩主の一生</td><td>城につとめる、藩主に仕える</td><td>仙台藩の能</td></tr>
<tr><td>12　武家のくらし</td><td>4/14-5/6　武家の調度と衣装
5/8-7/20家紋と調度</td><td>7/22-9/13武家の服飾</td><td>婚礼調度</td><td>12/15-2016.2/7
武家の服飾
2016.2/9-3/6
雛調度</td></tr>
<tr><td rowspan="2">4　藩</td><td>13　仙台藩のようす</td><td>4/14-6/28仙台藩の武器武具</td><td>6/30-9/13武士の行列</td><td rowspan="2">片倉家特集－景綱没後400年－</td><td>街道を歩く</td></tr>
<tr><td>14　仙台藩の家臣たち</td><td>4/14-6/28国宝慶長遣欧使節関係資料</td><td>6/30-9/13特集
中島家資料</td><td>角懸家資料</td></tr>
<tr><td rowspan="4">5　町</td><td>15　城下町仙台</td><td>城下の中心地　芭蕉の辻</td><td>仙台城下の寺社</td><td>仙台城下絵図特集</td><td>仙台城下の町方　大町</td></tr>
<tr><td>16　町のくらし</td><td>春の行事</td><td>夏の行事</td><td>秋のにぎわい</td><td>城下の職人・商人 御大工</td></tr>
<tr><td>17　教育と文化</td><td>仙台藩の学問と思想家
（養賢堂／林子平）</td><td>仙台藩の学問と思想家
（天文学／林子平）</td><td>仙台藩の文化人と思想家
（乙二・曰人他／林子平）</td><td>仙台藩の学問と思想家
（医学／林子平）</td></tr>
<tr><td>18　新たな時代へ</td><td>仙台藩と外国</td><td>仙台藩と蝦夷地</td><td>仙台藩の軍備拡充</td><td>幕末人物伝4　坂英力</td></tr>
<tr><td rowspan="2">6　近代都市へのあゆみ</td><td>19　戊辰戦争と明治維新</td><td>戊辰戦争の風刺画</td><td>仙台藩と戊辰戦争13</td><td>仙台藩と戊辰戦争 宇和島藩と仙台藩</td><td>幕末明治を生きた人々</td></tr>
<tr><td>20　近代都市仙台</td><td>商工省工芸指導所／被災地の文化財を守る</td><td>軍都仙台－戦後70年－</td><td>教育・戦争と地域社会</td><td>教育にみる仙台と近代手工業</td></tr>
<tr><td rowspan="2">特集展示室</td><td colspan="2">東側ケース</td><td rowspan="2" colspan="2">東日本大震災復興記念特別展
「国宝　吉祥天女が舞い降りた！」（4/24-6/21）</td><td>6/26-9/13屏風絵</td><td>9/15-10/4屏風絵</td><td rowspan="6">特別展「宇和島伊達家の名宝」
（10/9-11/23）</td><td rowspan="2">11/27-2016.3/6屏風絵</td></tr>
<tr><td colspan="2">西側ケース</td><td>6/26-6/28屏風絵、
6/30-8/30武器武具</td><td>9/1-10/4武器武具</td></tr>
<tr><td rowspan="5">コレクションⅠ</td><td colspan="2">北側ケース（陶磁器）</td><td rowspan="5" colspan="2">閉　　室</td><td colspan="2">6/26-10/8埋木細工</td><td>11/25-2016.3/6東北のやきもの</td></tr>
<tr><td colspan="2">中央ケース</td><td colspan="2">6/26-10/8盆石</td><td>11/25-2016.3/6年中行事と東北の古人形</td></tr>
<tr><td colspan="2">奥室</td><td colspan="2">6/26-10/8芝居と東北の古人形</td><td>11/25-2016.3/6東北のやきもの</td></tr>
<tr><td colspan="2">L</td><td colspan="2">6/26-10/8埋木細工</td><td>11/25-2016.3/6年中行事と東北の古人形</td></tr>
<tr><td colspan="2">S</td><td colspan="2">6/26-10/8夏の茶道具</td><td>11/25-2016.3/6冬の茶道具</td></tr>
<tr><td colspan="2">浮世絵</td><td>4/14-6/7　幕末・明治の錦絵61</td><td>6/26-9/13　幕末・明治の錦絵62</td><td colspan="2">9/15-12/13　幕末・明治の錦絵63</td><td>12/15－2016.3/13幕末・明治の錦絵64</td></tr>
<tr><td rowspan="3">企画展示室</td><td colspan="2"></td><td rowspan="3" colspan="2">特別展「国宝　吉祥天女が舞い降りた！」（4/24-6/21）</td><td rowspan="3">特別展「ご覧あれ　浮世絵の華」
（7/17-9/6）</td><td rowspan="3">閉室（9/7－10/8）</td><td rowspan="3">特別展「宇和島伊達家の名宝」
（10/9-11/23）</td><td>企画展「せんだい再発見！」
（12/5-2016.2/28）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">テーマⅠ</td><td>仙台藩の武器武具　前室</td><td rowspan="2">12/1-2016.3/6
仙台藩の武器・武具</td></tr>
<tr><td>仙台藩の武器武具　奥室</td></tr>
<tr><td rowspan="2">テーマⅡ</td><td>慶長遣欧使節　前室</td><td rowspan="2" colspan="2">特別展「国宝　吉祥天女が舞い降りた！」（4/24-6/21）</td><td colspan="2">6/30-10/4
国宝 慶長遣欧使節関係資料ほか</td><td rowspan="2">10/6-11/15慶長遣欧使節イタリア訪問400年（10/6-11/15ローマ市公民権証書）</td><td>11/17-2016.4/10
国宝 慶長遣欧使節関係資料ほか</td></tr>
<tr><td>慶長遣欧使節　奥室</td><td colspan="2">閉室（6/22-10/5）</td><td>閉室（11/16-）</td></tr>
<tr><td>コレクションⅡ</td><td colspan="2"></td><td colspan="2">特別展「国宝　吉祥天女が舞い降りた！」（4/24-6/21）</td><td>特別展「ご覧あれ浮世絵の華」
（7/17-9/6）</td><td>閉室（9/7-10/8）</td><td>特別展「宇和島伊達家の名宝」
（10/9-11/23）</td><td colspan="2">閉室（11/25-）</td></tr>
<tr><td>プレイミュージアム</td><td colspan="2"></td><td>4/24-6/21
特別展関連イベント「あなたがデザイナー　着せ替え天女ぬり絵コレクション」、6/6変身タイム①</td><td></td><td>7/17-9/6
特別展関連イベント「あなたも摺り師」</td><td>9/19変身タイム②</td><td>10/9-11/23
特別展関連イベント「和綴じに挑戦！」</td><td>12/5-2/28
企画展関連イベント「とべとべ！するめてんぱた」</td><td>2/2-3/6
桃の節句～折りびなを飾ろう</td></tr>
</table>

常設展示展示資料目録（抄録）

1．コレクション名については一部略記した。
2．その他の略記事項については以下の通り。
　仙台市博物館蔵資料＝館蔵　伊達家寄贈文化財＝伊文
　仙台市教育委員会＝仙台市教委　世紀＝C
　コレクション＝C

総合展示室

1　むかしの仙台

仙台のあけぼの

2015.4／14～2016.3／6
1．ペン先形ナイフ形石器　上ノ原山遺跡（下層）
　後期旧石器時代初頭　1点　仙台市教委
2．ナイフ形石器　上ノ原山遺跡（下層）
　後期旧石器時代初頭　2点　仙台市教委
3．石刃　上ノ原山遺跡（上層）
　後期旧石器時代後半（2.0～1.5万年前）　1点　仙台市教委
4．ナイフ形石器　上ノ原山遺跡（上層）
　後期旧石器時代後半（2.0～1.5万年前）　3点　仙台市教委
5．彫刻刀形石器　上ノ原山遺跡（上層）
　後期旧石器時代後半（2.0～1.5万年前）　4点　仙台市教委
7．スクレイパー　上ノ原山遺跡（上層）
　後期旧石器時代後半（2.0～1.5万年前）　4点　仙台市教委
8．両面加工の石器　野川遺跡　縄文時代草創期　1点
　仙台市教委
9．へら形石器　野川遺跡　縄文時代草創期　2点　仙台市教委
10．土器の破片　野川遺跡　縄文時代草創期　一括　仙台市教委

縄文人のくらし

2015.4／14～2016.3／6
1．縄文土器・深鉢　上野遺跡　縄文時代中期中葉　2点
　仙台市教委
2．縄文土器・浅鉢　上野遺跡　縄文時代中期中葉　1点
　仙台市教委
3．縄文土器・注口土器　上野遺跡　縄文時代中期中葉　1点
　仙台市教委
4．縄文土器・革袋形土器　上野遺跡　縄文時代中期中葉　1点
　仙台市教委
5．縄文土器　高柳遺跡　縄文時代中期中葉　6点　仙台市教委
6．狩りの道具・石槍　三神峯遺跡　縄文時代前期前葉　1点
　仙台市教委
7．狩りの道具・石匙　六反田遺跡　縄文時代後期初頭　2点
　仙台市教委
8．狩りの道具・石鏃　大野田遺跡　縄文時代後期前葉　10点
　仙台市教委
9．漁の道具・鹿角製銛　大野田遺跡
　縄文時代後期前葉　2点　仙台市教委
10．漁の道具・土製錘　大野田遺跡
　縄文時代後期前葉　4点　仙台市教委
11．漁の道具・軽石製浮子　大野田遺跡
　縄文時代後期前葉　3点　仙台市教委
12．打製石斧　大野田遺跡　縄文時代後期前葉　4点
　仙台市教委
13．磨製石斧　六反田遺跡　縄文時代後期初頭　1点
　仙台市教委
14．凹石　六反田遺跡　縄文時代後期初頭　1点　仙台市教委
15．石皿　六反田遺跡　縄文時代後期初頭　1点　仙台市教委
16．土偶　伊古田遺跡　縄文時代後期中葉　4点　仙台市教委
17．土偶　大野田遺跡　縄文時代後期前葉　13点　仙台市教委
18．蔵王町鍛冶沢遺跡出土土偶　縄文時代晩期　1点
　片倉家資料
19．蔵王町鍛冶沢遺跡出土人面付き双口土器
　縄文時代後期　1点　片倉家資料
※No.18は4／14～5／10、12／15～2016.3／6、No.19は5／12～12／13展示

19．人面付き双口土器　蔵王町鍛冶沢遺跡出土

稲作の始まりと有力者の出現

2015.4／14～2016.3／6
1．弥生土器・高坏　中在家南遺跡　弥生中期　1点
　仙台市教委
2．弥生土器・甕　中在家南遺跡　弥生中期　1点　仙台市教委
3．弥生土器・壺　中在家南遺跡　弥生中期　1点　仙台市教委
4．竪杵　中在家南遺跡　弥生中期　1点　仙台市教委
5．竪杵未製品　中在家南遺跡　弥生中期　1点　仙台市教委
6．石包丁　高田Ｂ遺跡　弥生　7点　仙台市教委
7．太形蛤刃石斧　高田Ｂ遺跡　弥生　2点　仙台市教委
8．扁平片刃石斧　高田Ｂ遺跡　弥生　2点　仙台市教委
9．鑿形石斧　高田Ｂ遺跡　弥生　2点　仙台市教委
10　ガラス小玉　遠見塚古墳　4Ｃ末　3点　仙台市教委
11　手づくね土器　遠見塚古墳　4Ｃ末　5点　仙台市教委
12　土師器・壺　遠見塚古墳　4Ｃ末　1点　仙台市教委
13　朝顔形埴輪　大野田５号墳　５Ｃ後半　1点　仙台市教委
14．須恵器・有蓋脚付壺　南小泉遺跡（26次）
　５Ｃ後半　1点　仙台市教委
15　円筒埴輪　大野田１号墳　6Ｃ　1点　仙台市教委

中央政権の進出

2015.4／14～2016.3／6

1. 材木列（外塀）のクリ材　郡山遺跡
　７Ｃ後半～８Ｃ前半　２点　仙台市教委
2．土師器・坏（在地）　郡山遺跡
　８Ｃ初頭　１点　仙台市教委
3．土師器・坏（畿内産）　郡山遺跡
　７Ｃ末～８Ｃ前半　１点　仙台市教委
4. 土師器・坏（関東系）　郡山遺跡
　７Ｃ中葉　１点　仙台市教委
5．単弁蓮華文軒丸瓦　郡山遺跡
　７Ｃ後半～８Ｃ前半　１点　仙台市教委
6．重弧文軒平瓦　郡山遺跡
　７Ｃ後半～８Ｃ前半　１点　仙台市教委
7．土師器・坏（関東系）　長町駅東遺跡
　７～８Ｃ前半　２点　仙台市教委
8．土師器・坏（在地）　長町駅東遺跡
　７～８Ｃ前半　２点　仙台市教委
9．須恵器・長頸瓶　茂ヶ崎横穴墓群１号墓
　７Ｃ後半～８Ｃ前半　１点　仙台市教委
10. 須恵器・大甕　茂ヶ崎横穴墓群３号墓
　７Ｃ後半～８Ｃ前半　１点　仙台市教委
11. 須恵器・平瓶　茂ヶ崎横穴墓群20号墓
　７Ｃ後半～８Ｃ前半　１点　仙台市教委
12. 勾玉（ガラス）　茂ヶ崎横穴墓群４号墓
　７Ｃ後半～８Ｃ前半　１点　仙台市教委
13. 勾玉（瑪瑙）　茂ヶ崎横穴墓群４号墓
　７Ｃ後半～８Ｃ前半　３点　仙台市教委
14. ガラス小玉（大）　茂ヶ崎横穴墓群４号墓
　７Ｃ後半～８Ｃ前半　４点　仙台市教委
15. ガラス小玉（中）　茂ヶ崎横穴墓群４号墓
　７Ｃ後半～８Ｃ前半　３点　仙台市教委
16. ガラス小玉（小）　茂ヶ崎横穴墓群４号墓
　７Ｃ後半～８Ｃ前半　40点　仙台市教委
17. 切子玉（水晶）　茂ヶ崎横穴墓群８号墓
　７Ｃ後半～８Ｃ前半　２点　仙台市教委
18. 管玉（碧玉）　茂ヶ崎横穴墓群25号墓
　７Ｃ後半～８Ｃ前半　３点　仙台市教委
19. 切子玉（琥珀）　茂ヶ崎横穴墓群25号墓
　７Ｃ後半～８Ｃ前半　１点　仙台市教委
20. 丸玉（蛇紋岩）　茂ヶ崎横穴墓群25号墓
　７Ｃ後半～８Ｃ前半　１点　仙台市教委
21. 臼玉　茂ヶ崎横穴墓群25号墓
　７Ｃ後半～８Ｃ前半　４点　仙台市教委
22. 陸奥国分寺創建瓦（重弁蓮華文軒丸瓦）　陸奥国分寺跡
　奈良　１点　仙台市教委
23. 陸奥国分寺創建瓦（偏行唐草文軒平瓦）　陸奥国分寺跡
　奈良　１点　仙台市教委
24. 陸奥国分寺修復瓦（宝相華文軒丸瓦）　陸奥国分寺跡
　平安　１点　仙台市教委
25. 陸奥国分寺修復瓦（連珠文軒平瓦）　陸奥国分寺跡
　平安　１点　仙台市教委
26. 棟平瓦　与兵衛沼窯跡　平安　１点　仙台市教委
27. 獣面文鬼瓦　与兵衛沼窯跡　平安　１点　仙台市教委
28. 刻印文字瓦「丸」　陸奥国分尼寺跡
　奈良～平安　１点　仙台市教委
29. 刻印文字瓦「占」　陸奥国分尼寺跡
　奈良～平安　１点　仙台市教委
30. 刻印文字瓦「伊」　陸奥国分尼寺跡
　奈良～平安　１点　仙台市教委
31. 刻印文字瓦「物」　陸奥国分尼寺跡
　奈良～平安　１点　仙台市教委
32. 七重塔水煙片　陸奥国分寺跡　奈良～平安　１点
　東北大学文学部
33. 七重塔九輪　陸奥国分寺跡　奈良～平安　１点　仙台市教委

武士の台頭

2015.4／14～2016.3／6

1．大甕（常滑）　洞ノ口遺跡　中世　１点　仙台市教委
2．小壺（在地）　洞ノ口遺跡　中世　１点　仙台市教委
3．片口鉢（在地）　洞ノ口遺跡　中世　１点　仙台市教委
4．合子（古瀬戸）　洞ノ口遺跡　中世　１点　仙台市教委
5．仏花瓶（古瀬戸）　洞ノ口遺跡　中世　１点　仙台市教委
6．天目茶碗（瀬戸美濃）　洞ノ口遺跡　中世　１点　仙台市教委
7．青磁・碗（中国）　洞ノ口遺跡　中世　２点　仙台市教委
8．青磁・皿（中国）　洞ノ口遺跡　中世　２点　仙台市教委
9．青白磁・合子（中国）　洞ノ口遺跡
　中世　１点　仙台市教委
10. 青白磁・梅瓶（中国）　洞ノ口遺跡
　中世　２点　仙台市教委
11. 白磁・四耳壺（中国）　洞ノ口遺跡
　中世　１点　仙台市教委
12. 白磁・壺（中国）　洞ノ口遺跡　中世　１点　仙台市教委
13. 土師質土器・皿　洞ノ口遺跡　中世　11点　仙台市教委
14. 土師質土器・小皿　洞ノ口遺跡　中世　15点　仙台市教委
15. 短刀（拵付）　洞ノ口遺跡　中世　１点　仙台市教委
16. 短刀　洞ノ口遺跡　中世　１点　仙台市教委
17. 鏃　洞ノ口遺跡　中世　１点　仙台市教委
18. 馬具（轡）　洞ノ口遺跡　中世　２点　仙台市教委
19. 板碑　洞ノ口遺跡　延慶３年　１点　仙台市教委
20. 板碑　洞ノ口遺跡　応長２年　１点　仙台市教委
21. 板碑　洞ノ口遺跡　中世　１点　仙台市教委
22. 呪符木簡　洞ノ口遺跡　中世　１点　仙台市教委
23. 地蔵菩薩木像　洞ノ口遺跡　中世　１点　仙台市教委
24. 木製五輪塔　洞ノ口遺跡　中世　１点　仙台市教委
25. 洪武通寶　洞ノ口遺跡　中世　２点　仙台市教委
26. 永楽通寶　洞ノ口遺跡　中世　７点　仙台市教委

27. 銭種不明　洞ノ口遺跡　中世　１点　　仙台市教委
28. 鬼瓦　東光寺遺跡　中世　２点　　仙台市教委

神仏への祈り

「陸奥国分寺の仏像」
2015.4／14～6／7
１．木造不動明王立像　鎌倉　１軀　　陸奥国分寺
２．木造毘沙門天立像　鎌倉　１軀　　陸奥国分寺
３．木造十二神将立像　寅神　鎌倉　１軀　　陸奥国分寺
４．木造十二神将立像　申神　鎌倉　１軀　　陸奥国分寺

「陸奥国分寺の仏像・藩主の念持仏」 6／9～9／13
１．木造十二神将立像　巳神　鎌倉　１軀　　陸奥国分寺
２．木造十二神将立像　午神　鎌倉　１軀　　陸奥国分寺
３．准胝観音菩薩坐像　江戸中期　１軀　　館蔵

「中尊寺の美術　信仰の中の金工資料」 9／15～10／4
１．国宝　金光明最勝王経金字宝塔曼荼羅図
　第八幀　平安　１幀　　中尊寺大長寿院
２．国宝　紺紙金銀字一切経　仏説雑蔵経　平安　１巻
　　中尊寺大長寿院
３．国宝　紺紙金字一切経　大般若経
　巻第一二七・二四二　平安　２巻　　中尊寺大長寿院
４．国宝　漆塗経筥　平安　１口　　中尊寺大長寿院
５．国宝　礼盤　経蔵堂内具のうち　平安　１基
　　中尊寺大長寿院

「信仰の中の金工資料」 10／6～2016.3／6
１．重要文化財　龍頭　平安　１頭　　極楽寺
２．重要文化財　懸仏　平安～鎌倉　８面　　熊野那智神社
３．重要文化財　銅鏡　鎌倉　２面　　熊野那智神社
※No.1は10／6～12／13、No.3は12／15～2016.3／6展示

２　伊達政宗、仙台へ

伊達氏の登場

「伊達氏、仙台への道」 2015.4／14～6／7
１．伊達稙宗画像（伊達家歴代画真のうち）　長谷川養辰筆
　享保９年　１面　　伊文
２．塵芥集（伊達吉村旧蔵本）　天文５年４月15日　１冊
　　小林宏氏寄贈
３．伊達晴宗画像（伊達家歴代画真のうち）　長谷川養辰筆
　享保９年　１面　　伊文
４．晴宗公采地下賜録　天文22年　１冊　　伊文
５．伊達輝宗画像（伊達家歴代画真のうち）　長谷川養辰筆
　享保９年　１面　　伊文
６．織田信長書状　伊達殿（輝宗）宛　（天正元年）12月28日
　１通　　伊文
７．放駒の陣貝　（桃山）　１具　　伊文
８．伊達政宗書状　宛所欠　（天正18年）６月14日　１幅　伊文
９．徳川家康領知覚書　大崎少将（伊達政宗）宛
　慶長５年８月22日　１巻　　伊文
10. 伊達政宗甲冑像（複製）　原本は狩野探幽筆
　原本は江戸初期　１幅　　館蔵

「伊達氏の家臣たち」 6／9～9／13
１．懸田俊宗知行宛行状　本内相模守宛　天文21年12月６日
　１通　　伊文
２．下郡山長綱等連署田銭免除状　天文24年10月12日　１通
　　伊文
３．足利義輝御内書　伊達左京大夫（晴宗）宛
　（永禄２年頃）９月24日　１通　　伊文
４．松本氏輔以下三名連署起請文　牧野殿（久仲）・浜田殿（宗景）・
　中野殿（宗時）宛　永禄９年正月10日　１通　　伊文
５．桑島仲綱馬術免許状　平山玄蕃頭宛　永禄10年８月吉日
　１幅　　館蔵
６．伊達政宗書状　五郎殿（伊達成実）宛
　（天正17年）５月14日　１通　　伊文
７．伊達成実画像　江戸（17～19Ｃ）　１幅　　館蔵

7. 伊達成実画像（部分）

８．伊達政宗書状　菅勝三殿（菅野勝三郎重成）宛
　（年月未詳）19日　１幅　　菅野家資料

「伊達氏、戦国の世へ」 9／15～12／13
１．伊達朝宗画像　江戸　１幅　　伊文
２．伊達宗遠一揆契状　小沢伊賀守宛
　永和２年８月28日　１通　　伊文
３．伊達政宗知行配分状　国分彦四郎入道（光信）宛
　嘉慶２年７月４日　１通　　国分家資料
４．伊達政宗画像（伊達家歴代画真のうち）　長谷川養辰筆
　享保９年　１面　　伊文
５．伊達持宗施行状　国分筑後（基信）宛
　文安２年10月17日　１通　　国分家資料
６．伊達成宗上洛日記写　文明15年　１冊　　伊文

7．伊達成宗画像（伊達家歴代画真のうち）　長谷川養辰筆
　享保９年　１面　伊文
8．「当家系図」（天正系図）　江戸前期頃　１巻　伊文

「奥羽の戦国大名」 12／15～2016. 3／6
1．重要文化財　塵芥集（村田本）　天文５年４月14日　１冊
　伊文
2．塵芥集（伊達吉村旧蔵本）　天文５年４月14日　１冊
　小林宏氏寄贈
3．伊達稙宗画像（伊達家歴代画真のうち）　長谷川養辰筆
　享保９年　１面　伊文
4．伊達晴宗知行宛行状　国分源三（常信）宛
　天文12年７月３日　１通　国分家資料
5．最上義守黒印状　牧野弾正忠（久仲）宛
　（年未詳）５月15日　１通　伊文
6．蘆名止々斎（盛氏）起請文　伊達殿（輝宗）宛
　永禄９年正月10日　１通　伊文
7．織田信長朱印状　伊達殿（輝宗）宛
　（天正元年）12月28日　１通　伊文
8．伊達政宗書状　石川殿（昭光）宛
　（天正16年）５月23日　１幅　館蔵
9．仙道之図　江戸　１幅　伊文
※No. 1は12／15～2016. 2／7、No. 2は2016. 2／9～3／6展示

仙台藩主、伊達政宗

2015. 5／19～5／24
1．重要文化財　黒漆五枚胴具足　伊達政宗所用　16－17Ｃ
　１領　伊文

4／14～5／18、5／25～6／7、6／9～9／13
1．黒漆五枚胴具足　伊達政宗所用（複製）　１領　伊文

9／15～10／4
1．伊達政宗画像（複製）　原本は狩野安信筆
　原本は江戸前期　１幅　伊文

「政宗書状特集」 10／6～12／6
1．伊達政宗書状　中島伊勢守宛
　（天正16年）閏５月16日　１幅　大石晃大氏寄贈
2．伊達政宗書状　牟宇姫宛　（年月未詳）23日　１幅
　齋藤隆氏寄贈
3．伊達政宗書状　松平新太郎（池田光政）宛
　（年未詳）１月13日　１幅　宇野はな江氏寄贈

3　城

仙台城のすがた

「遺品に見る仙台城」 2015. 4／14～6／7
1．仙台城修復窺絵図　宝永４年９月７日　１鋪　伊澤家Ｃ
2．江戸幕府老中奉書　寛文13年９月15日　１通　伊文
3．仙台城及び江戸上屋敷主要建物姿絵　江戸　１巻
　千田家資料
4．伊達政宗画像　狩野安信筆　江戸前期　１幅　伊文

4. 伊達政宗画像　狩野安信筆

5．仙台城絵図　江戸中期　１幅　館蔵
6．金梨子地葵紋桐紋糸巻太刀拵　江戸初期　１振
　伊達貞宗氏寄贈
7．金製ブローチ　江戸初期　１点　伊達貞宗氏寄贈
8．懐中鏡　江戸初期　１面　伊達貞宗氏寄贈
9．煙管　江戸初期　２本　伊達貞宗氏寄贈
10．鉛筆　江戸初期　２点　伊達貞宗氏寄贈
11．五七桐紋軒丸瓦　17Ｃ　１点　仙台市教委
12．金箔押菊丸瓦　17Ｃ前半　１点　仙台市教委
13．（瑞鳳殿写真パネル１）　１点
14．（瑞鳳殿写真パネル２）　１点

「仙台城と江戸屋敷」 6／9～9／13
1．江戸愛宕下中屋敷絵図　享保20年10月　１鋪
　荻田耕造氏寄贈
2．仙台藩江戸上屋敷絵図　江戸中期　１鋪　千葉雪子氏寄贈
3．仙台藩江戸上屋敷絵図　江戸中期　１幅　佐藤巧氏寄贈
4．仙台城及び江戸上屋敷主要建物姿絵（上屋敷部分）
　江戸　１巻　千田家資料
5．御城中席図并口解　江戸末期　１冊　館蔵
6．初鏡心之手綱　江戸末期　１冊　尚文館Ｃ
7．伊達宗村七種連歌　伊達宗村　延享２年１月７日　１綴
　伊文
8．金梨子地葵紋桐紋糸巻太刀拵　江戸初期　１振　館蔵
9．金製ブローチ　江戸初期　１点　伊達貞宗氏寄贈
10．懐中鏡　江戸初期　１面　伊達貞宗氏寄贈

11. 煙管　江戸初期　２本　伊達貞宗氏寄贈
12. 鉛筆　江戸初期　２点　伊達貞宗氏寄贈
13. （瑞鳳殿写真パネル１）　１点
14. （瑞鳳殿写真パネル２）　１点

「城を建てる、城をなおす」 9／15～12／13
１．伊達政宗画像（複製）　原本は狩野安信筆
　原本は江戸前期　１幅　伊文
２．貞山公治家記録　慶長５年11月13日条　１冊　伊文
３．江戸幕府老中奉書覚　元禄７年11月29日　１通　伊文
４．仙台城普請奉窺候絵図　元禄７年11月16日　１鋪
　藤縄達夫氏寄贈
５．千田家勤功書　江戸中期　１綴　千田文彦氏寄贈
６．金梨子地葵紋桐紋糸巻太刀拵　江戸初期　１振
　伊達貞宗氏寄贈
７．煙管　江戸初期　２本　伊達貞宗氏寄贈
８．懐中鏡　江戸初期　１面　伊達貞宗氏寄贈
９．金製ブローチ　江戸初期　１点　伊達貞宗氏寄贈
10. 鉛筆（複元品）　江戸初期　２点　館蔵
11. 扇面図屏風　（狩野左京ヵ）　慶長15年
　１隻（２曲１双のうち）　伊文
※No. 1は11／25～12／6、No. 3は9／15～11／23、
　No. 11は10／6～11／23展示

「遺品にみる仙台城」 12／15～2016. 3. 6
１．伊達政宗画像（複製）　原本は狩野安信筆
　原本は江戸前期　１幅　伊文
２．竹図屏風　（仙台城二の丸遺品）
　江戸時代前期　２曲１隻　館蔵
３．金梨子地葵紋桐紋糸巻太刀拵　江戸初期　１振
　伊達貞宗氏寄贈
４．煙管　江戸初期　２本　伊達貞宗氏寄贈
５．懐中鏡　江戸初期　１面　伊達貞宗氏寄贈
６．金製ブローチ　江戸初期　１点　伊達貞宗氏寄贈
７．鉛筆（複元品）　江戸初期　２点　館蔵
８．扇面図屏風　（狩野左京ヵ）　慶長15年
　１隻（２曲１双のうち）　伊文

藩主と夫人たち

「伊達家と茶の湯」 2015. 4／14～6／7
１．伊達政宗書状　伊達政宗　桑山左近（貞晴）
　（年未詳、江戸）12月23日　１幅（１通）　館蔵
２．茶会記　伊達綱村　17Ｃ　１幅（１点）　伊文
３．茶杓　伊達政宗　17Ｃ　１点　伊文
４．宗久・宗易道具書立（写本）
　［原本］今井宗久（昨夢斎）・千宗易（抛筌斎）
　［原本］（天正６年頃）５月21日～22日　１点　伊文
５．竹一重切花入　伊達吉村　18Ｃ　１口　ゴトウＣ
６．備前割木瓜形水指　承慶入道　応永３年７月日　１口　伊文

「藩主の一生」 6／9～9／13
１．産所之年引目役次第　伊達実元　永禄11年５月　１巻　伊文
２．考勝院婚儀覚書等写　首藤弥兵衛　５月16日　１冊　伊文
３．護符（御守り）　藤塚式部　伊達政千代（周宗）　１点　館蔵
４．桃園天皇口宣案（任美作守）（朝廷）　伊達重村
　宝暦５年９月28日　１通　伊文
５．桃園天皇口宣案（叙従四位下）（朝廷）　伊達重村
　宝暦５年９月28日　１通　伊文
６．桃園天皇口宣案（任侍従）（朝廷）　伊達重村
　宝暦５年９月28日　１通　伊文
８．伊達吉村和歌詠草「息男勝千代丸人となりて」
　伊達吉村　江戸中期　１幅　伊文
９．御曹司様御縁組之記　18Ｃ　１冊　伊文
10. 菅野勝左衛門自筆和歌詠草「けふはかり」
　菅野勝左衛門　寛永13年５月29日　１幅　伊文
11. 奥山常辰書付　奥山常辰　佐藤木工　６月晦日　１通　伊文

「城につとめる、藩主に仕える」 9／15～12／13
１．伊達政宗書状　高屋松庵宛　年未詳３日　１幅　館蔵
２．伊達政宗自筆相伴衆書付　年月日未詳　１幅
　遠藤一雄氏寄贈
３．高屋喜庵起請文前書案　（元文元年）　１通　伊文
４．伊達政宗書状　弓田右馬允宛　年未詳正月10日　１幅
　角懸幸氏寄贈
５．遠藤守信覚書　（享保６年）８月23日　１冊　伊文
６．下坐絵図　濱田縫殿助　江戸後期　１冊　濱田善雄氏寄贈
７．御給仕方手控　江戸後期　１冊　菅野家資料
８．年中行事全　江戸後期　１冊　菅野家資料
９．仙台城本丸御門合判　安政７年　１枚　三原良吉Ｃ

「仙台藩の能」 12／15～2016. 3／6
１．伊達政宗筆謡「班女」　江戸前期　１幅　青木家資料
２．伊達政宗書状　某宛書状　（寛永２年・年未詳）
　６月24日　１幅　個人蔵
３．乱舞次第書　寛永15年１月14日　１通　伊文
４．三井寺謡　伊達忠宗筆　元和７年10月15日　１巻　伊文
５．能組覚書　伊達綱宗筆　伊達綱村宛
　（年未詳）９月７日　１通（折紙）　伊文
６．能組覚書　伊達綱宗筆　伊達綱村宛
　（年未詳）９月７日　１通（切継ぎ）　伊文
７．牡丹文蒔絵太鼓胴　江戸前期　１口　ゴトウＣ
８．秋草文扇　白極家伝来　江戸前期　１扇
　高柳和枝氏寄贈

武家のくらし

「武家の調度と衣装」 2015. 4／14～5／6
１．花樹に貝尽し蒔絵調度　伝　香の前所用
　江戸前期　１式　館蔵
２．円窓繋春日野蒔絵見台　江戸中期　１基　館蔵

3．萌黄綾地蔦に鯉模様小袖　伝浦江の局所用
　江戸後期　1領　館蔵

「家紋と調度」 5／8～7／20
1．金梨地牡丹紋蒔絵旗箱　1合　伊文
2．伊達成宗家伝秘書箱　1合　伊文
3．若松竹橘文蒔絵懸盤椀類　1式のうち　館蔵

「武家の服飾」 7／22～9／13
1．黒呉絽地竹に雀紋火事装束（羽織・胸当）　1組　館蔵
2．白麻地松竹梅車に唐団扇文様帷子　1領　個人蔵
3．笄　5本　梅津幸次郎氏寄贈

「婚礼調度」 9／15～12／13
1．雪薄竹に雀紋桜枝散蒔絵書棚　江戸中期　1基　館蔵

1．雪薄竹に雀紋桜枝散蒔絵書棚

2．雪薄蔦蒔絵見台　江戸後期　1基　館蔵
3．葵紋橘蒔絵櫛台　江戸後期　1式　館蔵

「武家の服飾」 12／14～2016.2／7
1．浅葱地鳳凰丸花唐草文様野袴　江戸後期　1腰　伊文
2．黒羅紗地竹に雀紋頭巾　江戸後期　1頭　館蔵

2．黒羅紗地竹に雀紋頭巾

3．紅縮緬地松竹梅鶴亀文様振袖　江戸後期　1領　館蔵

雛調度　2016.2／9～4.3
1．雛人形　江戸後期　1組　個人蔵
2．竹菱葵紋蒔絵雛調度　江戸後期　館蔵

4　藩

仙台藩のようす

「仙台藩の武器武具」 2015.4／14～6／28
1．黒漆五枚胴具足　7代伊達重村所用　江戸中期　1領　伊文
2．黒漆五枚胴具足　青木寛太夫所用
　江戸後期　1領　青木和子氏寄贈
3．亀甲蟹牡丹紋鞍鐙
4．黒羅背板地胴服　江戸初期　1領　菅野家資料
5．重要文化財　山形文様陣羽織　桃山　1領　伊文
6．浅葱変綾地波涛文具足下　江戸後期　1領
　ナンシー・チエコ・大山氏寄贈
※No.4は4／14～5／10、No.5は5／12～24、No.6は5／26～6／28
　展示

「武士の行列」 6／30～9／13
1．御軍役御定　享保12年正月　1冊　伊文
2．御備立惣御人数委細之書付　（享保12年）正月
　1冊（5冊中）　伊文
3．天保六年伊達斉邦江戸登城行列図　明治31年　1巻
　石原謙太郎氏寄贈
4．嘉永四年練兵行軍之図　（江戸後期）　1冊　片倉家資料
5．白石城の図　小関雲陽　明治41年　1幅　片倉家資料
6．毛槍（白鳥毛）の鞘　（江戸）　1点　館蔵
7．（参勤交代パネル）　1点

「片倉家特集－景綱没後400年」 9／15～12／13
1．片倉景綱肖像　猪野謙山筆　近代（19C）　1幅
　片倉家資料

1．片倉景綱肖像（部分）　猪野謙山筆

2．片倉代々記巻一　天正12年（1584）12月条
　江戸中～後期　1冊　片倉家資料

3．安孫子の陣貝　桃山（16C）　1具　　片倉家資料
4．片倉景綱書状　平田惣右衛門宛
（天正17年）6月9日　1幅　　個人蔵
5．浅野長吉書状　伊達左京大夫（政宗）宛
（天正18年）4月20日　1通　　伊文
6．浅野長吉書状　片倉小十郎（景綱）宛
（天正18年）4月20日　1通　　伊文
7．徳川家康書状　片倉小十郎（景綱）宛
（天正19年）1月12日　1幅　　片倉家資料
8．黒羅紗地木綿縫取織陣羽織　桃山　1領　　片倉家資料
9．重要文化財　小紋染胴服　豊臣秀吉所用　桃山　1領
片倉家資料

No. 8は9／15～11／1、No. 9は11／3～12／13展示

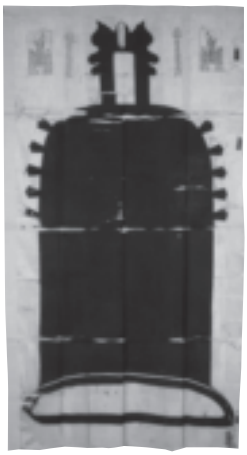
「街道を歩く」 12／15～3／6
1．諸国順覧懐宝道中図鑑　嘉永5年　1帖　　尚文館C
2．諸国道中金の草鞋　仙台　文化13年　　館蔵
3．方言修行金草鞋　十返舎一九著　文化13年　1冊　　館蔵
4．塩竈詣　燕石斎薄墨著　文政8年　1冊　　尚文館C
5．金華山詣　燕石斎薄墨著　文政8年　1冊　　尚文館C
6．松島画紀行・松島日記（写本）　原本は谷文鳥筆
江戸後期　1冊　　館蔵
7．松島眺望図　長谷川雪旦筆　江戸後期　1幅　　館蔵
8．奥州松島塩竈図　仙台国分町本屋次郎兵衛刊
宝永4年2月　1点　　館蔵
9．仙台領地名所和歌　正徳2年編　　山形みつ氏寄贈
10．仙台道中記　江戸中～後期　1冊　　館蔵
11．多賀城碑拓本　1点　　武田公寛氏寄贈

仙台藩の家臣たち

「国宝　慶長遣欧使節関係資料」 2015. 4／14～6／28
1．仙台藩奉行知行割目録　支倉六右衛門宛
慶長13年10月22日　1面　　支倉家資料
2．伊達政宗書状　茂庭石見宛　慶長17～18年頃　1幅　　館蔵
3．支倉家家譜書出　支倉右仲筆　安永2年　1帖
支倉哲男氏寄贈
4．セビリア市宛伊達政宗書状（和文）（複製）
原本は慶長18年9月4日　1面　　館蔵
5．ユネスコ記憶遺産・国宝　支倉常長像　1615年頃　1面
館蔵
6．ユネスコ記憶遺産・国宝　ローマ教皇パウロ五世像
1615年頃　1面　　館蔵
7．ローマ市公民権証書（複製）　支倉六右衛門宛
原本は1615年11月20日　1面　　館蔵

「特集中島家資料」 6／30～9／13
1．伊具金山要害屋敷普請奉窺候絵図　延享4年12月　1鋪
仙台銀行寄贈
2．金山要害絵図（江戸）　1鋪　　仙台銀行寄贈
3．伊具金山要害屋敷修復奉窺候絵図　享保11年12月7日
1鋪　　仙台銀行寄贈
4．金山要害修復手続書留（延享5年）　1冊　　仙台銀行寄贈
5．家中処罰に関する書状　中じませんさいはは
寛文13年1月23日　1通　　仙台銀行寄贈

「片倉家特集―景綱没後400年」 9／15～12／13
1．片倉景綱・石川昭光起請文　登坂式部少輔・南右馬允宛
慶長5年7月25日　1通　　片倉家資料
2．伊達政宗書状　片倉備中（景綱）宛
（慶長7年）12月晦日　1幅　　片倉家資料
3．白石城絵図　江戸前期　1鋪　　伊文
4．深蕊抄　江戸初期　1冊　　片倉家資料
5．片倉代々記巻六　元和元年（1615）10月14日条
江戸中～後期　1冊　　片倉家資料
6．片倉景綱の墓標（白石市傑山寺の一本杉）※パネル　1枚
7．黒漆五枚胴具足　伝片倉重綱所用　江戸初期　1領
片倉家資料
8．白地黒釣鐘旗　片倉家旗　江戸　1旒　　片倉家資料


8．白地黒釣鐘旗

9．太刀　銘「真」 伝真守作　伝片倉重綱所用
桃山　1振　　片倉家資料
10．金九曜紋網代編軍配団扇　片倉重綱所用
江戸初期　1握　　片倉家資料
11．日の丸文軍扇　片倉重綱所用　江戸初期　1握　　館蔵
No. 9は9／15～11／1、No. 10・No. 11は11／3～12／13展示

「角懸家資料」 12／15～3／6
1．白地愛染明王梵字旗　江戸　1旒　　角懸家資料
2．黒漆紺糸毛引威二枚胴具足　江戸後期　1領　　角懸家資料
3．伊達政宗書状　堀丹後守宛　年未詳2月15日　1幅
角懸家資料
4．伊達忠宗領知黒印状　角掛四郎兵衛宛
寛永21年8月14日　1通　　角懸家資料
5．伝書　風伝流槍術目録　黒田大六郎筆
嘉永7年6月　1巻　　角懸家資料
6．風伝流槍術一千本試合勝負附　角懸丹弥筆
文久3年10月晦日　1冊　　角懸家資料

5　町

城下町仙台

「城下の中心地、芭蕉の辻」 2015.4／14～6／7

1．芭蕉の辻建物図　文政10年　1鋪　館蔵
2．明治元年現状仙台城市之図　熊耳耕年写
　昭和10年写　1巻　館蔵
3．「二十四輩巡拝図会後篇巻之四」より芭蕉の辻　了貞著
　竹原春泉斎画　文化6年刊　1冊　個人蔵
4．奥州仙台名所尽集　芭蕉の辻　江戸後期　1巻　三原良吉C
5．芭蕉の辻図（複製）　熊耳耕年画　近代　1面　三原良吉C
6．芭蕉辻伊勢佐挑見世当図　曜斎国輝画　明治初期
　3枚続　阿部次郎C
7．芭蕉の辻の建物の瓦　近代　3点　館蔵

「仙台城下の寺社」 6／9～9／13

1．文久二年仙台城下図（複製）　文久2年　1面　館蔵
2．伊達政宗黒印状　小田原天神別当宛　慶長6年9月7日
　1通　伊文
3．伊達政宗書状写　年未詳8月23日　1通　伊文
4．伊達政宗黒印状　笹町新左衛門・須田主計宛
　寛永13年4月14日　1通　伊文
5．仙台領奥州街道絵図　江戸中期　1巻　館蔵
6．諸士諸寺院会釈覚書　伊達吉村　伊達宗村宛
　元文2年4月　1冊　伊文
7．寺社領御寄附御牒二　延宝8年　1冊　尚文館C
8．「所々寺院御絵図」のうち瑞鳳寺　江戸後期　1帖　伊文
9．山号・寺号「両足山大年禅寺」 伊達綱村筆
　元禄10年2月18日　1幅　猪苗代翁・弼氏寄贈
10．両足山志　邑峰海晧筆　享保19年　1冊　館蔵

「仙台城下絵図特集」 9／15～12／13

1．仙台城下絵図　宝暦8～12年頃　1鋪　飯倉晴武氏寄贈
2．仙台城下絵図　寛政元年頃　1鋪　片倉家資料
3．楽山公行列図巻　武藤弘毅筆　江戸末期～明治
　11巻のうち3巻　伊文
4．安政四年御野始行列図巻　武藤弘毅筆
　江戸末期～明治　1巻　伊文
5．安政四年御野始片倉家行列　武藤弘毅筆
　江戸末期～明治　1巻　伊文

「仙台城下の町方　大町」 12／15～2016.3／6

1．文久二年仙台城下図（複製）　文久2年　1面　館蔵
2．大町三四五丁目検断青山氏由緒書覚　青山五左衛門宛
　（元禄元年）正月11日　1通　米川家資料
3．青山五左衛門書状写　昆野十兵衛宛
　（寛保3年）11月16日　1通　米川家資料
4．山本屋太兵衛屋敷売券状　山本屋太兵衛他
　藤崎屋次右衛門宛　正徳6年3月1日　1通　三原良吉C
5．藤崎屋次右衛門屋敷間杭証文　屋敷売主山元屋太兵衛・
　買主藤崎屋次右衛門他　米川六右衛門宛
　正徳6年3月11日　1通　三原良吉C
6．佐藤助五郎家申定書　嘉永7年10月　1通　三原良吉C
7．佐助呉服店団扇絵　明治　1通　三原良吉C
8．得可主屋次右衛門祭礼渡物免除願案　得可主屋次右衛門
　浅井忠内宛　文政11年6月　1通　三原良吉C
9．東照宮祭礼渡物図「司馬温公執政を成し給ふ躰
　大町二丁目　佐藤助五郎」 1枚　三原良吉C
10．東照宮祭礼渡物図「源頼光於足柄山金時得給躰
　大町一丁目　中井新三郎」 1枚　三原良吉C
11．東照宮祭礼渡物図「上東門院於東円堂に桜を愛させ給ふ躰
　大町四丁目升屋徳助」 1枚　三原良吉C
12．東照宮祭礼渡物図「舜帝より禹王珠玉錫り音楽を奏する躰
　大町四丁目小西屋」 天保10年　1枚　三原良吉C

町のくらし

「春の行事」 2015.4／14～6／7

1．ぼんぼこ祭り図　遠藤曰人筆　江戸後期　1幅　館蔵
2．ぼんぼこ槍の瓢箪　年月日不詳　2点　足立孔C
3．桜花貼込料紙和歌書込「桜色に」 伊達忠宗筆　江戸前期
　1面　伊文
4．「奥州仙台名所尽集」より山榴岡　江戸後期　1巻
　大宮司C
5．花もどり図　遠藤曰人筆　文政10年　1幅　館蔵
6．徳利付蒔絵野弁当　江戸末期　1組　甲田C
7．枇杷文指樽　江戸後期　1対　増子征氏寄贈

「夏の行事」 6／9～9／13

1．濱田氏年中行事　文久2年　1冊　個人蔵
2．仙府年中往来　燕石斎薄墨版　江戸後期　1冊　阿部次郎C
3．やくたい草　伊達慶邦著　明治6年　1冊　伊文
4．七夕飾り　大正　7点　管野邦夫氏寄贈
5．七夕の絵葉書「仙台　肴町七夕祭ノ光景」 大正　1点
　館蔵
6．七夕の絵葉書「仙台名物　五彩の短冊美しき。七夕祭りの豪
　華版　東一番町」 昭和11年8月6日撮影　1点　館蔵
7．七夕の絵葉書「復興七夕に輝く仙台祭り豪華版」
　昭和20年代　1点　館蔵
8．「仙台年中行事絵巻」より藩主狼煙御覧・水練御覧の図
　江戸後期　1巻　三原良吉C
9．楽山公治家記録　巻五　安政2年　1冊　伊文
10．「奥州仙台名所尽集」より宮城野　江戸後期　1巻
　大宮司C

「秋のにぎわい」 9／15～12／13

1．大崎八幡来由記　享保元年　1巻　大崎八幡宮蔵
2．伊達世臣家譜　平士　五之二十二　田辺希文・希元・希績撰
　寛政4年12月　1冊　伊文

3．「仙台年中行事絵巻」より仙台東照宮祭礼図　江戸後期　1巻
三原良吉C
4．東照宮御祭礼渡物行列帳　嘉永3年　1冊　三原良吉C
5．仙台東照宮祭礼小絵図　江戸中期～後期　3枚　館蔵
6．東照宮祭礼渡物図「坂上田村麻呂鈴鹿山出陣の躰　新伝馬町鈴木利三郎」江戸後～末期　1面　館蔵
7．東照宮祭礼渡物図「福神角力の躰　染師町堺屋庄助」江戸後～末期　1面　館蔵
8．東照宮祭礼渡物図「中納言行平郷須磨之浦ニテ汐汲ヲ見給躰河原町岩間屋」江戸後～末期　1面　館蔵
9．東照宮祭礼渡物図「坂上千熊麿流鏑馬に趣く躰　柳町相澤屋善兵衛」江戸後～末期　1面　館蔵
10．東照宮祭礼渡物図「大納言経信公秋の田を見給ふ躰国分町世話人庄司惣七ほか4名」江戸末期～明治　1面
阿部次郎C

「城下の職人・商人　御大工」12／15～2016.3／6
1．知行目録　和田因幡・山口内記・奥山大学助・冨塚内蔵頭大工利兵衛宛　寛永21年8月14日　1通　千田家資料
2．大工理兵衛苗字御免につき申渡書　刑部・外記享保2年　1通　千田家資料
3．朴沢庄蔵養子願書　丹下ほか4名宛文政9年11月14日　1通　朴沢家資料
4．御名乗ノ事　沙門快現筆　朴沢十四郎直春宛文政11年7月　1通　千葉氏寄贈朴沢家資料
5．朴沢十四郎藤原直春門人改帳　文政11年～安政7年　1冊
千葉氏寄贈朴沢家資料
6．御大工五組名前帳　天保9年5月～天保11年　1冊
千田家資料
7．唯一神道垂加流番匠方祭礼行事式秘伝口訳集佐藤右斎藤原鎮定　千田左覚紀伯・千田理兵衛紀勝宛寛保2年12月・安永4年9月19日　1冊　千田家資料
8．仙台藩江戸上屋敷絵図　江戸（18C）　1幅
千葉氏寄贈朴沢家資料
9．薬師堂隅木修理図　文化12年2月　1枚　朴沢家資料
10．国分寺薬師堂御入料達留　棟梁方・御積り方天保12年10月　1冊　千田家資料
11．真明院様急御下りニ付伊達藤三郎様　御屋敷借受御用立候に付諸式控　御積り千田氏　安政3年正月　1冊
千田家資料

教育と文化

「仙台藩の学問と思想家」2015.4／14～6／7
仙台藩の藩校　養賢堂
1．養賢堂の図（複製）　原本は江戸後期　1額
館蔵（原本は宮城県図書館蔵）
2．論語・孟子　養賢堂蔵版　江戸後期　2冊　尚文館C
3．書経　養賢堂蔵版　江戸後期　1冊　安倍謙一氏寄贈
4．論語　天保15年手写ヵ　1冊　阿部次郎C
5．水滴　江戸後期　3点　館蔵
6．大舜命契図　東東洋筆　江戸後期　1幅　伊文
7．河図図　東東洋筆　文化14年　1幅
館蔵

7．河図図　東東洋筆

林子平の人生と思想
8．林子平肖像　佐々城朴庵筆　嘉永7年　1冊　尚文館C
9．漢土加留多　18C　6枚　藤塚家資料
10．阿蘭陀加留多　18C　2枚　藤塚家資料
11．アイヌの煙草入れ（胴乱・腰籠）18C　1点　藤塚家資料
12．世界之図　林子平筆写　安永4年　1鋪　中村徳重郎C
13．三国通覧図説　林子平著　天明6年版　1冊
猪苗代弼氏寄贈
14．三国通覧図説（仏語訳）クラプロート訳1832年刊　1冊　館蔵
15．海国兵談　林子平著　寛政3年版　3冊　館蔵
16．林子平辞世拓本　江戸（18C）　1幅　中村徳重郎C

「仙台藩の学問と思想家」6／9～9／13
仙台藩の天文学
1．獅山公治家記録正徳四年二月七日条（遠藤盛俊入門）田辺希文・児玉秀基編　宝暦8年　1冊　伊文
2．伊達世臣家譜（戸板氏）田辺希元撰　寛政4年　1冊
伊文
3．潮汐図説　高野立斎著　寛延2年　1冊　尚文館C
4．天文図屏風　名取春仲筆　江戸後期　6曲1隻　館蔵

林子平の人生と思想
5．坪碑　林子平著・程赤城跋　安永7年頃　1巻
中村徳重郎C
6．長崎出島蘭館銅牌拓本　18C　1幅　藤塚家資料
7．三国通覧図説　林子平著　天明6年版　1冊
猪苗代弼氏寄贈
8．海国兵談　林子平著　天明7年写　1冊　館蔵
9．林子平謹慎自守ノ図　1幅　館蔵

「仙台藩の文化人と思想家」 9／15～12／13

仙台藩ゆかりの文化人

1．俳人百家撰　緑亭川柳編・歌川国輝画　嘉永８年　１冊　尚文館Ｃ
2．松窓句集　松窓乙二著　文政６年　１冊　尚文館Ｃ
3．俳諧三十六句仙　足了庵禾月尼序　嘉永６年　１冊　阿部次郎Ｃ
4．釣奇一覧　千柳亭序　安政３年　１冊　阿部次郎Ｃ
5．仙台領高名競　角力見立　一騎作　仙台昔話会復刻　文政12年発行・昭和15年復刻　１枚　三原良吉Ｃ
6．宿場の図　遠藤曰人筆　文政11年　１幅　館蔵
7．蛙相撲図　遠藤曰人筆　天保４年　１幅　館蔵

林子平の思想と交友

8．林子平肖像　牧互秀筆　近代　１幅　愛宕中学校寄贈
9．藤塚家家譜　藤塚式部筆　安永４年　１冊　藤塚家資料
10．和蘭地理書ゼオガラヒー　林子平筆写　安永７年　１冊　藤塚家資料
11．阿蘭陀船図説（複製）天明２年版・明治26年印刷複製　１枚　館蔵
12．三国通覧図説　林子平著　天明６年版　１冊　猪苗代翁・弼氏寄贈
13．海国兵談　林子平著　寛政３年版　３冊　館蔵
14．林子平辞世拓本　江戸（18Ｃ）　１幅　中村徳重郎Ｃ

「仙台藩の学問と思想家」 12／15～2016.3／6

仙台藩の医学教育

1．仙台年中行事絵巻　江戸後期　１巻　三原良吉Ｃ
2．六物新志　大槻玄沢著　天明８年　３冊　館蔵
3．瘍医新書　大槻玄沢訳・杉田玄白起業　文政８年刊　４冊　館蔵
4．解体新書　杉田玄白ら訳　安永３年　５冊　館蔵
5．存真図腋　佐々木中沢著・畠山仙江画　文政５年　１帖　山形敞一氏寄贈
6．芝蘭堂新元会図（印刷）原本は市川岳山筆　近代（原本は寛政６年）１幅　鵜飼新一氏寄贈

林子平の人生と思想

7．儀式考　林笠翁筆　江戸中期　１冊　猪苗代翁・弼氏寄贈
8．輿地国名訳　林子平筆写　安永６年　１冊　藤塚家資料
9．蘭人制作支那図　林子平筆写　安永７年　１枚　中村徳重郎Ｃ
10．和蘭人宴会図　林子平筆　江戸後期　１額　館蔵
11．蝦夷錦の袖口　江戸　１点　藤塚家資料
12．坪碑　林子平著・程赤城跋　安永７年頃　１巻　中村徳重郎Ｃ
13．仏語訳　三国通覧図説　クラプロート訳　1832年刊　１冊　館蔵
14．海国兵談　林子平著　寛政３年版　３冊　館蔵
15．林子平謹慎自守ノ図　１幅　館蔵

新たな時代へ

「仙台藩と外国」 2015.4／14～6／7

1．環海異聞（写本）大槻玄沢・志村弘強著　天保４年　館蔵
2．瓦版「蒸気船之図」江戸後期　１枚　館蔵
3．伊達慶邦意見書控（嘉永６年）７月　１綴　伊文
4．アメリカ船石巻渡来図巻　一　江戸末期　１巻　館蔵
5．アメリカ船員を描いたスケッチ　安政２年　４面のうち２面　阿部次郎Ｃ
6．玉蟲左太夫肖像　庄子勇筆　大正　１面　玉蟲誼氏寄贈資料
7．英単語帳　玉蟲左太夫筆　江戸末期　１冊　玉蟲誼氏寄贈資料
8．航米日録　玉蟲左太夫筆　万延元年　１冊　玉蟲誼氏寄贈資料

「仙台藩と蝦夷地」 6／9～9／13

1．「三国通覧図説附図」のうち蝦夷国全図　林子平著　天明６年　１鋪　猪苗代翁・弼氏寄贈
2．伊達慶邦御触下書　江戸後期　１通　伊文
3．蝦夷地警固御人数名前調　安政６年　１冊　伊文
4．牧野備前守家来北蝦夷地調書写より南樺太図　安政４年　１鋪　伊文
5．蝦夷海陸路程全図　小野寺鳳谷作　安政２年　１鋪　尚文館Ｃ
6．松前蝦夷道中細見記　小野寺鳳谷著　安政２年　１冊　武市家資料
7．蝦夷道中日記　多川仲之丞筆　安政４年　２冊　多川益太郎氏寄贈
8．アツケシ気候日記書抜　三好武三郎著　安政４年６月１日～８月10日　１冊　伊文
9．ネモロ領之内チヨブシ従ニシベツ界迄境界絵図　江戸後期　１鋪　藤縄達夫氏寄贈

「仙台藩の軍備拡充」 9／15～12／13

1．大槻俊斎書状　大槻竜之進宛（弘化３年）５月朔日　１通　館蔵
2．伊達慶邦西洋銃術稽古申渡書控（安政３年７月）１通　伊文
3．車輪船全図　安政２年　２枚　伊文
4．開成丸調練帰帆図　三浦乾也画　安政５年　１幅　菊田定郷Ｃ
5．騎兵体歩兵体散兵大調練之図　月岡芳年画　慶応３年　３枚続　大宮司Ｃ
6．日程記　大童信太夫筆　慶応３年８月　１冊　個人蔵
7．ヴァン・リードの領収書（慶応４年）４月29日　１通　個人蔵

「幕末人物伝４　坂英力」 12／15～2016.3／6

1．坂英力画像　文岳筆　近代　１面　齊藤規夫氏寄贈
2．坂英力書状（慶応３年）12月16日　１通　伊文

3．坂英力書状　御母上宛　（年未詳）９月７日　１面
齊藤規夫氏寄贈
4．坂英力書状　馬場昇・伊藤文左衛門宛
（明治元年）11月５日　１幅　大久保Ｃ
5．明治戊辰江戸獄囚人書　和歌「囚中述懐三首」
藤原時秀筆　（明治２年）　１巻　大久保Ｃ

6　近代都市へのあゆみ

戊辰戦争と明治維新

「戊辰戦争の風刺画」 2015.4／14～6／7
1．暁斎百狂　どふけ百万遍　河鍋暁斎画　元治元年
大判３枚続　阿部次郎Ｃ
2．四天王鬼賊退治　（江戸末期）　２枚続　館蔵
3．夏の夜虫合戦　慶応４年５月　２枚続　館蔵
4．むつの花　子供の戯　歌重画　明治元年　大判３枚続　館蔵

「仙台藩と戊辰戦争13」 6／9～9／13
1．奥羽越列藩同盟盟約写　慶応４年　１通　濱田家資料
2．白河口戦闘絵図（複製）　明治　１幅　館蔵
3．プロシア国領事あて文書写　慶応４年５月　１冊　個人蔵
4．近習目付御用日誌　慶応４年５月６日条　１冊　伊文
5．名所之内上野　歌川芳盛画　明治元年　大判３枚続
大宮司Ｃ
6．伊達慶邦布告控　（慶応４年）６月21日　１通　伊文
7．日光宮公現法親王御口上書並びに返答書写
（慶応４年）６月　１通　伊文
8．伊達慶邦書状　藤井伊豆守宛　（慶応４年）７月11日　１通
伊文

「仙台藩と戊辰戦争　宇和島藩と仙台藩」 9／15～12／13
1．伊達宗紀書　明治22年　１幅　仙台市蔵
2．慶応四年陸奥出羽国郡行程図　慶応４年刊　１鋪　館蔵
3．白地波文に虎図旗（桜田家旗）　岩崎周昌筆
明和７年　１旒　桜田吉則氏寄贈

３．白地波文に虎図旗（桜田家旗）

4．伊達宗城書状　伊達慶邦宛　（慶応４年）５月３日　１通
伊文
5．宇和島宛勅書写　（明治元年）９月　１冊　濱田家資料
6．伊達慶邦布告案　明治元年９月　１通　伊文
7．履歴之大略（増田繁幸）　近代　１通　増田繁幸関係資料
8．伊達宗城書状　石川邦光宛　（明治元年）10月19日　１通
館蔵
9．明治初年伊達家動向抜書　明治元～６年　１通　伊文
※No.2は9／15～10／4、No.3は10／6～12／13展示

「幕末明治を生きた人々」 12／15～2016.3／6
1．坂本龍馬書状　三吉慎蔵宛　慶応２年７月28日　１巻
大久保Ｃ
2．坂本龍馬像　公文菊僊筆　（昭和初期）　１幅　大久保Ｃ
3．武市瑞山書状　嶋村寿太郎宛　（安政３～４年）12月17日
１幅　大久保Ｃ
4．後藤象二郎書　江戸末期～明治　１幅　大久保Ｃ
5．墨梅図賛　山内豊重筆　江戸末期～明治　１幅　石原Ｃ
6．土方歳三書状　小島宛　年月日未詳　１幅　大久保Ｃ

近代都市仙台

「商工省工芸指導所」 2015.4／14～6／7
1．『日本―タウトの日記』一九三三　ブルーノ・タウト著、
篠田英雄訳（岩波書店刊）　1975年刊　合本１冊
笹間氏寄贈
2．松島図　ブルーノ・タウト筆　昭和８年　１枚　笹間氏寄贈
3．照明具　（昭和）　２基　館蔵
4．漆手板　玉虫塗・変玉虫塗　産業工芸試験所東北支所制作
２枚　館蔵

ミニ特集　被災地の文化財を守る
4．伊達政宗書状　（牟宇姫）宛　（元和７～８年頃ヵ）　１幅
個人蔵
5．伊達政宗書状　牟宇姫宛　（寛永８年11月ヵ）６日　１幅
個人蔵
6．江之島児淵眺望・金沢能見堂眺望図衝立　司馬江漢筆
寛政年間　１基　勝又紳一郎氏寄贈

「軍都仙台―戦後70年―」 6／9～9／13
1．仙台鎮台編制表　明治前期　１枚　館蔵
2．召集令状　名取郡生出村役場　明治20年頃　１枚
石森元親氏寄贈
3．仙台第二師団全部之図　楊斎延一画、横山良八印刷・発行
明治25年　３枚続　阿部次郎Ｃ
4．河内兵営之図　松浦勝也印刷、三沢好吉発行　明治30年
１面　三原良吉Ｃ
5．日清戦争時、長町停車場で出征兵士を見送る人々
明治27年　１枚　館蔵
6．サハリン出征アルバム　大正９年　１冊　個人蔵

7．六合社図　近代　１面　三原良吉Ｃ
8．陸軍御用の仙台大町大平商店の団扇　明治40年頃　１点　川村節子氏寄贈
9．第二師団遠望之図　奥山無門筆　大正６年　１面　奥山栄五郎氏寄贈
10. 釈迦堂・歩兵第四聯隊全図　玉虫龍之進画・彫刻、三沢好吉発行　明治30年　１面　三原良吉Ｃ
11. 満州守備軍第二師団将兵の帰還を迎える市民　昭和８年１月８日　１枚　館蔵
12. 陸軍記念日に行進するボーイスカウト　昭和10年３月10日　１枚　館蔵
13. 赤ちゃん審査会ポスター　昭和前期　１枚　佐藤政一氏寄贈
14. 原町陸軍造兵廠で弾丸の生産に励む女子挺身隊（『仙台空襲』より）　昭和19年頃　１枚　館蔵
15. 『婦人雑誌』　昭和19年　１冊　佐藤政一氏寄贈
16. 空襲で焦土と化した仙台の中心部（『仙台空襲』より）　昭和20年７月　１枚　館蔵
17. 空襲で瓦礫の跡となった市役所前（『仙台空襲』より）　昭和20年７月　１枚　館蔵

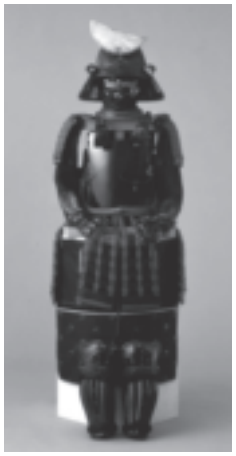
「教育・戦争と地域社会」　9／15～12／13
1．啓蒙手習の文　福沢諭吉編・慶應義塾出板・尚古堂発行　明治４年　１冊　荒町小学校寄贈
2．小学習字手本（いろは・漢字）　師範学校編・文部省刊　明治７年改正　２冊　荒町小学校寄贈
3．南材木町小学校　明治40年　１枚　館蔵
4．東八番丁小学校　大正４年　１枚　館蔵
5．第二師団司令部（絵葉書）　１葉　館蔵
6．大橋から見た師団司令部（絵葉書）　１葉　館蔵
7．第二師団凱旋之図　菅野覚太郎画　明治29年　１面　三原良吉Ｃ
8．尋常国語読本　文部省刊　明治33年　１冊　郷右近馨氏寄贈
9．尋常小学国史　文部省刊　大正10年　１冊　郷右近馨氏寄贈
10. 鹿児島紀聞之内（田原坂）　鮮斎永濯画　明治10年　３枚続　尚文館Ｃ
11. 日清戦闘画報　大倉書店刊　明治27～28年　２冊　小野台蔵Ｃ
12. 軍国画報　富山書房刊　明治37～38年　１冊　小野台蔵Ｃ
13. 日露戦争写真画報　東京博文館刊　明治37～38年　１冊　小野台蔵Ｃ
14. 陸軍記念日（絵葉書）　昭和14年　１葉　館蔵
15. 中等学校学校教練　陸軍省編　昭和６年　１冊　平間家資料
16. 軍事教練を受ける宮城県工業学校の生徒　昭和11年　１枚　館蔵
17. 初等科国語　文部省刊　昭和18年　１冊　郷右近馨氏寄贈

「教育にみる仙台と近代手工業」　12／15～2016.3／6
1．南材木町小学校　明治40年　１枚　館蔵
2．宮城県地誌提要　宮城県師範学校編　明治17年　１冊　尚文館Ｃ
3．宮城県郷土誌　菊池勝之助著・宮城県初等教育会編　昭和７年　１冊　菅原蘭吉Ｃ
4．改訂　我が郷土　東六番丁尋常小学校　昭和４年　１冊　菅原蘭吉Ｃ
5．仙台郷土廻り　片平丁尋常小学校　昭和10年頃　１冊　菅原蘭吉Ｃ
6．袴　仙台平　小松家製　大正12年　１腰　阿部きみ子氏寄贈
7．小松家資料　小松正夫編　昭和　１冊　小松正夫氏寄贈
8．仙台平袴地「永楽」「永祥」　甲田榮佑作　昭和　２反　（財）精好仙台平保存会寄贈
9．仙台市写真帖　仙台市役所　大正14年　１冊　館蔵
10. せんだい　宮城県物産陳列場出品協会　大正５年　１冊　尚文館Ｃ
11. 椅子（ブルーノ・タウト指導）　産業工芸試験所制作　昭和　１脚　東北工業技術研究所寄贈
12. 漆手板（赤玉虫塗・玉虫塗）　産業工芸試験所制作　昭和30年　１枚　館蔵

特集展示室

仙台藩の武器・武具

2015.6／30～10／4
1．黒漆五枚胴具足　伊達政宗所用・菅野正左衛門重成拝領　桃山～江戸初期　１領　菅野壽雄氏寄贈
2．黒漆鳩胸五枚胴具足　６代伊達宗村所用　江戸中期　１領　伊文
3．金梨地花鳥蒔絵鞍鐙　室町後期　１組　伊文
4．金采配・朱采配　江戸後期　１握　伊文
5．金梨地菊桐紋蒔絵刀掛　江戸前期　１基　伊文
6．仙人図象嵌火縄銃　江戸後期　１口　館蔵
7．緋羅紗地北斗七星模様陣羽織　江戸後期　１領　佐藤正人氏寄贈
8．緋羅紗地波文様火事羽織　江戸後期　１領　ナンシー・大山氏寄贈
9．黒漆五枚胴具足　２代伊達忠宗所用　江戸前期　１領　伊文



9. 黒漆五枚胴具足　２代伊達忠宗所用

10. 黒漆五枚胴具足　12代伊達斉邦所用　江戸後期　1領　伊文
11. 金梨地菊桐紋刀掛　江戸前期　1架　伊文
12. 火縄銃　東雲　江戸前期　1口　伊文
※No. 1、2は6／30～8／30、No. 7は6／30～8／9、No. 8は8／11～10／4、No. 9～12は9／2～10／4展示

屏風絵

「東東洋の屏風絵など」 2015. 6／26～8／2
1．赤壁図屏風　東東洋筆　文政3年　6曲1双　個人蔵
2．花鳥押絵貼屏風　東東洋筆　江戸後期　6曲1双　伊澤家C
3．夏景山水図屏風　東東洋筆　江戸後期　2曲1双　三浦三吾氏・良子氏寄贈
4．野馬図屏風　荒川洞月筆　文化元年頃　6曲3隻　伊文
※No. 4は6／26～28展示

「源氏物語図屏風など」 8／4～9／13
1．源氏物語図屏風　江戸前期　6曲1双　館蔵
2．孔雀図屏風　小池曲江筆　享和3年　6曲1双　館蔵
3．花鳥図屏風　菊田伊洲筆　江戸後期　8曲1隻　佐藤明C

「菊花図屏風など」 9／15～10／4
1．菊花図屏風　伊達政宗書　寛永5年　4曲1隻　館蔵
2．萩に鹿図屏風　伊達政宗書　寛永5年　4曲1双　館蔵
3．秋草に鹿図屏風　狩野安信筆　江戸前期　6曲1隻　伊文

「野馬図屏風など」 11／27～2016. 1／24
1．野馬図屏風　荒川洞月筆　文化元年頃　6曲3隻　伊文
2．竹に太湖石図屏風　東東洋筆　文化元年頃　2曲1隻　伊澤家C
3．文化三年御屏風本帳附渡帳　久雪筆　文化3年　1帖　館蔵
4．浜松図屏風　松原探水筆　江戸中期　6曲1双　伊文

「平家物語図屏風特集」 2016. 1／26～3／6
1．平家物語図屏風　江戸　6曲1双　館蔵

1．平家物語図屏風　左隻（部分）

2．牟礼高松図屏風　狩野梅笑筆　江戸後期　2曲1隻　星名四郎氏寄贈
3．平家物語図屏風　江戸初期　6曲1双　館蔵

「佐久間鉄園と遠藤速雄」 2016. 3／8～4／10
1．松に鵲図屏風　佐久間鉄園筆　明治30年　4曲1隻　門脇康氏寄贈
2．山水図屏風　佐久間鉄園筆　大正8年　6曲1双　ゴトウC
3．曲水宴・虫撰図屏風　遠藤速雄筆　明治～大正　2曲1隻　藤崎三郎助氏寄贈
4．宮城十二景　遠藤速雄筆　大正　6曲1双　伊澤家C

テーマ展示室Ⅰ

仙台藩の武器武具

2015. 12／1－2016. 3／6
1．黒漆五枚胴具足　伝伊達政宗所用　桃山～江戸　1領　駒形神社
2．白糸威腹巻　8代伊達斉村所用　江戸中期　1領　伊文
3．黒漆五枚胴具足　11代伊達斉義所用　江戸後期　1領　伊文
4．紫糸威胴丸　伝伊達政宗所用　室町後期　1領　湯村幹夫氏寄贈
5．黒漆五枚胴具足　3代伊達綱宗所用　江戸前期　1領　伊文
6．黒漆五枚胴具足　伊達茂村所用　江戸末期　1領　伊文
7．重要文化財　太刀　義光　建武4年　1口　亀岡八幡宮
8．刀　金象嵌銘貞次　鎌倉　1口　佐藤敬次郎氏寄贈
9．短刀　銘　藤原国包　三代国包　江戸中期　1口　藤崎三郎助氏寄贈
10. 脇差　銘奥州仙台住藤原国包　慶安5年　1口　館蔵（赤羽刀）
11. 刀　銘安倫　江戸中期　1口　館蔵
12. 刀　銘安倫　宝永2年　1口　館蔵（赤羽刀）
13. 北斗七星文軍配団扇　江戸後期　1握　伊文
14. ゆがけ　江戸　3対　伊文
15. 矢羽根　江戸　3面（松前分12本）　伊文
16. 茶猪毛靫　江戸後期　1合　伊文
17. 鶴蒔絵鞍鐙　江戸後期　1組　伊文
18. 火縄銃「東雲」 銃筒木田定幸作　江戸　1挺　伊文
19. 黒羅紗地九曜紋火事装束　亘理石見所用　江戸中期　1組　大山勝義氏寄贈
20. 赤羅紗地松喰い立ち鶴紋陣羽織　江戸後期　1領　個人蔵
21. 緋羅紗地三巴紋陣羽織　江戸後期　1領　新田貴一氏寄贈
※No. 1～3は12／1～2016. 1／24、No. 4～6は2016. 1／26～3／6、No. 7～9は12／1～12／27、No. 10～12は2016. 1／5～3／6、No. 19は12／1～2016. 1／12、No. 20、21は2016. 1／14～3／6展示

テーマ展示室Ⅱ

慶長遣欧使節

2015.4／14～6／7

1．支倉常長像（1972年高田力蔵氏模写）　原図は1615年頃
　1面　館蔵
2．支倉家家譜書出　支倉右仲筆　安永2年　1帖
　支倉哲男氏寄贈
3．仙台藩奉行知行割目録　支倉六右衛門宛
　慶長13年10月22日　1面　支倉家資料
4．伊達政宗書状　茂庭石見宛　慶長17～18年頃　1幅　館蔵
5．坤輿万国全図　名取春仲筆　江戸後期　6曲1隻　館蔵
6．ガレオン船模型　1971年　1基　館蔵
7．セビリア市宛伊達政宗書状（和文）（複製）
　原本は慶長18年9月4日　1面　館蔵
8．ローマ市街図　16C末刊　1面　館蔵
9．『伊達政宗遣欧使節記』（イタリア語版）　アマーティ著
　1615年刊　1冊　館蔵
10．『伊達政宗遣欧使節記』（ドイツ語版）　アマーティ著
　1617年刊　1冊　館蔵
11．支倉常長画像（銅版画）　サデレル作　1616～17年頃
　1枚　館蔵
12．支倉常長画像（銅版画）　1616～17年頃　1枚　館蔵
13．ローマ教皇宛伊達政宗書状（ラテン文）（複製）
　原本は慶長18年9月4日　1面　館蔵
14．ローマ教皇宛伊達政宗書状（和文）（複製）
　原本は慶長18年9月4日　1面　館蔵
15．支倉常長書状（複製）　勘三郎宛　原本は元和4年
　1幅　館蔵
16．国宝　短剣　17C　2口　館蔵
17．国宝　祭服　17C　1領　館蔵
18．国宝　十字架像　17C　1口　館蔵
19．国宝　十字架及びメダイ　17C　1具　館蔵
20．国宝　ロザリオ　17C　5連　館蔵
21．国宝　メダイ残欠　17C　6片　館蔵
22．洗礼者聖ヨハネ像メダイ（参考資料）　19C　1面　館蔵
23．国宝　ロザリオの聖母像　17C　1面　館蔵

23．ロザリオの聖母像

24．国宝　ディスチプリナ　17C　1口　館蔵
25．国宝　レリカリオ　17C　1口　館蔵
26．国宝　テカ及び袋　17C　1具　館蔵
27．国宝　印章　17C　2顆　館蔵
28．ローマ市公民権証書（複製）　支倉六右衛門宛
　原本は1615年11月20日　1面　館蔵
29．ユネスコ記憶遺産・国宝　ローマ教皇パウロ五世像
　1615年頃　1面　館蔵
30．ユネスコ記憶遺産・国宝　支倉常長像　1615年頃　1面
　館蔵
31．国宝　鞍　17C　2背　館蔵
32．国宝　鐙　17C　1双・1隻　館蔵
33．国宝　マント及びズボン　17C　1具　館蔵
34．国宝　壁掛　17C　1枚　館蔵

6／30～10／4

1．支倉常長像（1972年高田力蔵氏模写）　原図は1615年頃
　1面　館蔵
2．ガレオン船模型　1971年　1基　館蔵
3．セビリア市宛伊達政宗書状（和文）（複製）
　原本は慶長18年9月4日　1面　館蔵
4．ローマ市街図　16C末刊　1面　館蔵
5．『伊達政宗遣欧使節記』（イタリア語版）　アマーティ著
　1615年刊　1冊　館蔵
6．『伊達政宗遣欧使節記』（ドイツ語版）　アマーティ著
　1617年刊　1冊　館蔵
7．支倉常長画像（銅版画）　サデレル作　1616～17年頃
　1枚　館蔵
8．支倉常長画像（銅版画）　1616～17年頃　1枚　館蔵
9．ローマ教皇宛伊達政宗書状（ラテン文）（複製）
　原本は慶長18年9月4日　1面　館蔵
10．ローマ教皇宛伊達政宗書状（和文）（複製）
　原本は慶長18年9月4日　1面　館蔵
11．支倉常長書状（複製）　勘三郎宛　原本は元和4年
　1幅　館蔵
12．国宝　短剣　17C　2口　館蔵
13．国宝　ロザリオの聖母像　17C　1面　館蔵
14．国宝　十字架像　17C　1口　館蔵
15．国宝　十字架及びメダイ　17C　1具　館蔵
16．国宝　ロザリオ　17C　5連　館蔵
17．国宝　メダイ残欠　17C　6片　館蔵
18．洗礼者聖ヨハネ像メダイ（参考資料）　19C　1面　館蔵
19．ユネスコ記憶遺産・国宝　支倉常長像　1615年頃　1面
　館蔵
20．ユネスコ記憶遺産・国宝　ローマ教皇パウロ五世像
　1615年頃　1面　館蔵
21．ローマ市公民権証書（複製）　支倉六右衛門宛
　1615年11月20日　1面　館蔵

慶長遣欧使節イタリア訪問400年　10／6～11／15

1．支倉常長像（1972年高田力蔵氏模写）　原図は1615年頃
　1面　館蔵
2．ローマ市街図　16C末刊　1面　館蔵
3．『伊達政宗遣欧使節記』（イタリア語版）　アマーティ著
　1615年刊　1冊　館蔵
4．『伊達政宗遣欧使節・ローマ教皇謁見記』　アマーティ著
　1615年刊　1冊　館蔵
5．ローマ教皇宛伊達政宗書状（ラテン文）（複製）
　原本は慶長18年9月4日　1面　館蔵
6．ローマ教皇宛伊達政宗書状（和文）（複製）
　原本は慶長18年9月4日　1面　館蔵
7．『健康的飲み物に関する論文』
　フランチェスコ・スカッキ著　1622年刊　1冊　館蔵
8．『伊達政宗遣欧使節記』（ドイツ語版）　アマーティ著
　1617年刊　1冊　館蔵
9．支倉常長画像（銅版画）　サデレル作　1616～17年頃
　1枚　館蔵
10. 支倉常長画像（銅版画）　1616～17年頃　1枚　館蔵
11. セビリア市宛伊達政宗書状（和文）（複製）
　原本は慶長18年9月4日　1面　館蔵
12. 支倉常長書状（複製）　勘三郎宛　原本は元和4年
　1幅　館蔵
13. 坤輿万国全図　名取春仲筆　江戸後期　6曲1隻　館蔵
14. ガレオン船模型　1971年　1基　館蔵
15. 国宝　ロザリオの聖母像　17C　1面　館蔵
16. 国宝　短剣　17C　2口　館蔵
17. 国宝　祭服　17C　1領　館蔵
18. 国宝　十字架像　17C　1口　館蔵
19. 国宝　十字架及びメダイ　17C　1具　館蔵
20. 国宝　ロザリオ　17C　5連　館蔵
21. 国宝　メダイ残欠　17C　6片　館蔵
22. 洗礼者聖ヨハネ像メダイ（参考資料）　19C　1面　館蔵
23. 国宝　ディスチプリナ　17C　1口　館蔵
24. 国宝　レリカリオ　17C　1口　館蔵
25. 国宝　テカ及び袋　17C　1具　館蔵
26. 国宝　印章　17C　2顆　館蔵
27. ユネスコ記憶遺産・国宝　ローマ市公民権証書
　支倉六右衛門宛　1615年11月20日　1通　館蔵
28. ユネスコ記憶遺産・国宝　ローマ教皇パウロ五世像
　1615年頃　1面　館蔵
29. ユネスコ記憶遺産・国宝　支倉常長像　1615年頃　1面
　館蔵
30. 国宝　鞍　17C　2背　館蔵
31. 国宝　鐙　7C　1双・1隻　館蔵
32. 国宝　マント及びズボン　17C　1具　館蔵
33. 国宝　壁掛　17C　1枚　館蔵

11／17～2016.4／10

1. 支倉常長像（1972年高田力蔵氏模写）　原図は1615年頃　1面
　館蔵
2．ガレオン船模型　1971年　1基　館蔵
3．セビリア市宛伊達政宗書状（和文）（複製）
　原本は慶長18年9月4日　1面　館蔵
4．ローマ市街図　16C末刊　1面　館蔵
5．『伊達政宗遣欧使節記』（イタリア語版）　アマーティ著
　1615年刊　1冊　館蔵
6．『伊達政宗遣欧使節記』（ドイツ語版）　アマーティ著
　1617年刊　1冊　館蔵
7．『健康的飲み物に関する論文』
　フランチェスコ・スカッキ著　1622年刊　1冊　館蔵

7．『健康的飲み物に関する論文』

8．支倉常長画像（銅版画）　サデレル作　1616～17年頃
　1枚　館蔵
9．支倉常長画像（銅版画）　1616～17年頃　1枚　館蔵
10. ローマ教皇宛伊達政宗書状（ラテン文）（複製）
　原本は慶長18年9月4日　1面　館蔵
11. ローマ教皇宛伊達政宗書状（和文）（複製）
　原本は慶長18年9月4日　1面　館蔵
12. 支倉常長書状（複製）　勘三郎宛　原本は元和4年
　1幅　館蔵
13. 国宝　短剣　17C　2口　館蔵
14. 国宝　ロザリオの聖母像　17C　1面　館蔵
15. 国宝　十字架像　17C　1口　館蔵
16. 国宝　十字架及びメダイ　17C　1具　館蔵
17. 国宝　ロザリオ　7C　5連　館蔵
18. 国宝　メダイ残欠　17C　6片　館蔵
19. 洗礼者聖ヨハネ像メダイ（参考資料）　19C　1面　館蔵
20. ユネスコ記憶遺産・国宝　支倉常長像　1615年頃　1面
　館蔵
21. ユネスコ記憶遺産・国宝　ローマ教皇パウロ五世像
　1615年頃　1面　館蔵
22. ローマ市公民権証書（複製）　支倉六右衛門宛
　原本は1615年11月20日　1面　館蔵

※No.5は11／17～12／4、2016.1／19～4／10、No.7は12／5～2016.1／17展示

コレクション展示室Ⅰ

茶道具

「夏の茶道具」 2015.6／23～9／13

1．竹一重切花入　伊達吉村作　江戸中期　1口　　ゴトウC

1．竹一重切花入　伊達吉村作

2．肥後焼茶入　江戸初期　1口　　館蔵
3．平茶碗　銘「清風」（朝鮮）16世紀頃　1口　　ゴトウC

「冬の茶道具」 11／25～2016.3／6

1．色絵注連縄文碗　粟田焼 「宝山」 江戸後期　2口　　伊文
2．七草鳴鶏図蒔絵茶箱銘「太郎月」「松立斎」
　江戸後期　1合　　館蔵
3．向付　絵長皿 「乾也」 江戸後期　1口　　館蔵
4．正月特集 「乾也玉」（詳細未定）
5．色絵注連縄文碗　粟田焼 「宝山」 江戸後期　2口　　伊文
6．七草鳴鶏図蒔絵茶箱銘「太郎月」「松立斎」
　江戸後期　1合　　館蔵
7．向付　絵長皿 「乾也」 江戸後期　1口　　館蔵

ミニ特集　小さきもの～「乾也玉」 2016.1／5～3／6

8．大黒天簪 「乾也」 江戸後期　1本　　新井田C
9．乾也玉簪　彫銘「天禄堂乾也」 江戸後期　1本　　新井田C
10．秋草文根掛 「乾也」 江戸後期　1連　　新井田C
11．金襴手中差 「天禄堂」「乾也」 江戸後期　1本　　新井田C
※No.3は11／25～12／27、No.4は2016.1／5～3／6、No.7は11／25～12／27展示

焼物

「埋木細工と盆石」 2015.6／23～9／13

1．盆石　銘「鎌倉」 1点　　伊文
2．盆石　銘「名取川石」 1点　　伊文
3．盆石　銘「岩の蔭道」 1点　　伊文
4．盆石　銘「壺の碑」 1点　　伊文
5．盆石　銘「祝ケ崎」 1点　　伊文
6．埋木細工　白鳥飾付ペーパーナイフ　石垣博作
　昭和　1点　　仙台埋木細工同業会寄贈
7．埋木細工　髪飾　相沢剛作　昭和　1点
　仙台埋木細工同業会寄贈
8．埋木細工　サラダフォーク・スプーン　石垣博作
　昭和　1組　　仙台埋木細工同業会寄贈
9．埋木細工　菱形茶托　石垣博作　昭和　5点
　仙台埋木細工同業会寄贈
10．埋木細工　葉形銘々皿　黒川吉右衛門作　昭和　5点
　仙台埋木細工同業会寄贈
11．埋木文庫　大正末～昭和初期　1合　　安斎千代氏寄贈
12．埋木細工　朱肉入れ　相沢剛作　昭和　1合
　仙台埋木細工同業会寄贈
13．埋木細工　亀置物　小竹彰作　昭和　1組
　仙台埋木細工同業会寄贈
14．埋木細工　角形花立　竹田勇作　昭和　1口
　仙台埋木細工同業会寄贈
15．埋木細工　千鳥形菓子鉢　小竹健勇作　昭和　1枚
　仙台埋木細工同業会寄贈
16．埋木細工　鹿角形ネクタイ掛　小竹彰作　昭和　1点
　仙台埋木細工同業会寄贈
17．甕　堤焼　1点　　館蔵
18．甕　堤焼　1点　　館蔵
19．甕　堤焼　1点　　館蔵
20．酒甕　堤焼　1点　　館蔵
21．壺　堤焼　1点　　館蔵
22．壺　堤焼　1点　　館蔵
23．壺　堤焼　1点　　館蔵
24．白釉大皿　会津本郷　銘「宗」 1口　　館蔵

「東北のやきもの」 11／25～2016.3／6

1．染付柘榴文湯呑茶碗　切込焼　天保6年　1口　　個人蔵
2．染付松に蛸唐草文長皿　切込焼　1口　　古賀C
3．染付牡丹蝶文らっきょう徳利　切込焼　1口　　館蔵
4．菊文扇型皿　上野目焼　1枚　　館蔵
5．扇形皿　上野目焼　1枚　　館蔵
6．三島手鉢　堤焼　1口　　個人蔵
7．筒描鉢　悪戸焼　1口　　館蔵
8．鉄絵竹文醤油差し　悪戸焼　1口　　横山C
9．瓢形徳利　楢岡焼　1口　　古賀C
10．火入　大宝寺焼　1口　　横山C
11．飯茶碗　小久慈焼　1口　　横山C
12．飯茶碗　小久慈焼　1口　　横山C
13．白釉切立　白岩焼　1口　　横山C
14．徳利　成島焼　1口　　石川C
15．黒釉徳利　鍛冶町焼　1口　　石川C
16．油壷　鍛冶町焼　1口　　横山C
17．油壺　会津本郷焼　1口　　横山C
18．飴釉鰊鉢　会津本郷焼　1口　　館蔵
19．徳利　上野目焼　1口　　石川C

20. 灰釉土瓶　大堀相馬焼　１合　館蔵
21. 鉄絵走馬文徳利　大堀相馬焼　１口　石川Ｃ
22. 三彩徳利　大堀相馬焼　１口　館蔵
23. 染付牡丹文徳利　平清水焼　１口　甲田Ｃ
24. 甕　堤焼　１点　館蔵
25. 甕　堤焼　１点　館蔵
26. 甕　堤焼　１点　館蔵
27. 甕　堤焼　１点　館蔵
28. 甕　堤焼　１点　館蔵
29. 壺　堤焼　１点　館蔵
30. 壺　堤焼　１点　館蔵

古人形

「芝居と東北の古人形」 2015.6／23～9／13

１．相良人形　狐忠信　江戸後期　１点　足立孔Ｃ
２．相良人形　矢の根五郎　江戸後期　１点　館蔵
３．相良人形　静御前　江戸後期　１点　館蔵
４．相良人形　口上　江戸後期　１点　館蔵
５．相良人形　八重垣姫　江戸後期　１点　館蔵
６．堤人形　山姥と金太郎　江戸後期　１点　館蔵
７．堤人形　山姥と金太郎　江戸後期　１点　館蔵
８．堤人形　顔世御前　江戸後期　１点　館蔵
９．堤人形　曾我五郎　江戸後期　１点　館蔵
10. 堤人形　弁慶　江戸後期　１点　本出保治郎Ｃ
11. 堤人形　朝比奈　江戸後期　１点　本出保治郎Ｃ
12. 堤人形　狐忠信　江戸後期　１点　本出保治郎Ｃ
13. 堤人形　八重垣姫　江戸後期　１点　本出保治郎Ｃ
14. 堤人形　和藤内　江戸後期　１点　本出保治郎Ｃ
15. 堤人形　静御前　江戸後期　１点　本出保治郎Ｃ
16. 堤人形「金太郎」型　斎藤新助作　江戸後期
　１組（２枚）　斎藤報恩会寄贈
17. 三春人形　女暫　江戸後期　１点　本出保治郎Ｃ
18. 三春人形　道成寺　江戸後期　１点　本出保治郎Ｃ
19. 三春人形　和藤内　江戸後期　１点　本出保治郎Ｃ
20. 三春人形　甘輝　江戸後期　１点　本出保治郎Ｃ
21. 三春人形　景政　江戸後期　１点　本出保治郎Ｃ
22. 三春人形　義経　江戸後期　１点　本出保治郎Ｃ
23. 三春人形　景政　江戸後期　１点　本出保治郎Ｃ
24. 三春人形　弁慶　江戸後期　１点　本出保治郎Ｃ
25. 三春人形　朝比奈　江戸後期　１点　本出保治郎Ｃ
26. 花巻人形　義経　江戸後期　１点　本出保治郎Ｃ
27. 花巻人形　顔世御前　江戸後期　１点　本出保治郎Ｃ
28. 花巻人形　獅子舞　江戸後期　１点　本出保治郎Ｃ
29. 花巻人形　和藤内　江戸後期　１点　本出保治郎Ｃ
30. 浮世絵　矢の根五郎〔市川団十郎〕　豊原国周画
　明治15年　３枚続　大宮司Ｃ
31. 浮世絵　伍将軍甘輝〔中村芝翫〕　豊原国周画
　明治16年　３枚続　大宮司Ｃ
32. 浮世絵　八重垣姫〔市川団十郎〕・武田勝頼〔中村福助〕
　豊原国周画　明治21年　３枚続　大宮司Ｃ
33. 浮世絵　歌舞伎十八番之内　勧進帳　豊原国周画
　明治26年　３枚続　大宮司Ｃ
34. 浮世絵　京鹿子　娘道成寺　明治29年　３枚続　大宮司Ｃ
35. 浮世絵　忠信〔市川右団次〕　覚範〔市川小団次〕
　豊原国周画　明治15年　３枚続　阿部次郎Ｃ

「年中行事と東北の古人形」 11／25～2016.3／7

１．相良人形　恵比寿・大黒　鯛かつぎ　江戸後期　１点　館蔵
２．相良人形　獅子舞　江戸後期　１点　本出保治郎Ｃ
３．堤人形　獅子舞　江戸後期　１点　本出保治郎Ｃ
４．堤人形　大黒　江戸後期　１点　本出保治郎Ｃ
５．堤人形　三番叟　江戸後期　１点　本出保治郎Ｃ
６．三春人形　三番叟　江戸後期　１点　本出保治郎Ｃ
７．三春人形　越後獅子　江戸後期　１点　本出保治郎Ｃ
８．三春人形　大黒　江戸後期　１点　本出保治郎Ｃ
９．三春人形　鯛乗り恵比寿　江戸後期　１点　本出保治郎Ｃ
10. 三春人形　恵比寿　江戸後期　１点　本出保治郎Ｃ
11. 三春人形　達磨　江戸後期　１点　本出保治郎Ｃ
12. 花巻人形　大黒　江戸後期　１点　本出保治郎Ｃ
13. 花巻人形　恵比寿鯛車　江戸後期　１点　本出保治郎Ｃ
14. 花巻人形　恵比寿　江戸後期　１点　本出保治郎Ｃ
15. 花巻人形　獅子舞　江戸後期　１点　本出保治郎Ｃ
16. 相良人形　天神　江戸後期　１点　足立孔Ｃ
17. 堤人形　堂内天神　江戸後期　１点　館蔵
18. 堤人形　天神　江戸後期　１点　本出保治郎Ｃ
19. 堤人形　随身　江戸後期　１点　本出保治郎Ｃ
20. 堤人形　随身　江戸後期　１点　本出保治郎Ｃ
21. 三春人形　牛乗り天神　江戸後期　１点　本出保治郎Ｃ
22. 花巻人形　天神　江戸後期　１点　館蔵
23. 相良人形　雛　江戸後期　１点　館蔵
24. 相良人形　雛　江戸後期　１点　館蔵
25. 相良人形　地謡　江戸後期　１点　館蔵
26. 相良人形　小鼓　江戸後期　１点　館蔵
27. 堤人形　雛　男雛　江戸後期　１点　足立孔Ｃ
28. 堤人形　雛　女雛　江戸後期　１点　足立孔Ｃ
29. 堤人形　雛　男雛　江戸後期　１点　足立孔Ｃ
30. 堤人形　雛　女雛　江戸後期　１点　足立孔Ｃ
31. 堤人形　五人囃子　江戸後期　１点　足立孔Ｃ
32. 堤人形　五人囃子　江戸後期　１点　足立孔Ｃ
33. 堤人形　五人囃子　江戸後期　１点　足立孔Ｃ
34. 堤人形　五人囃子　江戸後期　１点　足立孔Ｃ
35. 堤人形　五人囃子　江戸後期　１点　足立孔Ｃ
36. 堤人形　五人囃子　地謡　江戸後期　１点　足立孔Ｃ
37. 堤人形　五人囃子　地謡　江戸後期　１点　足立孔Ｃ
38. 堤人形　大鼓　江戸後期　１点　本出保治郎Ｃ
39. 堤人形　雛　江戸後期　１点　本出保治郎Ｃ
40. 堤人形　雛　江戸後期　１点　本出保治郎Ｃ
41. 堤人形　地謡　江戸後期　１点　本出保治郎Ｃ

42. 三春人形　雛　男雛　江戸後期　1点　本出保治郎C
43. 三春人形　雛　女雛　江戸後期　1点　本出保治郎C
44. 三春人形　雛　男雛　江戸後期　1点　本出保治郎C
45. 三春人形　雛　女雛　江戸後期　1点　本出保治郎C
46. 三春人形　五人囃子　江戸後期　1点　本出保治郎C
47. 三春人形　五人囃子　江戸後期　1点　本出保治郎C
48. 三春人形　五人囃子　江戸後期　1点　本出保治郎C
49　三春人形　五人囃子　江戸後期　1点　本出保治郎C
50　三春人形　五人囃子　小鼓　江戸後期　1点　本出保治郎C
51　花巻人形　雛　江戸後期　1点　本出保治郎C
52　花巻人形　雛　江戸後期　1点　本出保治郎C
53　花巻人形　雛　江戸後期　1点　本出保治郎C
54　花巻人形　雛　江戸後期　1点　本出保治郎C
55　花巻人形　五人囃子　江戸後期　1点　本出保治郎C
56　花巻人形　五人囃子　江戸後期　1点　本出保治郎C
※No. 1～15は11／25～2016. 2／14、No. 23～56は2016. 2／16～3／7の展示

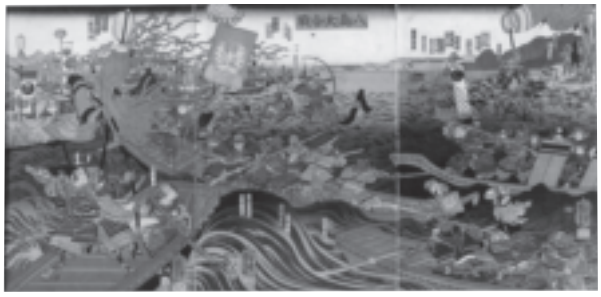
浮世絵

「幕末・明治の錦絵61」 2015. 4／14～6／7
1．夜の梅　歌川国芳　弘化期　大判3枚続　大宮司C
2．夜の桜　歌川国芳　弘化期　大判3枚続　大宮司C
3．弥生之夜桜　歌川国芳　嘉永期　大判3枚続　大宮司C
4．忠国娘白縫・御曹司為朝　歌川国芳　安政元年　大判3枚続　大宮司C
5．市川升五郎・大谷馬平・市川海老蔵・岩井半四郎　歌川国芳　天保期　大判3枚続　林C
6．岩井半四郎のけわい坂の少将・坂東三津五郎の小林の朝日奈・沢村訥升の五郎時宗　歌川国芳　天保期　大判3枚続　大宮司C
7．江戸名所　亀戸梅屋敷　歌川広重　嘉永5～安政5年　横大判1枚　阿部C
8．東海道五十三次(狂歌)　石部　歌川広重　天保11～嘉永4年　横中判1枚　林C
9．東海道五十三次　十二　三島　歌川広重　嘉永年間　横中判1枚　阿部C
10. 東都名所　吉原仲の町桜之図　歌川広重　天保11～嘉永4年　横大判1枚　阿部C
11. 東都名所　新吉原　歌川広重　天保11～嘉永4年　横大判1枚　阿部C
12. 日本名勝図会　吉野山　小林清親　明治30年　大判1枚　阿部C
13. 東京名所三十六戯撰　亀井戸　昇斎一景　未詳　大判1枚　大宮司C
14. 坂東三津五郎の岩ふじ・岩井半四郎のおはつ・瀬川菊之丞のおのへ　歌川豊国Ⅰ　文政期　大判3枚続　館蔵
15. 東都御殿山花見之図　歌川豊国Ⅱ　文政末～天保前期　大判3枚続　阿部C
16. 赤沢甚内〔松本幸四郎〕・宇佐美市五郎〔中村芝翫〕・菊のやの小万〔瀬川菊之丞〕　歌川国貞Ⅰ　文政11年　大判3枚続　大宮司C
17. 西国順礼実ハ景清〔市川団十郎〕・ちちふ順礼実ハ重忠〔板東三津五郎〕・板東順礼実ハ三保野〔岩井粂三郎〕　歌川国貞Ⅰ　文政10年　大判3枚続　阿部C
18. 局岩藤〔海老蔵〕・おはつ〔岩井杜若〕・中老尾上〔市川団蔵〕　歌川国貞Ⅰ　天保8年　大判3枚続　大宮司C
19. 常世五人女のうち　一　渓斎英泉　文化12～天保13年　大判1枚　和泉C
20. 常世五人女のうち　二　渓斎英泉　文化12～天保13年　大判1枚　和泉C
21. 子供踊尽　歌川国芳　未詳　大判3枚続　和泉C
22. 花盛琴棋書画　落合芳幾　元治元年　大判3枚続　大宮司C
23. 東名所隅田川　梅若之古事　月岡芳年　明治16年　大判3枚続　大宮司C
24. 風俗三十二相　かいたさう　嘉永年間おかみさんの風俗　月岡芳年　明治21年　竪大判1枚　阿部C
25. 美人七陽花　従五位柳原愛子　月岡芳年　明治11年　竪大判1枚　和泉C
26. 新吉原江戸町金瓶楼今紫座敷三曲之図　歌川芳虎　明治4年　大判3枚続　大宮司C
27. 帝国議会賑之図　永島春暁　明治23年　大判3枚続　大宮司C

「幕末・明治の錦絵62」 6／26～9／13
1．孔雀（摺物）　窪俊満　未詳　1枚　阿部次郎C
2．報春鳥（摺物）　窪俊満　未詳　1枚　阿部次郎C
3．奏楽人物図（摺物）　窪俊満　未詳　1枚　阿部次郎C
4．須磨琴（摺物）　柳々居辰斎　未詳　1枚　阿部次郎C
5．巻物図（摺物）　柳々居辰斎　未詳　1枚　阿部次郎C
6．還城楽図（摺物）　高島千春　未詳　1枚　和泉C
7．採桑老図（摺物）　高島千春　未詳　1枚　和泉C
8．四賀峯音吉（摺物）　喜多川月麿　未詳　1枚　阿部次郎C
9．千年川音松（摺物）　喜多川月麿　未詳　1枚　阿部次郎C
10. 茶道具（摺物）　柳々居辰斎　未詳　1枚　阿部次郎C
11. 鶉図（摺物）　柳々居辰斎　未詳　1枚　阿部次郎C
12. 花に蝶（摺物）　五梅庵畔李　未詳　1枚　阿部次郎C
13. 花に蜂（摺物）　花月堂李州ほか賛　未詳　1枚　阿部次郎C
14. 福寿草に蜂（摺物）　花月堂李州賛　未詳　1枚　阿部次郎C
15. 四季遊観納涼のほたる　歌川国芳　弘化期　大判3枚続　阿部次郎C
16. 文月　歌川国芳　嘉永期　大判3枚続　大宮司C
17. 両国夕涼花火ノ光景　歌川国芳　安政元年　大判3枚続　阿部次郎C
18. やさげんじ御庭の遊覧　落合芳幾　文久2年　大判3枚続　大宮司C
19. 東京両国川開之図　落合芳幾　未詳　大判3枚続　大宮司C

20. 月百姿　四條納涼　月岡芳年　明治18年　大判３枚続
阿部次郎Ｃ
21. 月百姿　盆の月　月岡芳年　明治20年　大判３枚続
阿部次郎Ｃ
22. 夏夜景　歌川芳虎　嘉永期　大判３枚続　阿部次郎Ｃ
23. 極暑あそび　かへるおよぎ・雷盆・およぎ・
徳利もち立游・しやちほこ立游　歌川豊国Ⅲ
嘉永５年　大判３枚続　阿部次郎Ｃ
24. 両国夕涼ミの図　歌川国貞Ⅱ　安政元年　大判３枚続
大宮司Ｃ
25. 向ふ島ほたるかりの図　歌川国明　安政６年
大判３枚続　大宮司Ｃ
26. 江戸風俗十二ヶ月之内　七月　七夕筋遠見附八辻
楊州周延　明治22年　大判３枚続　大宮司Ｃ

「幕末・明治の錦絵63」　９／15～12／13
１．八島大合戦　歌川国芳　嘉永期　大判３枚続　大宮司Ｃ



１．八島大合戦

２．源平八嶋大合戦　歌川国芳　天保期　大判３枚続　大宮司Ｃ
３．八嶋大合戦　歌川国芳　天保期　大判３枚続　大宮司Ｃ
４．源平八島大合戦　落合芳幾　万延元年　大判３枚続
大宮司Ｃ
５．義経八島之名誉　月岡芳年　慶応２年　大判３枚続
大宮司Ｃ
６．源平逆櫓論　月岡芳年　明治元年　大判３枚続　大宮司Ｃ
７．治承四年、駿州浮嶋が原で頼朝・義経対面の図
歌川国芳　嘉永期　大判３枚続　大宮司Ｃ
８．源義経一ノ谷頂上陣揃図　歌川国芳　嘉永期
大判３枚続　大宮司Ｃ
９．源平盛衰記　一ノ谷合戦　歌川芳虎　嘉永期
大判３枚続　大宮司Ｃ
10. 寿永三年　一ノ谷合戦図　歌川芳虎　嘉永期
大判３枚続　大宮司Ｃ
11. 摂州一の谷大合戦之図　歌川芳虎　未詳
大判３枚続　大宮司Ｃ
12. 摂州一の谷鵯越ヨリ義経平家ヲ攻ル図　歌川芳藤　未詳
大判３枚続　大宮司Ｃ
13. 源平壇之浦大合戦之図　月岡芳年　慶応元年
大判３枚続　大宮司Ｃ
14. 頼朝、平家追討の両大将を賀し給う図　歌川国芳
天保期　大判３枚続　大宮司Ｃ
15. 諸山の八天狗が弁慶を伏さしむる図　歌川国芳
天保期　大判３枚続　大宮司Ｃ
16. 加賀国安宅の新関にて弁慶の機知により義経主従が
救われるの図　歌川国芳　弘化期　大判３枚続　大宮司Ｃ
17. 源義経奥州下向平泉館にて秀衡の親子に対面の図
歌川国芳　弘化期　大判３枚続　大宮司Ｃ
18. 奥州高館合戦義経主従勇戦働之事　歌川国芳　弘化期
大判３枚続　大宮司Ｃ
19. 川中嶋信玄謙信旗本大合戦之図　歌川国芳　弘化期
大判３枚続　大宮司Ｃ
20. 川中島合戦　信玄侯旗本の勇士を繰出して謙信侯を
支る図　歌川国芳　嘉永６年　大判３枚続　大宮司Ｃ
21. 武田上杉　川中嶋大合戦図　歌川国芳　安政４年
大判３枚続　大宮司Ｃ
22. 宮本武蔵、箱根で狼を退治す　歌川国芳　文久元年
大判３枚続　大宮司Ｃ
23. 豊臣勲功記兵曽加部堀之陣エ夜討ノ図　月岡芳年
慶応３年　大判３枚続　大宮司Ｃ
24. 楠正成藁人形造敵箭奪図　歌川国芳　安政４年
大判３枚続　大宮司Ｃ

「幕末・明治の錦絵64」　12／15～2016.３／13
１．奥州金花山大金寺之図　英斎　明治期　大判３枚続
２．伊勢参宮大井川之図　豊原国周　慶応３年　大判３枚続
大宮司Ｃ
３．豊饒御陰参之図　落合芳幾　慶応３年　大判３枚続
大宮司Ｃ
４．浅草寺観世音詣　歌川国芳　安政元年　大判３枚続
大宮司Ｃ
５．東都名所ノ内　浅草観世音　歌川国安　未詳
大判３枚続　阿部Ｃ
６．開帳参詣群集図　歌川豊国Ⅲ　安政５年
大判３枚続　大宮司Ｃ
７．亀戸初卯参　歌川豊国Ⅲ　安政元年　大判３枚続　大宮司Ｃ
８．新板浮絵江戸芝神明之図　歌川国丸　未詳
大判３枚続　阿部Ｃ
９．東都七福詣の内　日暮布袋　歌川貞虎　未詳
大判１枚　和泉Ｃ
10. 東都七福詣の内　伝通院大黒天　歌川貞虎　未詳
大判１枚　和泉Ｃ
11. 成田山開帳参詣群集図　歌川豊国Ⅲ　安政３年
大判３枚続　大宮司Ｃ
12. 奥羽三景之内　米沢　橋本貞秀　明治元年
大判３枚続　大宮司Ｃ
13. 観音霊験記西国順礼第一番紀州那智山
歌川広重Ⅱ・歌川豊国Ⅲ　安政５年　大判１枚　館蔵
14. 観音霊験記西国順礼第二番紀三井寺
歌川広重Ⅱ・歌川豊国Ⅲ　安政５年　大判１枚　館蔵
15. 観音霊験記西国順礼第五番河内藤井寺
歌川広重Ⅱ・歌川豊国Ⅲ　未詳　大判１枚　館蔵

16. 観音霊験記西国順礼第九番和州奈良南円堂
歌川広重Ⅱ・歌川豊国Ⅲ　未詳　大判１枚　館蔵
17. 観音霊験記　秩父順礼第十一番坂氷南石山常楽寺
歌川広重Ⅱ・歌川豊国Ⅲ　未詳　大判１枚　館蔵
18. 観音霊験記　西国順礼第十五番山城京今熊野
歌川広重Ⅱ・歌川豊国Ⅲ　未詳　大判１枚　館蔵
19. 観音霊験記　西国順礼第十七番山城京六波羅密寺
歌川広重Ⅱ・歌川豊国Ⅲ　未詳　大判１枚　館蔵
20. 観音霊験記　西国順礼第二十一番丹波国穴穂寺
歌川広重Ⅱ・歌川豊国Ⅲ　未詳　大判１枚　館蔵
21. 観音霊験記　西国順礼第二十四番摂津国中山寺
歌川広重Ⅱ・歌川豊国Ⅲ　未詳　大判１枚　館蔵
22. 観音霊験記　西国順礼第二十七番播州書写山
歌川広重Ⅱ・歌川豊国Ⅲ　未詳　大判１枚　館蔵
23. 観音霊験記　西国順礼第二十八番丹後国成相寺
歌川広重Ⅱ・歌川豊国Ⅲ　未詳　大判１枚　館蔵
24. 観音霊験記　西国順礼第二十九番若狭国松尾寺
歌川広重Ⅱ・歌川豊国Ⅲ　未詳　大判１枚　館蔵

国指定文化財の公開

当館は昭和50年から、文化財保護法第48条に基づく文化庁長官による勧告及び承認による国宝・重要文化財の公開館に指定されている。これは、広く全国の人々に文化財を公開し、文化の向上に資するために設けられた制度で、独立行政法人国立博物館をはじめ、全国の各地域ごとに14館が公開館として指定されている。当館は、東北地方における主要館の一つとして位置づけられており、仙台市内のみならず東北地方の国宝・重要文化財が公開の対象となり得る。

本年度の承認による出品を行った文化財は下記のとおりである。

１．重要文化財　銅鏡　10面
月山神社・出羽神社・湯殿山神社蔵
２．重要文化財　銅造懸仏及び銅鏡　14面
熊野那智神社蔵
３．重要文化財　太刀（銘備州長船住義光・建武四年十二月）　１口　亀岡八幡宮蔵
４．重要文化財　瑞巌寺本堂障壁画　10面
瑞巌寺蔵
５．重要文化財　観瀾亭障壁画　檜槇図６面のうち２面　松島町蔵

東日本大震災復興祈念特別展

「国宝　吉祥天女が舞い降りた！
ー奈良　薬師寺　未来への祈りー」

会　　期　平成27年４月24日（金）～６月21日（日）
開催日数　52日間
観覧者数　86,604人（１日平均1,665人）
観 覧 料　一般1,300円（前売1,100円）、
高校・大学生1,000円、小・中学生600円
※10人以上の団体各100円引き
主　　催　「奈良　薬師寺　未来への祈り」実行委員会（仙台市博物館、ＮＨＫ仙台放送局、ＮＨＫプラネット東北）、法相宗大本山薬師寺、河北新報社
後　　援　文化庁、宮城県、宮城県教育委員会、毎日新聞仙台支局、読売新聞東北総局、産経新聞社東北総局、日本経済新聞社仙台支局、仙台リビング新聞社、ＴＢＣ東北放送、仙台放送、ミヤギテレビ、ＫＨＢ東日本放送、エフエム仙台、ラジオ3FM76.2、福島民友新聞社、福島民報社、岩手日報社

奈良・薬師寺は、天武天皇が皇后（後の持統天皇）の病気平癒を祈って西暦680年に建立を発願した由緒ある古寺である。天武天皇が崩御すると持統天皇に引き継がれ、藤原京に創建された。その後平城京へと移り、およそ1300年を経た現在は「古都奈良の文化財」として世界文化遺産に登録されている。

本展では東日本大震災からの復興を祈念し、独立した画像として現存最古の彩色画「国宝　吉祥天女像」（奈良時代）や、優しい微笑をたたえた「国宝　聖観世音菩薩立像」（飛鳥～奈良時代）など、世の安寧を願った古代仏教文化の粋というべき貴重な文化財を特別に公開した。

開会式の様子

また特別展示として、薬師寺に奉納された美術家による散華作品、および絵本作家・漫画家による稚児散華を展示したほか、会期中は毎日、薬師寺僧侶によるガイダンスを実施し、多くの方にご聴講いただいた。

Ａ４チラシ

展示構成

1　舞い降りた吉祥天女
2　国宝　薬師寺東塔
3　薬師寺の歴史と信仰
4　祈りと救いの仏　地蔵菩薩
5　薬師寺と能満寺　仏がつなぐ奈良と東北
6　未来への祈り　国宝　聖観世音菩薩立像
特別展示　薬師寺の奉納散華

印刷物

ポスター　Ｂ全判　500枚、Ｂ２判　4,000枚、
　　Ｂ３判　800枚
チラシ　　Ａ４判　400,000枚、Ａ５判　10,000枚
図録　　Ｂ５判　144ページ

展示風景①

関連行事

⑴　記念講演会①「薬師寺の信仰と歴史」
　４月24日（金）13：30～15：00
　博物館ホール・ロビー　参加282人
　（ホール172人・ロビー 110人）
　講師：山田法胤氏（法相宗大本山薬師寺管主）

記念講演会①

⑵　記念講演会②
　「薬師寺の仏像　展示作品を中心に」
　５月９日（土）13：30～15：00
　博物館ホール・ロビー　参加315人
　（ホール164人・ロビー 151人）
　講師：鈴木喜博氏（奈良国立博物館名誉館員）

記念講演会②

⑶　記念講演会③
　「薬師寺の誕生を東アジアから考える」
　５月30日（土）13：30～15：00
　博物館ホール・ロビー　参加212人
　（ホール141人・ロビー 71人）
　講師：佐川正敏氏（東北学院大学文学部教授）

記念講演会③

⑷　しろ・まち講座「展覧会のみどころ紹介」
　５月16日（土）　13：30～15：00
　博物館ホール　参加163人
　講師：酒井昌一郎（当館学芸員）
　　寺澤慎吾（当館学芸員）

⑸　薬師寺僧侶によるガイダンス
　会期中の休館日を除き、１回につき30分を原則として実施。
　計208回、延べ32,828人参加。

⑹　吉祥天女ぬりえ
　応募者数2,058人（うち当館プレイミュージアムでの応募1,866人）

⑺　ミュージアムセミナー
　４月25日（土）
　参加23人
　４月29日（水）
　参加45人

⑻　友の会広報セミナー
　５月７日（木）　参加174人

展示風景②

展示資料目録

＊●は国宝、◎は重要文化財、■は奈良県指定文化財、□は奈良市指定文化財

1．●吉祥天女像　奈良　8 世紀　1 面

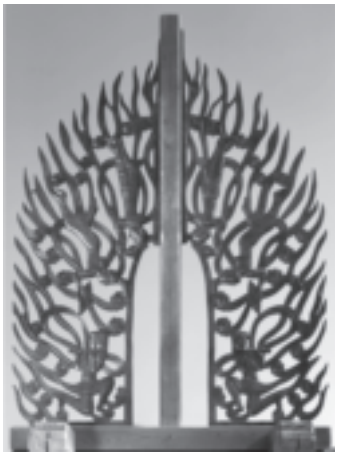
1. ●「吉祥天女像」奈良時代　薬師寺蔵

2．◎（1 軀未指定）　塑像残欠（旧東塔安置）
奈良・鎌倉　8 世紀・14世紀　24軀

3．◎（一部未指定）　塑像残欠（西塔跡出土）
奈良　8 世紀　10個

4．◎四天王立像　平安　11～12世紀　4 軀

5．東塔水煙（模造）　原資料奈良　昭和28年（1953）　1 具



5.「東塔水煙」（模造）原資料奈良時代　薬師寺蔵

6．西塔心礎（模造）　原資料奈良　1 個

7．龍神像　平安～鎌倉　12～13世紀　1 軀

8．薬師寺縁起　絵：明誉古礀筆　詞：道恕筆　享保元年（1716）
4 巻

9．■薬師十二神将像（医王曼荼羅図）　鎌倉　14世紀　1 幅

10. 行基菩薩絵伝　江戸　17～18世紀　2 巻

11. 獣身文鬼瓦残欠　奈良　8 世紀　1 個

12. ◎弥勒菩薩坐像　鎌倉　13世紀　1 軀

13. 法相曼荼羅図　鎌倉　14世紀　1 幀

14. □釈迦三尊十六善神像　鎌倉　14世紀　1 幅

15. 玄奘三蔵十六善神図　南北朝　14世紀　1 幅

16. ◎大般若経（魚養経）　奈良　8 世紀
48巻のうち 2 巻（巻第 1 、巻第325）

17. 薬師寺絵図　江戸　17世紀　1 幅

18. 薬師寺伽藍絵図　江戸　18世紀　1 幅

19. ◎地蔵菩薩立像　平安　10～11世紀　1 軀

20. ◎地蔵菩薩立像　善円作　延応 2 年（1240）　1 軀

20. ◎「地蔵菩薩立像」善円作　鎌倉時代　薬師寺蔵

21. ■地蔵菩薩立像　宿院仏師源次・源四郎・源五郎作
永禄 7（1564）　1 軀

22. 地蔵菩薩立像　宿院仏師源次・源四郎作　永禄 4（1561）
1 軀

23. 地蔵菩薩立像　桃山～江戸　17世紀　1 軀

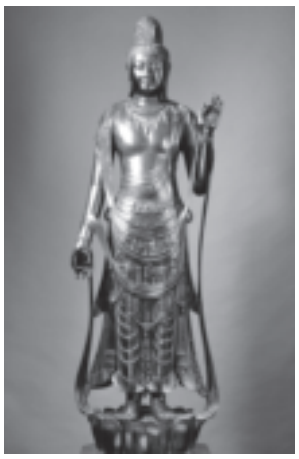
24. 地蔵菩薩立像　江戸　17世紀　1 軀

25. ◎文殊菩薩坐像　奈良～平安　8 ～ 9 世紀　1 軀

25. ◎「文殊菩薩坐像」奈良～平安時代　薬師寺蔵

26. ◎虚空蔵菩薩坐像　奈良～平安　8 ～ 9 世紀　1 軀

27. ●聖観世音菩薩立像（東院堂安置）　飛鳥～奈良
7 ～ 8 世紀　1 軀



27. ●「聖観世音菩薩立像」飛鳥～奈良時代　薬師寺蔵

特別展示　薬師寺の奉納散華

＜奉納散華＞

1．石踊達哉　　夜に咲く　1枚
2．上村淳之　　瑠璃鶲　1枚
3．梅原幸雄　　聖観音　1枚
4．大山忠作　　朝陽富士　1枚
5．小倉遊亀　　りんどう　1枚
6．片岡球子　　松竹梅　1枚
7．倉島重友　　春蘭　1枚
8．小泉智英　　竹の抄　1枚
9．下田義寛　　月明　1枚
10. 杉本健吉　　南無塔　1枚
11. 杉山　寧　　夕月　1枚
12. 高山辰雄　　朝陽　1枚
13. 竹内浩一　　白い鳩　1枚
14. 田渕俊夫　　飛翔　1枚
15. 中島千波　　枝垂れ桜　1枚
16. 西田俊英　　夕月　1枚
17. 濱田昇児　　瀑　1枚
18. 東山魁夷　　朝陽　1枚
19. 平松礼二　　花風　1枚
20. 平山郁夫　　月明り　1枚

奉納散華（図録より）

21. 稗田一穂　　奏楽天女　1枚
22. 福王寺法林　　ヒマラヤの月　1枚
23. 松尾敏男　　青宵牡丹　1枚
24. 三輪良平　　合歓の花　1枚
25. 森田曠平　　天舞　1枚
26. 吉岡堅二　　水煙　1枚
27. 吉田善彦　　如来　1枚

＜稚児散華＞

1．さくらももこ　夕暮れ　1枚
2．ちば　てつや　明日へ　1枚
3．やなせたかし　アンパンマンとドキンチャン　1枚

稚児散華（図録より）

特別展

「ご覧あれ　浮世絵の華
―歌麿・北斎・広重　平木コレクションの名品」

会　　期　平成27年７月17日（金）～９月６日（日）
前期：７月17日（金）～８月９日（日）
後期：８月11日（火）～９月６日（日）

開催日数　45日間

観覧者数　27,060人（１日平均601人）

観 覧 料　一般1,200円（前売1,000円）、
高校大学生900円、小・中学生500円
※10人以上の団体各100円引
※リピーター割引あり（使用済半券提示で当日料金より100円引）

主　　催　「浮世絵の華」仙台展実行委員会（仙台市博物館・ミヤギテレビ）、
公益財団法人　平木浮世絵財団

後　　援　宮城県教育委員会、宮城県文化振興財団、仙台市市民文化事業団、ＮＨＫ仙台放送局、ＴＢＣ東北放送、仙台放送、ＫＨＢ東日本放送、テレビ岩手、福島中央テレビ、エフエム仙台、ラジオ3FM76.2、河北新報社、読売新聞東北総局、朝日新聞仙台総局、毎日新聞仙台支局、産経新聞社東北総局、日本経済新聞社仙台支局、仙台リビング新聞社、山形新聞・山形放送、福島民友新聞社、岩手日日新聞社

日本が世界に誇る浮世絵版画は、海外でも評価が高いため、明治期以降に膨大な数の作品が流出した。一方で、国内のコレクションの流出を防ぐため、多くの人々の努力が重ねられた。中でも斎藤報恩会旧蔵の斎藤コレクションと松方・三原コレクションは、日本の三大コレクションと称されている。戦後の混乱期に三原・斎藤の両コレクションは散逸の危機を迎えたが、平木信二氏の所有となった。この両コレクションを中枢として平木氏自身の収集品を加えた平木コレクション（公益財団法人平木浮世絵財団蔵）は、芸術的価値が高く、摺りの状態、保存状態の優れた作品を数多く有するものとして広く認められている。

本展は、浮世絵の初期から、黄金時代を築いた鈴木春信、鳥居清長、喜多川歌麿、東洲斎写楽、葛飾北斎、歌川広重等の代表作が網羅され、さらに出品作品のほとんどが重要文化財もしくは重要美術品であり、極めて質の高い浮世絵を鑑賞する絶好の機会であった。なお、仙台展では平木コレクションのうち、仙台ゆかりの斎藤報恩会旧蔵作品が特別に追加出品された。

開会式の様子

展示構成

第１章　浮世絵の誕生―初期の名品
第２章　錦絵の誕生
第３章　浮世絵の黄金期
第４章　浮世絵の爛熟期
第５章　特別出品　斎藤報恩会旧蔵の名品

展示風景

印刷物

ポスター　Ｂ１判　200枚、Ｂ２判　2,000枚
チラシ　　Ａ４判　100,000枚
図録　　Ａ４判　237ページ
しおり（割引券付）　160,000枚
割引券（タクシー用）　14,000枚

Ａ４チラシ

関連行事

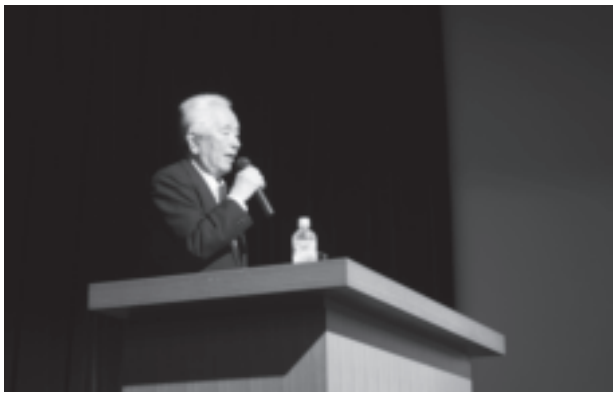
⑴　記念講演会

「平木コレクション　珠玉の浮世絵」

７月18日（土）　13：30～15：00

博物館ホール　参加175人

講師：佐藤光信氏（公益財団法人　平木浮世絵財団常務理事）



記念講演会

⑵　夏休み工作教室　　「浮世絵を摺ってみよう！」

７月25日（土）　午前の部10：00～12：00

午後の部14：00～16：00

博物館講習室　参加計80人

（午前の部40人、午後の部40人）

講師：当館教育普及室職員

夏休み工作教室

⑶　しろ・まち講座

「中国の瀟湘八景から浮世絵の八景へ」

８月１日（土）　13：30～15：00

博物館ホール　参加121人

講師：鈴木かおる（当館学芸員）

⑷　浮世絵摺り実演

８月９日（日）　午前の部10：30～12：00

午後の部13：30～15：00

博物館ギャラリー　参加計352人

（午前の部195人、午後の部157人）

講師：伝統木版画摺師　三田村努氏

摺り実演

⑸　ミュージアムセミナー

７月18日（土）

参加64人（教職員57人、ボランティア７人）

７月22日（土）

参加50人（教職員43人、ボランティア７人）

⑹　友の会広報セミナー

７月21日（火）　参加120人

⑺　各種団体・学校等への展示解説

７件　参加191人

展示資料目録

＊◎は重要文化財、◇は重要美術品
＊作品番号は図録の図版番号に一致する。
＊作品は全て公益財団法人　平木浮世絵財団蔵

1．浮世絵の誕生　―初期の名品

1．◎初代市川團十郎の暫　鳥居清倍　元禄14年（1701）頃
　大々判　1枚
2．◎花下美人　石川豊信　延享期（1744－1748）
　大々判　1枚

2. ◎花下美人　石川豊信

11. ◇立美人　懐月堂度繁　正徳期（1711－1716）～
　享保（1716－1736）前期　大々判　1枚
12. ◇小式部内侍　杉村治兵衛　元禄期（1688－1704）
　大々判　1枚
13. ◇獅子舞　杉村治兵衛　延宝（1673－1681）末期～
　元禄（1688－1704）末期　横大々判　1枚
14. ◇駒止め　中村傳九郎　嵐喜代三郎　勝山又五郎
　鳥居清信　宝永５～６年（1708－1709）頃　細判　1枚
15. ◇曽我の帯引　嵐わかの　二代目市川團十郎　大谷廣次
　鳥居清信　享保８年（1723）　細判　1枚
16. ◇かみすき十郎　鳥居清倍　正徳５年(1715)　大々判　1枚
17. ◇荻野伊三郎のなりひらの大次郎　二代鳥居清倍
　元文２年（1737）　細判　1枚
18. ◇浮絵劇場図　鳥居清忠　延享３年（1746）頃
　横大々判　1枚
19. ◇三ぶく対　中　京　広瀬重信　享保（1716－1736）末期
　細判　1枚
20. ◇色子三幅対　右　大坂　佐野川万菊　奥村政信
　享保８年（1723）頃　細判　1枚
21. ◇荻野伊三郎　奥村政信　享保（1716－1736）中期
　細判　1枚
22. ◇今様町方内儀風　二代目三條勘太郎　奥村利信
　享保（1716－1736）中期　細判　1枚
23. ◇しのだのもりくずのは道行　瀬川菊之丞　奥村利信
　元文２年（1737）　細判　1枚
24. ◇書物いろいろ　二代目三條勘太郎　西村重長
　享保期（1716－1736）　細判　1枚
25. ◇見立曽我　工藤　五郎　義秀　二代鳥居清信
　延享期（1744－1748）～寛延期（1748－1751）　横大判　1枚
26. ◇二代目坂東彦三郎　薪水　鳥居清重　宝暦８年（1758）頃
　細判　1枚
27. ◇深川娘三幅対　鳥居清広　宝暦（1751－1764）中期
　横大判　1枚
28. ◇茶の湯と花　山下又太郎　中村富十郎　鳥居清広
　宝暦５～７年（1755－1757）頃　大判　1枚
29. ◇室内遊戯　鳥居清満　宝暦期(1751－1764)　横大判　1枚
30. ◇四代目市川團十郎の悪七兵衛景清　鳥居清満
　宝暦（1751－1764）末期　細判　1枚
31. ◇市村亀蔵のなごや小山三　鳥居清満　寛延元年（1748）頃
　細判　1枚
32. ◇釣竿をもつ若衆　鳥居清満　宝暦期（1751－1764）
　柱絵判　1枚
33. ◇九代目市村羽左衛門の白びやうし　鳥居清経
　宝暦13年（1763）頃　細判　1枚
34. ◇鳥追　中村喜代三郎　尾上菊五郎　石川豊信
　寛延２～宝暦２年（1749－1752）　大々判　1枚
35. ◇湯あがり　石川豊信　宝暦（1751－1764）後期
　細判　1枚

2．錦絵の誕生

36. ◇三代目大谷廣治の小のゝよしさね　鈴木春信
　明和元年（1764）　細判　1枚
37. ◇馬内侍　鈴木春信　明和２年（1765）　中判　1枚
38. ◇坐鋪八景　あふきの晴嵐　鈴木春信　明和３年（1766）頃
　中判　1枚
39. ◇坐鋪八景　台子の夜雨　鈴木春信　明和３年（1766）頃
　中判　1枚
40. ◇坐鋪八景　鏡台の秋月　鈴木春信　明和３年（1766）頃
　中判　1枚
41. ◇坐鋪八景　琴路の落雁　鈴木春信　明和３年（1766）頃
　中判　1枚
42. ◇坐鋪八景　あんとうの夕照　鈴木春信
　明和３年（1766）頃　中判　1枚
43. ◇坐鋪八景　手拭かけ帰帆　鈴木春信　明和３年（1766）頃
　中判　1枚
44. ◇坐鋪八景　とけひの晩鐘　鈴木春信　明和３年（1766）頃
　中判　1枚
45. ◇坐鋪八景　ぬり桶の暮雪　鈴木春信　明和３年（1766）頃
　中判　1枚
46. ◇本柳屋お藤　鈴木春信　明和５～６年（1768－1769）頃
　横間判　1枚
47. ◇鶯娘　鈴木春信　明和３年（1766）頃　中判　1枚
48. ◇僧正遍昭　鈴木春信　明和３年（1766）頃　中判　1枚
49. ◇風流七小町　清水　鈴木春信
　明和５～６年（1768－1769）頃　柱絵判　1枚

50. ◇雪月花内　品川月　鈴木春重　明和８年（1771）頃
中判　１枚
51. ◇春　礒田湖龍斎　安永（1772－1781）初期　中判　１枚
52. ◇夏　蚊遣り　礒田湖龍斎　安永（1772－1781）初期
中判　１枚
53. ◇名鳥坐鋪八景　いんこ晴嵐　礒田湖龍斎
安永（1772－1781）初期　中判　１枚
54. ◇名鳥坐鋪八景　きんけい夜雨　礒田湖龍斎
安永（1772－1781）初期　中判　１枚
55. ◇名鳥坐鋪八景　はいたか秋月　礒田湖龍斎
安永（1772－1781）初期　中判　１枚
56. ◇名鳥坐鋪八景　きうくわん鳥落雁　礒田湖龍斎
安永（1772－1781）初期　中判　１枚
57. ◇名鳥坐鋪八景　孔雀夕照　礒田湖龍斎
安永（1772－1781）初期　中判　１枚
58. ◇名鳥坐鋪八景　鶴の帰帆　礒田湖龍斎
安永（1772－1781）初期　中判　１枚
59. ◇名鳥坐鋪八景　わしの晩鐘　礒田湖龍斎
安永（1772－1781）初期　中判　１枚
60. ◇名鳥坐鋪八景　あふむ暮雪　礒田湖龍斎
安永（1772－1781）初期　中判　１枚
61. ◇きぬぎぬ　礒田湖龍斎　安永（1772－1781）前期
柱絵判　１枚
62. ◇虚無僧　礒田湖龍斎　安永（1772－1781）前期
柱絵判　１枚
63. ◇雛形若菜の初模様　中近江屋内　ミつうら　礒田湖龍斎
安永９～10年（1780－1781）　大判　１枚
64. ◇雛形若菜の初模様　若那屋内　しらゆふ　小てう　とめぎ
礒田湖龍斎　安永９～10年（1780－1781）　大判　１枚
65. ◇雨中松に鷲　礒田湖龍斎　安永（1772－1781）初期
中判　１枚
66. ◇雪中烏と鷺　礒田湖龍斎　安永（1772－1781）初期
中判　１枚
67. ◇三代目大谷広治　二代目吾妻藤蔵　一筆斎文調
明和７年（1770）　中判　１枚
68. ◇二代目佐野川市松　尾上民蔵　一筆斎文調
明和７年（1770）　細判　１枚
69. ◇尾上松助　一筆斎文調　明和５年（1768）　細判　１枚
70. ◇二代目市川門之助の曽我五郎　一筆斎文調
明和９年（1772）　細判　１枚
71. ◇かぎやお仙　一筆斎文調　明和（1764－1772）後期
細判　１枚
72. ◇三十六花撰　ゑちせんやもろこし　一筆斎文調
安永（1772－1781）前期　中判　１枚
73. ◇遊女立姿　勝川春章　安永（1772－1781）前期
幅広柱絵判　１枚
74. ◇佐藤忠信　勝川春章　明和期（1764－1772）　中判　１枚
75. ◇中村仲蔵の大日坊　勝川春章　安永４年（1775）
細判　１枚
76. ◇四代目岩井半四郎のお苅　勝川春章　天明４年（1784）
細判　１枚
77. ◇三代目瀬川菊之丞のお夏狂乱　勝川春好
天明元年（1781）　細判　１枚
78. ◇濱むらや路考　勝川春好　天明（1781－1789）初期
細判　１枚
79. ◇三代目瀬川菊之丞のお染　四代目岩井半四郎の久松
勝川春英　天明８年（1788）　大判　１枚
80. ◇市川鰕蔵の鎌倉権五郎景政　三代目坂田半五郎の奴矢筈の
弥太平　勝川春英　寛政６年（1794）　間判　１枚

３．浮世絵の黄金期

81. ◇参詣戻り　勝川春潮　天明期（1781－1789）　大判　１枚
82. ◇真崎稲荷　勝川春潮　天明６年（1786）　大判　１枚
83. ◇参詣の娘　勝川春潮　天明期(1781－1789)　柱絵判　１枚
84. ◇芸者　北尾重政　安永６年（1777）頃　大判　１枚
85. ◇浮絵和国景夕品川見通シ之図　歌川豊春
明和（1764－1772）後期　横大判　１枚
86. ◇二階の芸者と仲居　窪俊満　天明（1781－1789）後期
間判　１枚
87. ◇六玉川の内　高野　窪俊満　天明（1781－1789）末期
大判　１枚
88. ◇尾上松助のげいしやお松実ハあこや　鳥居清長
安永８年（1779）　細判　１枚
89. ◇三虚無僧　鳥居清長　天明元年（1781）頃　中判　１枚
90. ◇六郷渡船　鳥居清長　天明４年（1784）頃　大判　２枚続
91. ◇隅田川渡船　鳥居清長　天明７年（1787）頃　大判　１枚
92. ◇藤下婦女　鳥居清長　天明元年（1781）頃　柱絵判　１枚
93. ◇平六を出る芸者　鳥居清長　天明（1781－1789）初期
柱絵判　１枚
94. ◇坎々楼由良之助遊戯　鳥居清長　寛政６年（1794）頃
大判　３枚続
95. ◇十体画風俗　鳥居清長　寛政６年（1794）頃　大判　１枚
96. ◇高名三美人　喜多川歌麿　寛政４～５年（1792－1793）頃
大判　１枚
97. ◇歌撰恋之部　物思恋　喜多川歌麿　寛政５年（1793）頃
大判　１枚
98. ◇芸者亀吉　喜多川歌麿　寛政８年（1796）頃　大判　１枚

98. ◇芸者亀吉　喜多川歌麿

99. ◇錦織歌麿形新模様　ふみ見　喜多川歌麿
寛政９年（1797）頃　大判　１枚
100. ◇山姥と金太郎　喜多川歌麿　寛政９年（1797）頃
大判　１枚
101. ◇橋下男女魚釣　喜多川歌麿　寛政（1789－1801）末期
長絵判　１枚
102. ◇松葉屋　粧ひ　松村　喜多川歌麿
享和元～２年（1801－1802）　大判　１枚
103. ◇婦人相学十体　かねつけ　喜多川歌麿
享和３年（1803）頃　大判　１枚
104. ◇二葉草七小町　かよい小町　喜多川歌麿
享和期（1801－1804）　大判　１枚
105. ◇目出度三幅対　兄弟睦敷図　喜多川歌麿
享和期（1801－1804）　大判　１枚
106. ◇たま屋内　志津賀　明石　喜多川菊麿　享和２年（1802）
間判　１枚
107. ◇芸者　栄松斎長喜　寛政６年（1794）頃　大判　１枚
108. ◇越前屋内　九重　あけは　こいさ　鳥文斎栄之
寛政（1789－1801）中期　大判　１枚
109. ◇風流略六歌仙　其二　喜撰法師　鳥文斎栄之
寛政５～６年（1793－1794）頃　大判　１枚
110. ◇上野三枚橋　鳥文斎栄之　寛政５年（1793）頃
大判　３枚続
111. ◇遊君和歌三神　丁子屋雛鶴　鳥高斎栄昌
寛政（1789－1801）中期　間判　１枚
112. ◇風流五節句　上巳の娘　鳥高斎栄昌
寛政（1789－1801）中期　間判　１枚
113. ◇郭中美人競　若松屋内　緑木　鳥高斎栄昌
寛政７～８年（1795－1796）　大判　１枚
114. ◇難波屋二美人　鳥高斎栄昌　寛政７～８年（1795－1796）
柱絵判　１枚
115. ◇三美人と子供　鳥橋斎栄里
寛政７～８年（1795－1796）頃　間判　１枚
116. ◇兵庫や内　月岡　一楽亭栄水　寛政（1789－1801）後期
大判　１枚
117. ◇東錦美人合　前髪を粧う娘　鳥居清峯　文化(1804－1818)
中期　大判　１枚
118. ◇豊広豊国両画十二候　六月　四条河原夕涼み　歌川豊広
享和元年（1801）　大判　１枚
119. ◇豊広豊国両画十二候　正月　三枚続　歌川豊国
享和元年（1801）　大判　３枚続
120. ◇役者舞台之姿絵　やまとや　歌川豊国　寛政６年（1794）
大判　１枚
121. ◇役者舞台之姿絵　たきのや　歌川豊国　寛政６年（1794）
大判　１枚
122. ◇役者舞台之姿絵　まさつや　歌川豊国　寛政６年（1794）
大判　１枚
123. ◇市川鰕蔵の暫　歌川国政　寛政８年（1796）　大判　１枚
124. ◇三代目市川高麗蔵の志賀大七　東洲斎写楽
寛政６年（1794）５月　大判　１枚

122. ◇役者舞台之姿絵　まさつや　歌川豊国

125. ◇二代目嵐龍蔵の金貸石部金吉　東洲斎写楽
寛政６年（1794）５月　大判　１枚

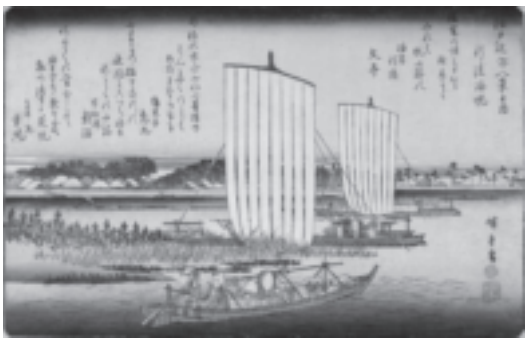
125. ◇二代目嵐龍蔵の金貸石部金吉　東洲斎写楽

126. ◇二代目岩井喜代太郎の二見屋娘お袖　東洲斎写楽
寛政６年（1794）７月　細判　１枚
127. ◇二代目山下金作の貞任妻岩手御前　東洲斎写楽
寛政６年（1794）11月　細判　１枚
128. ◇市川男女蔵　歌舞妓堂艶鏡　寛政８年（1796）頃
大判　１枚

４．浮世絵の爛熟期

129. ◇詩歌写真鏡　少年行　葛飾北斎
天保４～５年（1833－1834）頃　長絵判　１枚
130. ◇詩歌写真鏡　雪中人馬　葛飾北斎
天保４～５年（1833－1834）頃　長絵判　１枚
131. ◇芙蓉に雀　葛飾北斎　天保３年（1832）頃　横大判　１枚
132. ◇杜若にきりぎりす　葛飾北斎　天保３年（1832）頃
横大判　１枚
133. ◇萩に登り鮎　歌川国芳　天保（1830－1844）中期
中短冊判　１枚
134. ◇なまず　歌川国芳　天保（1830－1844）中期
中短冊判　１枚

135. ◇東都御厩川岸之図　歌川国芳　天保４年（1833）頃
横大判　１枚
136. ◇雪景山水　溪斎英泉　天保（1830－1844）後期
掛物絵判　１枚
３．◎江戸近郊八景之内　吾嬬杜夜雨　歌川広重
天保８～９年（1837－1838）頃　横大判　１枚
４．◎江戸近郊八景之内　玉川秋月　歌川広重
天保８～９年（1837－1838）頃　横大判　１枚
５．◎江戸近郊八景之内　池上晩鐘　歌川広重
天保８～９年（1837－1838）頃　横大判　１枚
６．◎江戸近郊八景之内　行徳帰帆　歌川広重
天保８～９年（1837－1838）頃　横大判　１枚

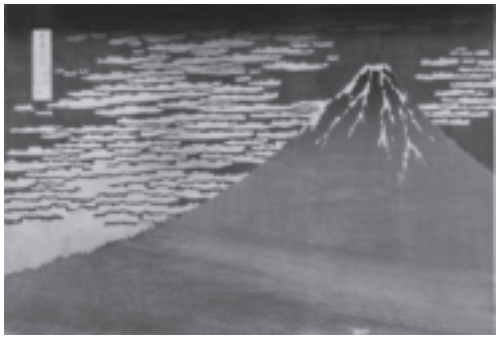


6. ◎江戸近郊八景之内　行徳帰帆　歌川広重

７．◎江戸近郊八景之内　芝浦晴嵐　歌川広重
天保８～９年（1837－1838）頃　横大判　１枚
８．◎江戸近郊八景之内　小金井橋夕照　歌川広重
天保８～９年（1837－1838）頃　横大判　１枚
９．◎江戸近郊八景之内　羽根田落雁　歌川広重
天保８～９年（1837－1838）頃　横大判　１枚
10. ◎江戸近郊八景之内　飛鳥山暮雪　歌川広重
天保８～９年（1837－1838）頃　横大判　１枚
137. ◇富士川雪景　歌川広重　天保13年（1842）頃
掛物絵判　１枚
138. ◇阿波鳴門之風景　歌川広重　安政４年（1857）
大判　３枚続
139. ◇武陽金澤八勝夜景　歌川広重　安政４年（1857）
大判　３枚続
140. ◇木曽路之山川　歌川広重　安政４年(1857)　大判　３枚続
141. ◇海棠に小鳥　歌川広重　天保（1830－1844）前期
大短冊判　１枚
142. ◇海棠にいんこ　歌川広重　天保（1830－1844）前期
大短冊判　１枚
143. ◇鴛鴦　歌川広重　天保（1830－1844）前期
大短冊判　１枚
144. ◇あやめに翡翠　歌川広重　天保（1830－1844）前期
中短冊判　１枚
145. ◇藤ばかまに撫子　歌川広重　天保（1830－1844）前期
中短冊判　１枚

５．特別出品　斎藤報恩会旧蔵の名品

146. 若衆と娘　菱川師宣　延宝期（1673－1681）　横大判　１枚
147. 女絵師　鳥居清信　正徳元年（1711）　横大判　１枚
148. 針仕事　喜多川歌麿　寛政７年（1795）頃　大判　１枚
149. 生花　歌川豊国　寛政（1789－1801）後期　大判　１枚
150. 御殿女中品川見はらし　葛飾北斎　寛政７～10年（1795－1798）　横大判　１枚
151. 冨嶽三十六景　凱風快晴　葛飾北斎　天保２～５年（1831－1834）　横大判　１枚



151. 冨嶽三十六景　凱風快晴　葛飾北斎

152. 北廓月の夜桜　歌川国貞　天保（1830－1844）中期
横大判　１枚
153. 東都冨士見三十六景　隅田堤の夕冨士　歌川国芳
弘化期（1844－1848）　横大判　１枚
154. 東都冨士見三十六景　新大はし橋下の眺望　歌川国芳
弘化期（1844－1848）　横大判　１枚
155. 東海道五拾三次人物志　川崎　歌川国芳
嘉永期（1848－1854）　横大判　１枚
156. 京都名所之内　淀川　歌川広重　天保５年（1834）頃
横大判　１枚
157. 京都名所之内　糺川原之夕立　歌川広重　天保５年（1834）頃　横大判　１枚
158. 本朝名所　摂州布引之瀧　歌川広重
天保８～10年（1837－1839）　横大判　１枚
159. 甲陽猿橋之図　歌川広重　天保13年（1842）頃
掛物絵判　１枚
160. 江都名所　吉原日本堤　歌川広重　天保（1830－1844）後期
横大判　１枚
161. 江戸名所　洲崎はつ日の出　歌川広重　嘉永６年（1853）
横大判　１枚
162. 江戸名所　御茶の水　歌川広重　嘉永６年（1853）
横大判　１枚
163. 藤に四十雀　歌川広重　天保（1830－1844）前期
中短冊判　１枚
164. 枝垂れ桃に寿帯鳥　歌川広重　天保（1830－1844）前期
中短冊判　１枚
165. 柿に目白　小林清親　明治13年（1880）　横大判　１枚

歴史姉妹都市締結40周年記念特別展

「宇和島伊達家の名宝
ー政宗長男・秀宗からはじまる西国（さいごく）の伊達ー」

会　　期　平成27年10月９日（金）～11月23日（月・祝日）
開催日数　40日間
観覧者数　17,160人（１日平均429人）
観 覧 料　一般1,100円、高校・大学生600円、小・中学生300円
※10人以上の団体各100円引
主　　催　仙台市博物館
共　　催　河北新報社、ＴＢＣ東北放送
特別協力　公益財団法人　宇和島伊達文化保存会、宇和島市立伊達博物館、瑞巌寺
後　　援　毎日新聞仙台支局、朝日新聞仙台総局、読売新聞東北総局、産経新聞社東北総局、日本経済新聞社仙台支局、仙台リビング新聞社、ＮＨＫ仙台放送局、仙台放送、ミヤギテレビ、ＫＨＢ　東日本放送、エフエム仙台、ラジオ3FM76.2

宇和島市と仙台市は、昭和50年（1975年）11月３日に、歴史姉妹都市となった。その理由は、仙台藩初代藩主・伊達政宗の長男・秀宗が、宇和島藩初代藩主となったことから始まり、互いに城下町として繁栄してきたことなど、歴史的な背景によるものである。

昭和51年には宇和島と仙台の双方で歴史姉妹都市調印記念の展覧会を行なったほか、宇和島築城四百年記念事業や仙台開府四百年記念事業、えひめ南予いやし博2012秋期特別展への出品など、さまざまな機会を捉えて互いに協力し、経済、観光の面での交流も深まっている。

開会式の様子

本展では、歴史姉妹都市締結40周年を記念し、秀宗に始まる宇和島藩と仙台藩の歴史的なつながりを軸に、宇和島伊達家に伝来した名宝の数々を紹介した。江戸時代の宇和島藩のすがたや華やかな大名文化に触れる機会とするだけでなく、この展覧会をきっかけに、両市の絆がより一層深まり、相互理解と市民交流が進むことを期待したものである。

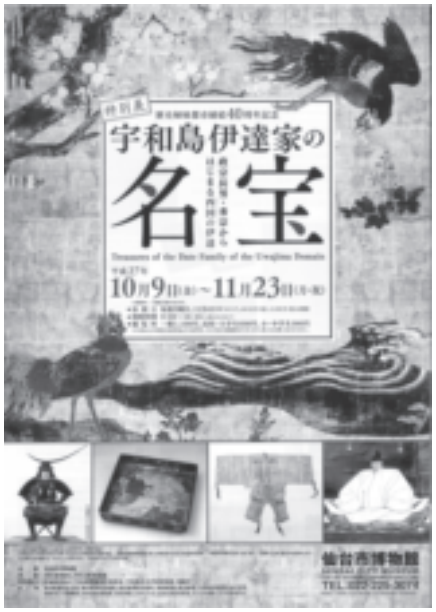
市民の方からは仙台と宇和島のつながりが理解できたこと、常設展へ誘う関連展示も良かったことなど、ご好評いただいた。

展示構成

第１章　豊臣の世に生きる　秀吉と政宗と秀宗
第２章　徳川の時代に　宇和島藩伊達家の誕生
第３章　宇和島伊達家と仙台伊達家　両家の縁
第４章　宇和島伊達家に伝来した美術工芸品

印刷物

ポスター　Ｂ２判　1,300枚　Ｂ３判　150枚
チラシ　　Ａ４判　70,000枚
割引券　　140,000枚
図録　　Ａ４判　138ページ　2,000部



Ａ４チラシ

関連行事

⑴　記念講演会①
「宇和島城とその城下」
10月10日（土）　13：30～15：00
博物館ホール　参加195人
（ホール172人・講習室23人）

記念講演会①

講師：内田九州男氏（愛媛大学名誉教授）

⑵　記念講演会②
「伊達政宗と秀宗－親子の絆－」
10月17日（土）　13：30～15：00
博物館ホール　参加205人
（ホール170人・講習室35人）
講師：佐藤憲一氏（元仙台市博物館館長）

⑶　しろ・まち講座「展覧会のみどころ紹介」
11月７日（土）　13：30～15：00
博物館ホール　参加112人
講師：髙橋あけみ（当館主幹）
　　水野沙織（当館学芸員）

⑷　ミュージアムセミナー
10月10日（土）
参加22人（教職員18人、ボランティア４人）
10月14日（水）
参加14人（教職員９人、ボランティア５人）

⑸　友の会広報セミナー
10月19日（月）　参加123人

⑹　各種団体・学校等への展示解説
15件　参加444人

⑺　プレイミュージアムイベント
「和綴じに挑戦！」

⑻　その他
①宇和島市商工観光課主催
「宇和島市観光ＰＲパネル展～宇和島にきさいや～伊達家が繋ぐ四国宇和島と仙台の縁」
博物館ギャラリー

②文化財課主催
「第29回民俗芸能のつどい　仙台ゆかりの鹿踊」
10月11日（日）13：30～15：00
博物館ホール・庭　参加280人
出演：裏町一丁目八ツ鹿保存会（宇和島市）、川前鹿踊・剣舞保存会（仙台市）、金津流石関獅子踊（奥州市）

宇和島市観光ＰＲパネル展

裏町一丁目八ツ鹿踊り

展示風景

展示資料目録

＊◎は重要文化財、■は宮城県指定文化財、□は仙台市指定文化財、◆は宇和島市指定文化財

＊宇和島伊達文化保存会は公益財団法人宇和島伊達文化保存会を指す。

＊写真で所蔵先がないものは宇和島伊達文化保存会蔵

第１章　豊臣の世に生きる　秀吉と政宗と秀宗

1．◎豊臣秀吉画像　狩野光信筆　慶長４年（1599）　１幅
宇和島伊達文化保存会

1. ◎豊臣秀吉画像　狩野光信筆

2．◎銀伊予札白糸威胴丸具足　豊臣秀吉所用　伊達政宗拝領
天正18年（1590）拝領　１領　館蔵

3．藩祖秀宗童体装束　伊達秀宗所用　桃山　１具
宇和島伊達文化保存会

4．短刀　伝伊達秀宗所持　桃山　１具　宇和島伊達文化保存会

5．菊桐紋散枝菊文蒔絵広蓋　伝豊臣秀吉所持　伊達秀宗拝領
文禄４年（1595）拝領　１口　宇和島伊達文化保存会

6．御紋散藤扇面蒔絵広蓋　伝豊臣秀吉所持　伊達秀宗拝領
伝文禄４年（1595）拝領　１口　宇和島伊達文化保存会

7．秀宗公不審抜書　天明８年（1788）　１冊
宇和島伊達文化保存会

8．伊達政宗書状　宛所不明　（天正18年・1590）６月14日
１幅　館蔵

9．伊達政宗掟書　大和田筑後守（忠清）宛
慶長７年（1602）９月26日　１通　個人蔵

10. ■伊達政宗甲冑倚像　慶安５年（1652）　１軀　瑞巌寺

11. ◎黒漆五枚胴具足　伊達政宗所用　桃山　１領　館蔵

12. □伊達政宗画像　狩野安信筆　江戸前期　１幅　館蔵

10. ■伊達政宗甲冑倚像　瑞巌寺蔵

第２章　徳川の時代に　宇和島伊達家の誕生

13. 御領中色分絵図　江戸中期以降　１鋪
宇和島伊達文化保存会

14. 宇和島御城下絵図　元禄16年（1703）７月　１鋪
宇和島伊達文化保存会

14. 宇和島御城下絵図

15. 宇和島城下絵図屏風　元禄６～８年（1693～95）頃
６曲１双　宇和島市立伊達博物館

16. 伊予国宇和島城絵図　正徳元年（1711）11月25日　１鋪
宇和島伊達文化保存会

17. 法語軍扇　伊達秀宗書き込み　江戸初期　２本
宇和島伊達文化保存会

18. 伊達政宗書状　松下総守（松平忠明）宛
（慶長20年・1615）正月２日　１幅　甘柿舎Ｃ

19. 伊達政宗覚書　伊達侍従（秀宗）宛
（慶長20年・1615）２月27日　１通　宇和島伊達文化保存会

20. 伊達政宗書状　侍従（伊達秀宗）宛
（慶長20年・1615）３月２日　１幅　宇和島伊達文化保存会

21. 宇和島藩祖秀宗印章　伊達秀宗所用　江戸前期　６顆
宇和島伊達文化保存会

22. □貞山公治家記録　巻二十八
元和６年（1620）10月朔日条　１冊　館蔵

23. 家中分限帳　（惣侍衆知行御切米御扶持方之留帳）
元和４年（1618）　１冊　　宇和島伊達文化保存会
24. 記録書抜　宗利：文政元年～文政３年（1818～1820）／宗紀：
文政８年（1825）　26冊のうち２冊　　宇和島伊達文化保存会
25. 諸士官禄年数帳　上巻　明暦元年（1655）８月吉日　１冊
宇和島伊達文化保存会
26. 茶壺　銘　仙ケ洞藤四郎　伊達政宗所持　伊達秀宗拝領
桃山　１口　　宇和島伊達文化保存会
27. 唐物小茄子茶入　伊達政宗所持　伊達秀宗拝領
寛永９年（1632）頃　１口　　宇和島伊達文化保存会
28. 香木　銘　柴舟　伊達政宗所持　伊達秀宗拝領
寛永９年（1632）頃　１木・１箱　　宇和島伊達文化保存会
29. 伊達政宗書状　伊遠江守（伊達秀宗）宛　寛永７～10年
（1630～32）正月３日　１幅　　宇和島伊達文化保存会
30. 香木　銘　柴舟　五郎八姫施入　江戸前期
１木・包紙１点　　瑞巌寺
31. ◆伏見御殿屏風（唐人図）　桃山　６曲１隻
宇和島伊達文化保存会
32. ◆伏見御殿屏風（花鳥図）　桃山　２曲１隻
宇和島伊達文化保存会

32. ◆伏見御殿屏風（花鳥図）

33. 紫糸威二枚胴具足　伝伊達秀宗所用　江戸前期　１領
宇和島市立伊達博物館
34. 桜鋲紺糸威二枚胴具足　伊達宗贇所用　江戸前期～中期
１領　　宇和島伊達文化保存会
35. ◆藍白地黄返小桜染革威鎧　伊達宗紀所用
天保10年（1839）　１領　　宇和島伊達文化保存会

35. ◆藍白地黄返小桜染革威鎧　伊達宗紀所用

第３章　宇和島伊達家と仙台伊達家　両家の縁

36. 伊達忠宗書状　（伊達）秀宗宛　（寛永19年・1642）２月12日
１幅　　瑞巌寺
37. 伊達秀宗書状　伊達信濃守（宗重）宛
（承応２年・1653）２月２日　１幅　　瑞巌寺
39. 伊達綱村書状　伊遠江守（伊達宗利）宛
（天和２年・1682）６月19日　１通　宇和島伊達文化保存会
40. 伊達吉村書状及び和歌①和歌「枝おりして」
②和歌「春かすみ」　③和歌「御年かさねをいわゐて」
④書状　富姫宛　10月19日付
①②④享保９年（1724）頃　　③（享保13年・1728）
４通　　宇和島伊達文化保存会
41. 押船行列絵巻　狩野昌蔵筆　江戸中期　１巻
宇和島伊達文化保存会
42. 野始絵巻　江戸後期　全７巻のうち２巻
宇和島伊達文化保存会
43. 伊達村候画像・夫人種姫画像　宝暦13年（1763）
２枚　　宇和島伊達文化保存会
44. 伊達宗紀書状　仙台賢兄（伊達斉邦）宛
（天保８年・1837）７月20日　１通　　館蔵
45. □伊達斉邦画像　菊田伊徳筆　江戸後期　１幅　　館蔵
46. 久良浦サザレ鼻　新築砲台之図　嘉永３年（1850）
１枚　　宇和島伊達文化保存会
47. 真風之図　安政元年（1854）　３枚のうち２枚
宇和島伊達文化保存会
48. 車船図　江戸後期　１枚　　宇和島伊達文化保存会
49. 御手帳　伊達宗城筆　①慶応４年（1868）４月26日～
９月２日②明治元年（1868）９月19日～明治２年正月２日
２冊　　宇和島伊達文化保存会
50. 御手帳留　明治元　自四月廿八日至九月二日　明治元年
（1868）４月28日～９月２日　１冊　宇和島伊達文化保存会
51. 仙台事件御沙汰書　宇和島宰相（伊達宗城）宛
（慶応４年・1868）６月　１通　　宇和島伊達文化保存会
52. □伊達慶邦画像　印藤真楯筆　明治13年（1880）　１面　館蔵
53. 伊達宗敦書状写留　慶応４年～明治４年（1868～1871）
１冊　　館蔵

第４章　宇和島伊達家に伝来した美術工芸品

54. 一の谷・屋島合戦図屏風　狩野興甫筆　江戸　６曲１双
宇和島伊達文化保存会
56. 馬師皇・百馬図　狩野惟信筆　江戸　３幅対
宇和島伊達文化保存会
57. 鯉・水鳥図　円山応挙筆　安永４年（1775）　12幅
宇和島伊達文化保存会
58. 岩屋物語絵巻　不詳　江戸　３巻のうち中巻
宇和島伊達文化保存会
59. 唐人図屏風　狩野典信筆　江戸　６曲１双
宇和島伊達文化保存会
60. 両帝図屏風（黄帝造船造車・舜帝弾琴）
狩野栄信筆　江戸　６曲１双　　宇和島伊達文化保存会

61. 書画帖　東東洋ほか筆　江戸　１冊　宇和島伊達文化保存会
62. 千疋蝶図　春木南溟筆　江戸～明治　１幅
宇和島伊達文化保存会
63. 十二月図　春木南溟筆　江戸～明治　双幅
宇和島伊達文化保存会
64. 脇差　徳川家康所用　伊達秀宗拝領
（表）相模国住人貞宗　（裏）建武元甲戌五月日
建武元年（1334）銘　１口　宇和島伊達文化保存会
65. 刀　（表）奥州主藤政宗掌握刀（伝島田助宗）　桃山　１口
宇和島伊達文化保存会
66. 琵琶　銘　青山　桃山　１面　宇和島伊達文化保存会
67. 箏　銘　玉簾　石村近江忠貞作　元禄４年（1691）　１面
宇和島伊達文化保存会
68. 指面（ゆびめん）　伊達綱宗作　江戸前期～中期
１具（百面）　宇和島伊達文化保存会

68. 指面　伊達綱宗作

69. 能面　小面（こおもて）　江戸　１面　宇和島伊達文化保存会
70. 能面　真角（しんかく）　江戸　１面　宇和島伊達文化保存会
71. 黒塗雪輪杏葉紋散蒔絵文箱　江戸中期　１合
宇和島伊達文化保存会
72. 黒塗杏葉紋散松竹橘文蒔絵長髢箱　江戸中期　１合
宇和島伊達文化保存会
73. 黒塗杏葉紋散松竹梅文蒔絵竪目録箱　江戸中期　１合
宇和島伊達文化保存会
74. 黒塗杏葉紋散竹に牡丹蒔絵棗　江戸中期～後期　１合
宇和島伊達文化保存会
75. 黒塗杏葉紋散竹に牡丹蒔絵中次　江戸中期～後期　１合
宇和島伊達文化保存会
76. 黒塗杏葉紋散竹に牡丹蒔絵茶箪笥　江戸中期～後期　１組
宇和島伊達文化保存会
77. 黒塗御紋散梅に竹文蒔絵香道具　江戸中期　１組
宇和島伊達文化保存会
78. 梨子地雪薄紋折枝桜文蒔絵雛挟箱　江戸中期　１対
宇和島伊達文化保存会
79. 梨子地雪薄紋折枝桜文蒔絵雛乗物　江戸中期　１挺
宇和島伊達文化保存会
80. 黒塗雪薄紋竹に雀紋散折枝桜文蒔絵色紙箱　江戸中期
１合　宇和島伊達文化保存会
81. 黒塗雪薄紋竹に雀紋散折枝桜文蒔絵文机　江戸中期
１脚　宇和島伊達文化保存会

82. 花菱月丸扇紋散蒔絵三棚　佳姫所用（安政３年・1856婚礼）
江戸後期　１式　宇和島伊達文化保存会

82. 花菱月丸扇紋散蒔絵三棚

83. 八仙図　狩野章信筆　江戸　１幅　宇和島伊達文化保存会
84. 富士山図　狩野常信筆　江戸　１幅　宇和島伊達文化保存会
85. 寿老人・双鶴図　狩野探信筆　江戸　３幅対
宇和島伊達文化保存会

企画展

「せんだい再発見！
ーこんなことわかりました。平成の『仙台市史』」

会　　期　平成27年12月５日（土）～
平成28年２月28日（日）
前期：12月５日（土）～１月17日（日）
後期：１月19日（火）～２月28日（日）
開催日数　66日間
観覧者数　13,570人（１日平均206人）
観 覧 料　一般400円、高校・大学生200円、小・中学生100円
※30人以上の団体各２割引
主　　催　仙台市博物館
共　　催　仙台市史刊行委員会
後　　援　河北新報社、毎日新聞仙台支局、朝日新聞仙台総局、読売新聞東北総局、産経新聞社東北総局、日本経済新聞社仙台支局、仙台リビング新聞社、ＮＨＫ仙台放送局、ＴＢＣ東北放送、仙台放送、ミヤギテレビ、ＫＨＢ　東日本放送、エフエム仙台、ラジオ3FM76.2

市制百周年記念事業として着手された仙台市史編さん事業は、仙台市博物館が事業主体となり、平成２年度から平成26年度までに全32巻を刊行することができた。

本展は、仙台市史編さん事業において20年以上にわたり調査・収集してきた各種の資料のなかから代表的なものや特色あるものを展示することで、これまで主に紙面によって公表してきた『仙台市史』の成果を実物資料により紹介し、地下鉄東西線の開業で新たな時代を迎える仙台という地域のなりたちを「再発見」する機会とすべく開催した。

また、平成23年に発生した東日本大震災後には、当館では市史編さん事業で蓄積された数多くの情報を下敷きとしながら資料レスキュー活動を実施した。そこで、この活動によって保全された資料もあわせて紹介し、発生から５年目を迎え、未曾有の災害であったこの震災をあらためて考える機会ともした。

展示資料を通じて、一般に知られているようで知られていない仙台の歴史や文化を紹介することができ、好評をいただいた。

展示構成

1　見える！仙台の歴史～通史編で発見
2　掘り下げる！仙台の歴史～資料編で発見
3　広がる！仙台の歴史～特別編で発見
4　救え！地域のたから～資料レスキュー活動から
5　公文書から再発見！
6　次々発見！！伊達政宗文書

展示風景

印刷物

ポスター　　Ｂ２判　1,000枚　Ｂ３判　200枚
チラシ　　Ａ４判　60,000枚
仙台市史全巻チラシ　Ａ４判２つ折り　20,000部
関連小冊子　「いっきに見る　仙台市史」
Ａ４判　18頁　4,000部

Ａ４チラシ

関連展示

「市史編さん事業展　あれコレ？せんだい」
会場　博物館ギャラリー

市史編さん事業展

「仙台門松」の復元展示
会場　博物館エントランスホール
会期　12月１日（火）～２月28日（日）

関連行事

⑴　第24回市史セミナー「せんだい再発見！」
「仙台平野の『考古学的中世』」
田中則和氏（宮城県考古学会会長）
「近現代・仙台の歴史像：『仙台市史』の特色と課題」　安達宏昭氏（東北大学大学院教授）
「『仙台市史』が語る仙台の歴史像」
平川　新氏（宮城学院女子大学学長）
12月12日（土）　13：00～16：00
博物館ホール　参加171人

市史セミナー

⑵　講座「こんなことわかりました。仙台市史」
①近代編・現代編
「軍都仙台」　中武敏彦（当館職員）
「再発見！仙台の戦災復興」
佐藤信夫氏
（元仙台市文化事業団理事長）
１月16日（土）　13：00～15：30
博物館ホール　参加109人
②近世編
「お殿様と能」　菅原友子（当館職員）
「伊達政宗書状にみる食と贈答」
佐々木徹（当館職員）
１月30日（土）　13：00～15：30
博物館ホール　参加102人
③自然編・考古編
「仙台の地形―街の坂道から地形を読む―」
松本秀明氏（東北学院大学教授）
「近世の陶磁器
―仙台市内出土遺物にみる流通と生活」
佐藤　洋氏（仙台市文化財課）
２月13日（土）　13：00～15：30
博物館ホール　参加150人

講座

⑶　コーナートーク
①12月25日（金）
11：00～11：30　「近世の絵図、ほか」
講師：菅野正道　参加25人
13：00～13：30　「仙台の門松、ほか」
講師：倉橋真紀　参加19人
②１月13日（水）
11：00～11：30　「伊達政宗文書」
講師：明石治郎・村岡淳子　参加24人
13：00～13：30　「仙台城下の町方」
講師：水野沙織　参加31人
③１月22日（金）
11：00～11：30　「古代の文字資料」
講師：二上玲子　参加31人
13：00～13：30　「中世の留守氏」
講師：三好俊文　参加47人
④２月５日（金）
11：00～11：30　「近世の絵図、ほか」
講師：佐々木徹　参加40人
13：00～13：30　「近代の公文書」
講師：中武敏彦　参加23人
⑤２月19日（金）
11：00～11：30　「伊達政宗文書」
講師：明石治郎・村岡淳子　参加42人
13：00～13：30　「能　摺上」
講師：菅原友子　参加38人
※講師はいずれも元編さん室の当館職員

コーナートーク①

コーナートーク③

(4) ミュージアムセミナー
12月12日（土）
参加19人（教職員15人　ボランティア４人）

(5) 友の会広報セミナー
12月７日（月）　参加113人

(6) 各種団体・学校等への展示解説
７件　参加270人

(7) レストラン三の丸　企画展特別メニュー
「仙臺藩小正月御膳」

仙臺藩小正月御膳

展示資料目録

＊◎は重要文化財、■は宮城県指定文化財、□は仙台市指定文化財

１．見える！仙台の歴史～通史編で発見

１．川添東遺跡出土石器　後期旧石器時代後半
（２万年～１万5000年前）　２点　　仙台市教育委員会

２．富沢遺跡環境復元図　細野修一氏原画　平成11年（1999）
１点　　館蔵

３．□伊古田遺跡出土土偶　縄文時代後期（約3500年前）
４点　　仙台市教育委員会

４．六反田遺跡出土深鉢及び注口土器　縄文時代後期
（約4000年前）　３点　　仙台市教育委員会

５．沓形遺跡断面剝ぎ取り標本（弥生時代中期の津波痕跡）
１面　　仙台市教育委員会

６．□戸ノ内遺跡方形周溝墓出土土器　古墳時代前期
１点　　仙台市教育委員会

７．郡山遺跡出土木簡「学生寺」　７世紀末～８世紀中頃
１点　仙台市教育委員会

８．郡山遺跡Ⅰ期官衙出土土師器坏　７世紀半ば～末　１点
仙台市教育委員会

９．延喜式　巻二十八　兵部省　享保８年（1723）版　１冊
東北大学附属図書館

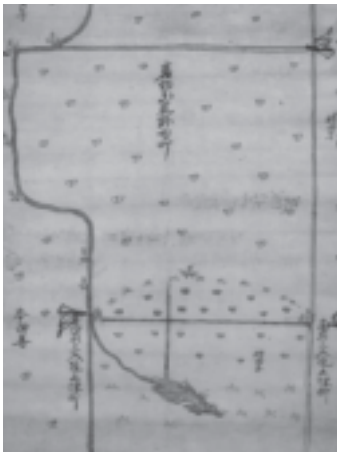
10. 和名類聚抄　元和３年（1617）序　１冊
東北大学附属図書館

11. 続日本紀　霊亀元年十月二十九日条
明暦３年（1657）版　１冊　　東北大学附属図書館

12. 日本三代実録　貞観十一年（869）五月二十六日条
寛文13年（1673）版　１冊　　館蔵

13. ◎留守家広譲状　文永２年（1265）３月２日
１通　　奥州市

14. ◎岩切分荒野七町絵図　文永12年（1275）４月13日
１通　　奥州市



14. 岩切分荒野七町絵図

15. ◎鎌倉将軍家政所下文　建治２年（1276）閏３月11日
１通　　奥州市

16. ◎留守家任申状　観応元年（1350）５月日　１通　　奥州市

17. ◎畠山国氏挙状　観応元年（1350）５月17日　１通　奥州市
18. ◎吉良貞家挙状　観応元年（1350）７月６日　１通　奥州市
19. 伊達政宗一揆契状　永和３年（1377）10月10日　１通
館蔵（伊文）
20. 奥州余目記録　永正11年（1514）　１巻　個人蔵
21. ◎留守分限帳　天文17年（1548）頃　３冊　奥州市
22. 寺家社家之日記写　１冊　館蔵（伊文）
23. 関東下知状　弘安10年（1287）２月13日　１通
東北大学大学院文学研究科日本史研究室
24. 大河戸隆行申状并陸奥国宣　建武元年（1334）８月日
１通　東北大学大学院文学研究科日本史研究室
25. 荒町毘沙門堂縁起　江戸時代中期　１通　館蔵（伊文）
26. 高野山観音院過去帳写　貞享３年（1686）11月25日
１巻　館蔵（伊文）

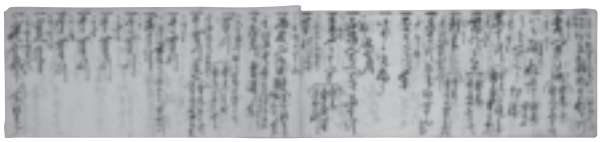
27. 留守政景書状　宛所欠　（天正15年・1587）５月11日
１通　館蔵
28. 高祖父輝宗曾祖父政宗祖父忠宗記録抜書
貞享２年（1685）提出　１冊　館蔵（伊文）

２．掘り下げる！仙台の歴史～資料編で発見

29. 伊達忠宗知行宛行黒印状及び知行目録
寛永21年（1644）８月14日　１通・１冊　個人蔵
30. 伊達宗倫・伊達宗規・伊達宗敏連署書状
（寛文４年・1664）正月６日　１通　個人蔵
31. 伊達綱村書状（謝罪状）（元禄６年・1693）３月26日
１幅　個人蔵
32. 仙台藩奉行衆連署一札　寛政９年（1797）11月　１通
東北歴史博物館
33. 貞享金札　貞享年間（1684～88）　１枚　個人蔵
34. 天明銀札　天明４年（1784）　１枚　個人蔵
35. 薬種定帳　寛文７年（1667）６月26日　１冊
東北大学附属図書館
36. 国分大倉村難渋御百姓共江松皮餅被下置通帳
天保７年（1836）　１冊　館蔵
37. 御救助方万人講　天保７年（1836）９月　１冊　館蔵
38. 佐藤助右衛門坐像　１軀　個人蔵

38. 佐藤助右衛門坐像

39. 仙台男立鑑　安政４年（1857）　１枚　東北歴史博物館
40. 木村太之輔達書　（安政５年・1858）正月20日　１通
東北歴史博物館
41. 公私日記七･八　安政６年（1859）、安政７年（万延元･1860）
２冊　個人蔵
42. 入生田康欣日記　慶応４年（1868）正月12日条　１冊
個人蔵
43. 仙台城中日記　明治元年（1868）９月９日　１冊
館蔵（伊文）
44. 実沢村天正検地帳　天正19年（1591）９月10日　２冊
館蔵（伊文）
45. 馬場村寛永検地帳　寛永19年（1642）　１冊
仙台市教育委員会
46. 大倉村寛永検地帳写　寛永18年（1641）４月12日　２冊
館蔵
47. 国分苦竹村御用留　嘉永７～安政２年／安政３～同５年
／万延２～文久３年／元治元～慶応３年(1854～1867)　４冊
東北歴史博物館
48. 名取郡柳生村大肝入申渡書及び一季書上
天保７年（1836）　１通　個人蔵
49. 働き方留覚帳　嘉永６年（1853）～安政元年（1854）
１冊　館蔵



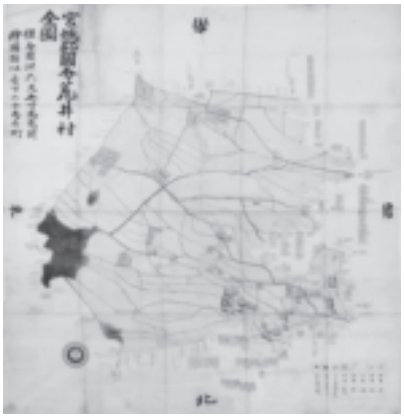
49. 働き方留覚帳

50. 湯本村湯横目衆請書写　慶安５年（1652）　１通　個人蔵
51. 摺上　謡本　文政年間～天保年間（1818～1844）
１冊　宮城県図書館
52. 伊達宗賀起請文　文化12年（1815）２月　１通
宮城県図書館
53. 茶室起絵図　江戸時代後期　１枚・１点　個人蔵

３．広がる！仙台の歴史～特別編で発見

54. 名取郡前田村絵図　享保９年（1724）２月13日　１鋪
個人蔵
55. 名取郡北方飯田村絵図　文政年間（1818～1830）　１鋪
館蔵（佐藤信夫氏寄贈）
56. 名取郡北方柳生村絵図　文政年間（1818～1830）　１幅
柳生寺
58. 宮城郡国分荒浜絵図　文政年間（1818～1830）　１鋪
宮城県公文書館
57. ■名取郡北方境野村絵図　文政６年（1823）８月29日
１鋪　宮城県図書館
59 ■野始絵図　江戸時代　１鋪　宮城県図書館
60. 名取郡北方藤塚浜塩田図　江戸時代後期　１鋪
東北歴史博物館

61. 宮城郡国分荒井村絵図　文政年間（1818～1830）　1鋪
宮城県公文書館



61. 宮城郡国分荒井村絵図

62. 名取郡北方新川村御林絵図　江戸時代後期　1鋪　個人蔵
63. 宮城郡高砂村全図　明治40年（1907）4月1日　1幅　館蔵
64. ■風土記御用書出　宮城郡其一・其二
安永3年（1774）　2冊　宮城県図書館
65. 仙台市内板碑拓本・実測図　現代　一括　館蔵
66. 大沢田植踊関係資料　昭和40年（1965）頃　5点
仙台市教育委員会
67. 伊達政宗上洛供衆注文　天正19年（1591）頃　1綴
館蔵（伊文）
68. 伊達政宗使番之衆注文
文禄2年(1593)～慶長5年(1600)頃　1綴　館蔵（伊文）
69. 伊達政宗遣欧使節記（イタリア語版）　アマーティ著
1615年刊　1冊　館蔵
70. 健康的飲み物に関する論文　フランチェスコ・スカッキ著
1622年刊　1冊　館蔵
71. 古館記　江戸時代中期　1冊　館蔵
72. 江戸幕府老中奉書　寛永15年（1638）7月16日　1通
館蔵（伊文）
73. 仙台青葉城中御崖作眺望図巻　文化・文政年間（1804～30）
1巻　館蔵
74. 仙台市内で発掘された近世陶磁器　江戸時代　27点
仙台市教育委員会
75. 根白石村御門松納申候者共諸役御免願写
寛文10年（1670）　6月5日　1巻　個人蔵
76. 御伝馬継立留帳　文化4年（1807）7月　1通　個人蔵
77. 高野村・野尻町相論裁許書写
明和3年（1766）8月4日　1冊　東北歴史博物館
78. 二口街道開削につき賞状　大竹左右助宛
明治7年（1874）　9月4日　1通　個人蔵
79. 虎図　東東洋筆　江戸時代後期　1幅　館蔵（亀田兵治C）
80. 観音・龍虎図　東東洋筆　天保10年（1839）　3幅対
館蔵（伊澤家C）
81. 孔雀図　小池曲江筆　寛政6年（1794）　1幅　館蔵
82. 蘭亭曲水図　小池曲江筆　文化4年（1807）　1幅
館蔵（亀田兵治C）
83. 渓亭午翠図　菅井梅関筆　天保元年（1830）　1幅
館蔵（伊澤家C）
84. 古城朝鮮梅図　菅井梅関筆　江戸時代後期　1幅
館蔵（伊澤家C）
85. 江戸藩邸芝口上屋敷庭園図　菊田伊洲筆
江戸時代後期　1幅　館蔵（伊文）
86. 虎図　菊田伊洲筆　江戸時代後期　1幅
館蔵（亀田兵治C）
87　仙台領奥州街道絵図　荒川如慶筆　江戸時代中期　1帖
館蔵
88. 優游一奇　寛政10年（1798）　1冊　館蔵
89. ■禽譜　林禽（中）　堀田正敦筆　寛政～文政年間
（1789～1830）　1帖　宮城県図書館

89. くろげら・やまげら図（禽譜）

90. ■魚蟲譜　第四巻　栗本瑞見筆
文政2年（1819）～天保2年（1831）　1巻　宮城県図書館

4．救え！地域のたから～資料レスキュー活動から

91. 荒浜御林調帳　天保3年（1832）11月　1点　浄土寺
92. 安達四兵衛書状　佐藤治三郎宛　文政年間（1818～1830）
1通　浄土寺
93. 晴天風雨気考帳　柴崎以政著
明治29年（1896）旧4月28日～5月10日条　1冊　個人蔵
94. 中野尋常高等小学校卒業記念写真帖
昭和8年（1933）3月　1冊　仙台市立中野小学校

94. 中野尋常高等小学校卒業記念写真帖

95. 中野尋常高等小学校沿革誌　第弐号　昭和22年(1947)　1冊
仙台市立中野小学校

96. 名取郡種次尋常小学校沿革史・東六郷小学校沿革誌
昭和初期　1点　仙台市立東六郷小学校
97. 荒浜小学校棟札・校名表札　昭和11年(1936)・昭和23年(1948)
2点　仙台市立荒浜小学校
98. 涅槃図　江戸時代後期　1幅　昌林寺
99. 大日如来堂祭礼旗　天保4年（1833）9月20日　1旒　館蔵

5．公文書から再発見！

100. 太政官達書写　明治3年（1869）5月　1通　館蔵（伊文）
101. 管内大小区画改正録　明治5年（1872）4月　1冊
宮城県公文書館
102. 第二大区小五区公印　明治9年（1876）　1顆　個人蔵
103. 宮城県名取郡生出村村是調査書　明治35年（1902）　1冊
館蔵
104. 長町・原町・南小泉合併関係書類　昭和3年（1928）　1冊
仙台市文書法制課
105. 荒巻・北根合併関係書類　昭和4年（1929）～6年（1931）
1冊　仙台市文書法制課
106. 秋保村公民館たより　昭和27年（1952）1月10日号　1枚
館蔵
107. 宮城町役場法規関係資料　昭和30年（1955）　3冊　館蔵
108. 泉村・泉町・泉市公印　昭和30年（1955）～63年（1988）
3顆　館蔵
109. 秘書雑書類（仙台市紋章制定その他）
昭和8年（1933）～19年（1944）　1冊　仙台市文書法制課
110. 昭和二十年度戦災関係資料　昭和20年（1945）　1冊
仙台市文書法制課
111. 宮城木道社創立規則　明治14年（1881）8月　1冊
宮城県公文書館
112. 鉄道停車場位置換請願書　明治19年（1886）5月1日　1冊
宮城県公文書館
113. 仙台・山形間鉄道に付き意見書　明治26年（1893）4月5日
1冊　仙台市議会事務局
114. 仙台市会会議録　大正8年（1919）2月1日　1冊
仙台市議会事務局
115. 馬車軌道敷設特許願　明治44年（1911）8月24日　1冊
宮城県公文書館
116. 動力再変更願　仙台軌道株式会社　大正9年（1920）
11月29日　1冊　宮城県公文書館
117. 宮城電気鉄道株式会社免許申請書　大正11年（1922）
3月9日　1冊　宮城県公文書館
118. 電車敷設に関する請願書　大正12年（1923）2月17日　1冊
館蔵
119. 市街電車事業経営に関する件　大正12年（1923）3月23日
1冊　館蔵
120. 仙台市電廃止記念乗車券　昭和51年（1976）3月15日　1冊
館蔵

120. 仙台市電廃止記念乗車券

6．次々発見！！伊達政宗文書

121. 伊達政宗書状　郡山太郎右衛門宛
（天正16年・1588）6月26日　1幅　館蔵
122. 伊達政宗起請文　石川大和守昭光宛
天正17年（1589）11月4日　1通　宮城県図書館
123. 伊達政宗書状　白川不説斎義親宛
（天正18年・1590）正月24日　1幅　館蔵（高橋克己氏寄贈）
124. 伊達政宗書状　浅野弾正少弼長政宛
（天正19年・1591）6月26日　1幅　館蔵
125. 伊達政宗書状　藤堂佐渡守高虎宛
（慶長2年・1597）3月27日　1幅　館蔵
126. 伊達政宗書状　柳生又右衛門宗矩宛
（慶長18年・1613）12月30日　1幅　館蔵（佐々木治郎氏寄贈）
127. 伊達政宗書状　桑山左近大夫貞晴宛
（元和3年・1617ヵ）12月23日　1幅　館蔵
128. 伊達政宗書状　酒井雅楽頭忠世宛
（寛永9年・1632）5月8日　1幅　館蔵（鈴木宗保氏寄贈）
129. 伊達政宗書状　本願寺宣如光従宛
（寛永9年・1632）8月17日　1幅　館蔵
130. 伊達政宗知行宛行朱印状　中目与次郎宛
天正17年（1589）9月12日　1幅　東北歴史博物館
131. 伊達政宗伝馬黒印状　文禄5年（1596）9月11日　1通
個人蔵
132. 伊達政宗伝馬黒印状　慶長15年（1610）正月15日　1通
館蔵（片倉家資料）
133. □伊達政宗所用印　桃山時代　1顆　館蔵（伊文）
134. 伊達政宗黒印状　石母田五郎助安頼宛
慶長9年（1604）8月23日　1通　館蔵（石母田家資料）
135. 伊達政宗黒印状　郡山与右衛門宛
元和7年（1621）8月17日　1通　館蔵
136. □伊達政宗所用印　桃山時代　1顆　館蔵（伊文）
137. 伊達政宗黒印状　秋保肝煎宛
元和9年（1623）正月17日　1通　個人蔵
138. 伊達政宗黒印書状　国分源三行信宛
（文禄3年・1594）11月28日　1通　館蔵（国分家資料）
139. 伊達政宗黒印状　伊達（亘理）安芸守定宗宛
（寛永11年・1634）8月8日　1幅　宮城県図書館
140. 伊達政宗書状　亘理元安斎元宗宛

（天正12年・1584）８月13日　１幅　館蔵

141. 伊達政宗書状　泉田安芸守重光宛

（天正15年・1587）10月９日　１幅　個人蔵

142. 伊達政宗書状　桑折治部大輔宛

（天正16年・1588）３月20日　１幅　館蔵

143. 伊達政宗書状　資福寺虎哉宗乙宛

（天正16年・1588）閏５月21日　１幅　館蔵

144. 伊達政宗書状　秋保弾正忠直盛宛

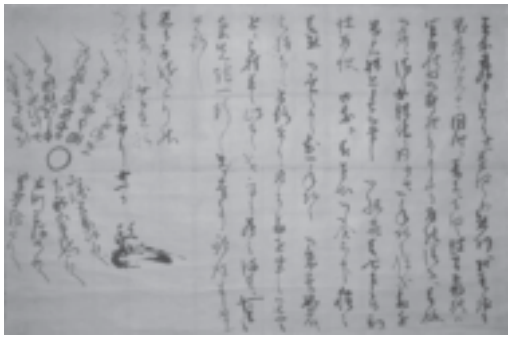
（天正17年・1589）２月２日　１幅　館蔵

145. 伊達政宗書状　保土原江南斎行藤宛

（天正18年・1590）７月４日　１幅　館蔵（熊耳重允氏寄贈）

146. 伊達政宗書状　山崎玄蕃頭等十名宛

（天正19年・1591）閏正月21日　１幅　個人蔵



146. 伊達政宗書状　山崎玄蕃頭等十名宛

147. 伊達政宗書状　伊達（国分）九郎盛重・伊達鉄斎宗清宛

（天正19年・1591）７月７日　１幅　館蔵

148. 伊達政宗書状　石川大和守昭光・石川中務義宗宛

（慶長５年・1600）９月30日　１幅　館蔵

149. 伊達政宗書状　茂庭石見守綱元宛

（慶長17年・1612ヵ）８月12日　１幅　館蔵（佐藤哲氏寄贈）

150. 伊達政宗書状　伊達安房守成実宛

（元和４年・1618）７月７日　１幅　館蔵

151. 伊達政宗書状　伊達（亘理）安芸守定宗宛

（寛永３年・1626）11月14日　１幅　宮城県図書館

152. 伊達政宗書状　柳生但馬守宗矩宛

（寛永10年・1633）３月23日　１幅　館蔵（加藤昌秀氏寄贈）

153. 伊達政宗書状　松平（伊達）越前守忠宗宛

（寛永年間）10月27日　１幅　館蔵（片倉家資料）

154. 伊達政宗黒印状　小田原天神別当宛

慶長６年（1601）９月７日　１通　館蔵（伊文）

155. 伊達政宗黒印状　菅野勝三郎重成宛

寛永８年（1631）６月５日　１通　館蔵（菅野家資料）

156. 政宗君記録引証記　江戸時代中期　２冊　個人蔵

2. 資料の収集保管

受贈資料

平成27年度は13の個人及び団体から268件3,335点（概数）の資料の寄贈を受けた。

※寄贈者（敬称略）／資料名／数量の順に記載

大浦幸子／中尊寺釈迦堂別当上西谷坊書状　嘉永３年８月付　ほか／２件２点

享保縁起集　上之二　大崎八幡宮／１件１点

齊藤規夫／坂英力書状　母宛　ほか／13件14点

財団法人斎藤報恩会／仙台市指定文化財　旧大橋の擬宝珠 ほか／６件3,000点（資料整理中のため概数）

荒川浩和／単衣　千葉あやの作／１件１点

藤﨑三郎助／犬追物図屏風　ほか／８件13点

匿名／私立青葉幼稚園保育証書　宮原俊夫宛　大正５年３月22日付　ほか／２件２点

加藤信明／伊達村候書状　真田伊豆守宛　ほか／７件７点

門脇康／万年報喜　松に鵲図屏風　佐久間鉄園筆　ほか／27件31点

佐藤タミ子／雨月物語／１件１点

大石昌／錦絵　北日本史　全／１件１点

佐藤恒明／写真（佐恒石材販売部による熊ヶ根石採場での作業風景）　ほか／128件191点

藤亜希／伊達騒動金華談　ほか／71件71点

下記の資料は、平成26年度に寄贈されたが、26年度の年報に記載していなかったため、本号に記載する。

齊藤喜久／刀　銘「河内守藤原国次」／１件１点

亀井重忠／黒漆北斗七星文五枚胴具足　ほか／11件12点

購入資料

本年度は２件２点の資料を購入した。

※資料名／数量の順に記載

村子姫霊夢図　狩野古信筆　林信篤賛／１幅

仙台名家墨跡　坤／１帖

寄託資料

平成27年度、当館では118人9,358件の寄託を受け付けた。

資料修理

平成27年度は31件の修理を行なった。

⑴　洗浄・再表具

犬追物図屏風など　屏風計９件

⑵　洗浄・表具修理

坂英力書状　齊藤規夫氏寄贈　１面

⑶　洗浄・表具修理・収納箱製作

坂英力画像　齊藤規夫氏寄贈　１幅

⑷　裏打ち

伊達政宗伝馬黒印状　個人蔵　１通

⑸　裏打ち・表具修理

根白石村御門松納申候者共御役御免願写　個人蔵　１通

⑹　浮世絵台紙貼り

歌川国芳画など　１枚物18点

資料保存

市民の貴重な財産である文化財を保存し、次の世代に継承するため当館では収蔵庫及び展示室においては適切な温度と湿度を保ち、紫外線をカットした蛍光灯およびＬＥＤを使用している。

また虫菌害対策としては、以下のように⑴加害生物及び浮遊菌調査や⑵くん蒸による殺虫・殺菌処理を行った。

⑴　加害生物及び浮遊菌調査

目的：歩行性昆虫の種類と侵入経路の特定
　　塵埃・浮遊菌の数量把握

実施日：①平成27年８月27日～９月17日
　　②平成27年10月16日～30日
　　③平成27年12月10日～24日
　　④平成28年２月10日～24日

調査方法：粘着トラップで歩行性昆虫を捕獲。
　　菌類はエアーサンプラーによる採集と培養による系統同定。

調査場所：展示室・収蔵庫など館内226箇所に粘着トラップを設置。同じく22箇所においてエアーを採取。

効果：調査結果をうけ加害生物の侵入を防ぐための対策を講じた。昆虫の侵入が認められた

箇所を含む整理整頓と清掃を行い、さらに侵入経路の遮断を行った。また上記期間以外にも数箇所に粘着トラップを設置し、継続的に侵入状況を観察した。

⑵　くん蒸庫におけるくん蒸

目的：新規収蔵資料や一時預り資料、借用資料等のうち虫菌害を及ぼす恐れのある資料の殺虫・殺菌。

実施日：①平成27年７月10日～27日
②平成27年10月１日～７日
③平成27年10月23日～29日
④平成27年11月20日～27日
⑤平成27年12月11日～19日
⑥平成28年２月10日～17日

方法：すべてエキヒュームＳ（酸化エチレン製剤）ガス投薬による密閉くん蒸。

効果：供試虫・供試菌はいずれも殺滅され、殺虫・殺菌効果は100パーセントと判定された。

その他：各回とも環境への影響に配慮し、使用ガスの屋外排気にあたっては活性炭に有害物質を吸着させて排気を行った。

資料の貸出

本年度は14館等に93件97点の資料貸出を行った。

※貸出先／目的／資料名／期間の順に記載

米沢市上杉博物館／特別展「国持大名上杉家」展／竹に雀紋七宝繋蒔絵台子等２件２点／平成27年４月９日～７月１日

表千家同門会宮城県支部／表千家同門会　東日本大震災復興　祈念宮城大会／茶壺銘「水月」／１件１点／平成27年４月15日～４月17日

サントリー美術館／「着想のマエストロ　乾山見参！」／尾形乾山「銹絵山水図四方鉢」等６件10点／平成27年５月13日～７月24日

山形県立博物館／プライム企画展「『縄文の女神』と『遮光器土偶』―縄文の美と宝」／宮城県蔵王町鍛冶沢遺跡出土土偶１件１点／平成27年５月15日～９月９日

吉野作造記念館／企画展「戦後70周年記念　日本国憲法の誕生と吉野作造」／講習余誌第一号等16件16点／平成27年５月28日～８月５日

東北歴史博物館・秋田県立博物館／徳川家康没後400年記念特別展「徳川将軍家と東北―泰平の世の歴史と名宝―」／脇差　銘「東照宮御宝前云々」等20件20点／平成27年６月19日～11月10日

埼玉県立歴史と民俗の博物館／特別展「戦国図鑑－Cool Basara Style」／三宝荒神形兜１件１点／平成27年６月27日～９月10日

文化庁／「日本のわざと美」展―重要無形文化財とそれを支える人々―」／正藍染単衣等２件２点／平成27年９月２日～12月11日

宇和島市立伊達博物館／宇和島伊達400年祭及び姉妹都市40周年記念秋期特別展「仙台と宇和島―政宗からの遺風と両家の爛熟期―」／紫羅背板地五色水玉模様陣羽織等17件17点／平成27年９月４日～12月７日

一関市博物館／企画展「葛西氏の興亡」／薄衣申状等20件20点／平成27年９月５日～11月５日

藤枝市郷土博物館／特別展「徳川家康と駿河～大御所家康が愛した田中城とゆかりの人びと」／伊達政宗書状茂庭石見守綱元宛１件１点／平成27年10月29日～12月19日

わくや万葉の里歴史館／企画展「巨星　月将館に輝く　斎藤竹堂展～生誕200年記念～」／銅板世界図１件１点／平成27年11月16日～平成28年１月27日

仙台市縄文の森広場（仙台市富沢遺跡保存館）／ミニ企画展「縄文人のくらし―祭りの様々な道具―」／門野山囲遺跡出土石刀等４件４点／平成28年１月15日～３月27日

日本水石協会／第３回「日本の水石展」／盆石　銘「鎌倉」１件１点／平成28年２月５日～２月16日

写真資料の貸出・利用

当館では写真資料の貸出と利用に応じている。利用の申込は218件876点であった。

「重要文化財　黒漆五枚胴具足　伊達政宗所用」はのべ36回、「ユネスコ記憶遺産・国宝　支倉常長像」はのべ43回の利用があった。

重要文化財　黒漆五枚胴具足
伊達政宗所用

ユネスコ記憶遺産・国宝
支倉常長像

表２　当館収蔵指定文化財一覧

国指定文化財（国宝）

平成28年３月31日現在

項　目	資　　料　　名	員　数	指定年月日
歴史資料	慶長遣欧使節関係資料	47点	平成13年６月22日

※慶長遣欧使節関係資料のうちローマ市公民権証書・支倉常長像・ローマ教皇パウロ五世像の３点はユネスコ記憶遺産（平成25年６月19日登録）

国指定文化財（重要文化財）

項　目	資　　料　　名	員　数	指定年月日
工芸品	小紋染胴服	１領	昭和53年６月15日
工芸品	黒漆五枚胴具足　兜・小具足付（伊達政宗所用） 附　黒羅紗地裾緋羅紗山形文陣羽織　１領 旗　１旒	１領	昭和54年６月６日
工芸品	銀伊予札白糸威胴丸具足　兜・小具足付 附　兜巾　１頭 頭巾　１頭 団扇　３握 軍扇　２握	１領	昭和54年６月６日
工芸品	帯（三沢初子所用） 附　総鹿子裂　２枚 入日記（正徳２年４月）　１通	12条	平成３年６月21日
書跡	塵芥集	１冊	平成15年５月29日

宮城県指定文化財

項　目	資　　料　　名	員　数	指定年月日
絵画	仙台城本丸大広間障壁画扇面図	６曲１双 ２曲１双	平成５年12月24日
考古資料	土偶／鍛冶沢遺跡出土	１箇	平成24年５月１日
歴史資料	国絵図　正保年間奥州仙台領絵図（写）	１軸	平成20年５月２日

仙台市指定文化財

項　目	資　　料　　名	員　数	指定年月日
絵画	紙本著色伊達政宗画像(狩野探幽筆・伊達政宗筆和歌短冊貼込)	１幅	昭和44年７月31日
絵画	菊絵和歌屏風	２隻	昭和51年７月１日
絵画	躑躅ケ岡花見図屏風	６曲半双	昭和51年７月１日
絵画	菅井梅関　水亭午翠図	１幅	昭和51年７月１日
絵画	仙台城旧本丸及二ノ丸御殿障壁画 紙本著色葵図（２曲屏風） 紙本金地著色花木図 紙本金地著色松に山鳥図（東東洋筆）	 １双 ６面 ４面	昭和60年９月４日
絵画	仙台藩歴代藩主及夫人肖像画	31幅２面	昭和60年９月４日
絵画	絹本著色霊昭女、牡丹、芙蓉図(伊達綱宗筆)	３幅	昭和60年９月４日
絵画	紙本著色河図之図（東東洋筆）	１幅	昭和60年９月４日
絵画	銅板油彩悲しみのマリア像	１面	昭和60年９月４日
絵画	瀟湘八景図(雪村周継筆)	６幅	平成７年３月23日
工芸品	仙台藩歴代藩主所用具足	11領	昭和60年９月４日
工芸品	服飾類（伊達政宗所用） 白綾地竜胆立涌浮模様狩衣 白絹地小袖 藍平絹地直垂 紫羅背板地五色水玉模様陣羽織 表袴 大口袴 錦織唐草文竹に雀紋入野袴 白綾地鶴印金帯	 １具 １領 １領 １領 １腰 １腰 １腰 １条	昭和60年９月４日
工芸品	孔雀羽根織込陣羽織（伊達重村所用）	１領	昭和60年９月４日
工芸品	茶杓　仙台藩歴代藩主作 伊達政宗作　２筒 伊達忠宗作　２筒 伊達綱宗作　６筒 伊達綱村作　７筒 伊達吉村作　36筒 仙台藩主作　７筒　（以上茶杓箪笥入） 伊達忠宗作　１筒	61筒	昭和60年９月４日

項　目	資　　料　　名	員　数	指定年月日
工芸品	仙台城旧本丸御殿金具 魚々子地菊桐紋釘隠 魚々子地唐草文釘隠	1個1個	昭和60年9月4日
工芸品	花鳥山水文孔雀羽雪薄紋散蒔絵十三弦琴 「元禄貳己巳年石村近江守忠貞二月吉日」の銘がある 附　黒漆松竹梅鶴亀蒔絵琴箱　1合	1面	昭和60年9月4日
工芸品	黒漆五枚胴具足（伊達政宗所用・菅野正左衛門重成拝領）	1領	平成20年3月24日
工芸品	朱皺漆六枚胴具足　三宝荒神形兜付（伝上杉謙信所用）	1領	平成20年3月24日
工芸品	脇差 附　金梨地葵紋拵	1口	平成20年3月24日
工芸品	葵紋菊蒔絵耳盥	1具	平成24年12月21日
工芸品	竹菱梅葵紋蒔絵女乗物	1挺	平成26年7月31日
古文書	晴宗公采地下賜録	2冊	昭和51年7月1日
古文書	印章（仙台藩歴代藩主所用）	227顆	昭和60年9月4日
古文書	伊達治家記録(仙台市博物館本)	696冊	昭和60年9月4日
古文書	伊達世臣家譜及続編(仙台市博物館本)	268冊	昭和60年9月4日
古文書	伊達出自正統世次考（仙台市博物館本） 伊達出自正統世次考首巻 伊達出自世次考 伊達正統世次考 伊達出自正統世次考系図 附　御代々考考證　遊佐好生筆　10冊	 1冊 9巻9冊 10巻14冊 1冊	昭和60年9月4日
古文書	林子平自筆写本絵図類 附　六無斎遺詠　1冊	8枚	昭和60年9月4日
古文書	支倉家文書	一括	昭和60年9月4日
考古資料	伊達政宗墓所出土品 糸巻太刀刀身　1口 糸巻太刀拵　1腰 黒漆葛蒔絵文箱　1合 青龍付文鎮（文箱内容品）　1点 墨（文箱内容品）　1挺 黒漆白梅蒔絵箱　1合 梨地菊蒔絵箱　1合 黒漆鉄線蒔絵香合　1合 梨地梅笹蒔絵硯箱　1合 筆入（硯箱内容品）　1点 墨（硯箱内容品）　1挺 硯（硯箱内容品）　1面 水滴（硯箱内容品）　1点 梨地煙管箱　1合 煙管羅宇（煙管箱内容品）　2点 梨地菊蒔絵印籠　1具 皮袋　1点 慶長1分金（皮袋内容品）　3枚 携帯用磁石（皮袋内容品）　1点 金製ブローチ（皮袋内容品）　1点 練玉（皮袋緒締）　1点 銀製服飾品　1点 円鏡　1点 毛抜　2点 雲母製菜板　5枚 葵紋金製菜板　1枚 金具　一括 残欠類　一括	一括	昭和60年9月4日
歴史資料	仙台城及び江戸上屋敷主要建物姿絵図	1巻	平成11年2月1日
歴史資料	玉蟲左太夫「航米日録」及び関係資料	48件	平成11年3月23日
歴史資料	奥州仙台城絵図（推定正保2～3年）	1鋪	平成12年4月28日
歴史資料	仙台城下五釐卦絵図（推定元禄4～5年）	4鋪	平成12年4月28日
歴史資料	仙台城下絵図（推定天明6～寛政元年）	1鋪	平成12年4月28日
歴史資料	仙台城下絵図（文久2年）	1幅	平成12年4月28日
歴史資料	明治元年現状仙台城市之図	1面	平成12年4月28日
歴史資料	伊達政宗和歌詠草「入そめて」 附　春慶塗印籠蓋造箱　1合	1幅	平成13年3月22日
歴史資料	旧大橋の擬宝珠	1口	平成13年3月22日

表３　収蔵資料一覧　　平成28年３月31日現在

伊達家寄贈文化財	古文書、絵画、工芸等	22,054
慶長遣欧使節関係資料	支倉常長像、ローマ教皇パウロ五世像等	52
瑞鳳殿発掘資料	糸巻太刀、黒漆地葛蒔絵文箱等	21
青木家資料	具足、旗、刀剣、古文書等	13
安久津成清関係資料	教育、ギリシャ正教・自由民権運動関係文書	446
浅尾哲次関係資料	古文書、書簡、写真、法服	30
足立孔コレクション	古堤人形、古三春人形、古相良人形、古花巻人形等	3,367
阿部次郎コレクション	絵画、浮世絵、古書籍、古文書	3,286
伊澤家コレクション	絵画、古書籍、具足、刀剣、工芸等	1,077
石橋幸作コレクション	飴売り風俗人形、駄菓子模型	501
石原謙太郎コレクション	絵画、書跡、屏風	84
石母田家資料	古文書等	83
板橋次郎関係資料	近代資料等	724
和泉幸一郎コレクション	浮世絵、陶磁器等	708
大久保良雄コレクション	書跡	1,136
岡家資料	古文書等	11,000◇
小野家資料	古文書、古記録、古写真等	791
小野台蔵コレクション	土人形、郷土玩具等	1,826
片倉家資料	小紋染胴服、陣羽織、書状等	487
金子家資料	古文書、古記録	46
亀田孜コレクション	拓本、写真等	537◇
亀田兵治コレクション	絵画、開成丸関係資料	103
菅野家資料	具足、工芸、服飾、古文書等	247
菊田定郷コレクション	書籍、絵画等	340◇
甲田コレクション	仙台平袴、裂地、絵画、陶磁器、刀剣等	522
古賀孝コレクション	切込焼、東北の陶磁器	178
国分家資料	古文書等	60
小関家・新井奥邃関係資料	古文書、書跡、古写真	91
ゴトウコレクション	絵画、工芸、書跡	255
小松家資料	仙台平等裂地	10
斎藤報恩会寄贈資料	絵図、古文書、古記録等	3,000◇
佐藤明コレクション	絵画、書跡、土人形	122
佐藤家資料	古文書、古記録、自由民権運動関係資料	301
佐藤宗鶴コレクション	茶道具等	520
佐藤半兵衛コレクション	古銭、中国絵画	3,291
尚文館コレクション	古書籍、古記録等	3,052
鈴木家資料	具足、古文書等	134
大宮司雅之輔コレクション	浮世絵	3,079◇
武田家資料	古文書、古記録、服飾、工芸	192
武市家資料	古文書、古記録、具足	293
千田家資料	古文書等	405
角懸家資料	古文書、絵画、具足、刀剣等	407
中村徳重郎コレクション	林子平関係資料、古文書、古記録	432
新井田コレクション	陶器、絵画等	250
新津宗助コレクション	絵画、書跡、刀剣	114
濱田家資料	古文書、古記録、濱田景隆遺品	157
林家・大槻家関係資料	古文書、絵画、肖像写真	94
林信夫コレクション	浮世絵、近世絵画	196
藤塚家資料	藤塚知明、林子平関係資料等	343◇
朴沢家資料	古文書、古記録、絵画	539
本出保治郎コレクション	古堤人形、古三春人形、古花巻人形、古相良人形等	3,416
松川家資料	古文書、古記録、絵画等	245◇
三原良吉コレクション	古文書、古書籍、古写真、絵画、玩具等	4,856
横山文夫コレクション	東北の陶磁器	25
仙岳院関係資料	古文書、輿、絵画等	（一括）
書跡	書跡、文芸等	373
工芸・彫刻	埋木細工、服飾、刀剣、具足、陶磁器、古土人形、独楽等	2,641
絵画	絵画	984
考古資料	土器、石器等	414
歴史資料	古文書、古書籍、古記録、絵図、地図、貨幣、地券状、写真、近代資料等	16,295

総計　96,245点

（新規収蔵資料3,350点。整理完了分含む。ただし仙岳院関係資料を除く）

点数は資料整理状況により、前年と著しく異なっている場合がある。

◇整理中の資料群のうち整理が完了した点数、または概数を記載。

3. 教育・普及

講座・イベント

1．リピーター勧誘イベント
「よろいのシールをあつめよう！」

シール・台紙配布　　4月1日～　継続中
配布場所　　情報資料センター

表4　よろいシール参加状況

年度	新規参加者	特典進呈
H27	445人	20人

歴代仙台藩主のよろいシールを作成し、希望があれば常設展観覧者1名に付き、シール1枚を配布するキャンペーンを継続。

シールを全種類集めた参加者には特典（政宗のよろいクリアファイル）を進呈した。

変身タイムなどの博物館主催イベント参加者に対し、シールを2枚渡すなどのキャンペーンを実施した。

2．博物館七夕飾り

平成27年7月7日（火）～8月16日（日）
エントランスホール

柳生地区（仙台市太白区）に伝承されてきた柳生和紙を使用し、七夕の竹飾りを飾った。吹き流しを中心に、仙台七夕の七つ道具（吹き流し・短冊・紙衣・千羽鶴・巾着・投網・屑籠）を作り、展示した。短冊は、プレイミュージアムにて事前に来館者に願いを書いていただいたものを使用した。

3．仙台っ子歴史探検隊
仙台っ子歴史探検隊「伊達政宗を探検しよう！」

平成27年8月22日（土）　13：30～15：00
講習室・常設展示室　　参加　5人

小学生4年生から6年生を対象に、博物館資料を見学したり、体験活動をしたりしながら、仙台の歴史や文化について学ぶイベントであり、平成27年度は「展示室のクイズラリー」と「政宗のよろい調べ」を行った。

平成26年度から博物館実習の期間中に実施し、教育普及の実践的な研修として、館職員の指導のもと、実習生が「クイズラリー」の運営に関わっている。

子どもたちを2つのグループに分け、博物館実習生をリーダーとしてそれぞれに配置した。「クイズラリー」では、メンバーと話し合ったり、実習生に相談にしたりしながら、問題を解決していく姿が見られた。また、「よろい調べ」では実際によろいを身に付けてみたり、気が付いたことをグループごとに発表したりするなど、楽しく活動する中でそれぞれの学びを深めていた。

クイズラリーの様子

よろい調べ

4．親子体験イベント

⑴　夏休み工作教室

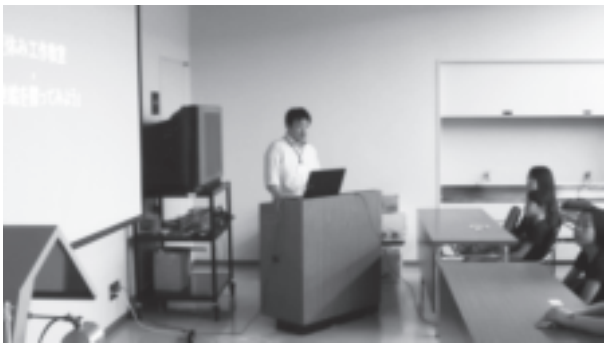
「浮世絵を摺ってみよう！」

平成27年７月25日（土）

午前の部 10:00～12:00 午後の部 14:00～16:00

講習室　参加　80人（子供40人、大人40人）

小中学生を対象とした夏休みの工作教室を行った。応募者が定員を大幅に超えたため、午前、午後の２回開催とした。内容は、この時期に開催された特別展「ご覧あれ　浮世絵の華」にあわせ、多色刷りの版画の制作とした。始めに学芸員による浮世絵についての講話があり、その後、予め用意したいくつかの板木を用いて、黄、青、黒の３色を順番に摺る作業に取り組んだ。どのように摺りあがるかという期待感があり、夢中になって制作している様子が見られた。また、当日のイベントのスタッフとして、キャンパスメンバーズ所属校の大学生４人（宮城学院女子大学３人、東北福祉大学１人）が、博物館サポーターとして参加している。



学芸員から浮世絵について学ぶ

多色摺版画に挑戦

5．しろ・まち講座23～26

仙台城と城下町仙台についての理解を一層深めたり、展覧会のみどころについて紹介したりするために講座を実施した。いずれも13：30～15：00、ホールで開催した。

表５　平成27年度　しろ・まち講座

N0.	月日	講師　・　演題	参加者
23	５／16（土）	酒井昌一郎（当館学芸員）「国宝　吉祥天女が舞い降りた！－奈良　薬師寺　未来への祈り－特別展の見どころ」	163人
24	８／１（土）	鈴木かおる（当館学芸員）「中国の瀟湘八景から浮世絵の八景へ」	121人
25	11／７（土）	髙橋あけみ（当館主幹）水野　沙織（当館学芸員）「特別展『宇和島伊達家の名宝　政宗長男・秀宗からはじまる西国の伊達』の見どころ紹介～宇和島藩の歴史を通して」と「美術工芸品の見どころ」	112人
26	３／19（土）	明石治郎（当館職員）「伊達政宗の呼び名について」	123人

しろ・まち講座24

しろ・まち講座26

6．生涯学習推進（館内講師・館外講師派遣）

団体・機関などからの依頼を受けて、学芸員等の館職員が講話を行った。依頼により、館内で行う場合と館外で行う場合とがあった。

表６は、当館で受理された「講師派遣申込書（館内･館外）」を基に作成した講師派遣状況である。なお、ここでは、一般を対象とした講師派遣状況につ

いてのみ記載し、小・中・高等学校・大学・特別支援学校を対象とした講師派遣状況（館内・館外）については、「学校教育との連携」の頁に記載している。

表６　平成27年度館内外講師派遣状況（一般対象）

講師派遣（館内・館外）	件数	対象人数
館内講師 ○企画展、特別展の解説等	44件	1,365人
館外講師 ※市政出前講座も含む	35件	2,915人
合計	79件	4,280人

７．その他のイベント

・ＰＴＡフェステバル

日時：平成27年11月８日（日）９：50～15：00

会場：市役所前市民広場

参加者：37人（材料持ち帰りのみ18人）

生涯学習課より依頼を受け、「仙台市ＰＴＡフェスティバル」に参加し、「もんきり型で伊達家の家紋をつくろう」という体験ブースを設けた。雨の中ではあったが、博物館ブースを訪れた来場者は、子どもから大人まで折り紙での家紋の製作を楽しんでいた。また、来場者に対しては、開催中の特別展「宇和島伊達家の名宝」の広報を行った。当日はイベントの協力者として、学生サポーター５人（東北福祉大学１人、宮城学院女子大学４人）が体験活動を補助した。

もんきり遊び体験を楽しむ

プレイミュージアム

プレイミュージアムは、「博物館を存分に楽しんでもらいたい」という意図のもとに命名された展示室である。当室には歴史や文化を体験できる様々な資料が展示されており、利用者はそれを手に取って自由に遊ぶことができる。「遊びの素材」の中から取捨選択し、面白さを発見するのは幅広い年齢層の利用者である。この部屋のミュージアム・アシスタント（１人）と解説ボランティアがその手伝いをしている。

プレイミュージアムで提供している遊びには、常時利用できる物（常設展示）と、時期を限って利用できる特定のテーマをもった物（イベント）の２種類がある。

１．常設展示

当室では、通常、利用者の行動を「観る・動かす音を出す・うつしとる・変身する・はかる・織る・編む・考える・学ぶ」の10に分類している。

表７　平成27年度　主な常設展示資料

観る	輪島塗蒔絵工程見本／板木の見本／錦絵（東海道五十三次）／絵巻物の複製ミニ版（鳥獣人物戯画ほか）／和綴じの昔の絵本（まるづくしほか）／縄文土器（複製）／土人形（つつみ・相良ほか）／木地玩具（江戸独楽・木下駒・八幡馬・三春駒ほか）／張子（仙台・三春ほか）／凧／紙芝居			
動かす	手毬／お手玉／紙風船／けん玉／羽子板／郷土玩具（江戸独楽・ぺたくた・藍づきお蔵・餅つき兎・牛若と弁慶・浜北風車・お化けの金太・鳩車・米つき鼠・かっぱのすいか喰らい・ずぼんぼほか）／茶運び人形／日立風流物操り人形			
音を出す	箏／法螺貝／銅鐸／神楽鈴／五鈷鈴／拍子木／びんざさら／擬音（雨うちわ・各種鳥笛ほか）／郷土玩具（犬山でんでん太鼓・庄内板獅子・巴波の鯰・土佐の鳴子・土鈴類ほか）／手作り楽器			
写し取る	平面	収蔵品の透過写真や復刻版の浮世絵（トレーシングペーパーを使用）		
	立体	複複製の縄文土器（型取器を使用）		
はかる	長さ	物差し（曲尺･鯨尺ほか）／ウォーキングメジャー		
	量	枡（一升・五合・一合）／軽量カップ		
	重さ	ヘルスメーター／台秤		
織る	平織機（カランコ） 織りの組織見本		編む	百足編み 花結び
変身する	複製や復元品	政宗具足／政宗かぶと／秀吉具足／山形文様陣羽織／常長の衣装／桃山時代様式の打掛・小袖		
	その他	十二単着せ替え人形／草鞋（わらじ）／お面（仙台張子）／手拭		
考える	からくりの復元	二挺天府式和時計		
	アイ・トリック	ゆがみ絵／トロンプルイユ（だまし絵）／ゾートロープ／反射式覗き眼鏡／世界七不思議アナモルフォーシス／鞘絵／立体眼鏡／万華鏡類		
	ゲーム	投扇興／盤双六／貝合せ／投壺／絵双六／将棋／碁／カルタ		
	パズル	組木パズル／大型パズル／伊達政宗ジグソーパズル／戦国時代パズル／草木染さいころパズル／清少納言の智恵の板／マグネット式政宗具足シート／触覚パズル／ピクチュアパズル日本地図		
学ぶ	来館者用情報提供システム／各種図書			

以上は、購入、委託製作、当室製作からなる。

⑴　入場者数

平成27年度　27,927人

⑵　配布物

配　布　物（枚）	H27
①よろいのワークシート	1,146人
②トレーシングペーパー	196人
③折紙	36人
④テキスト	26人

※②展示物の透過写真等を写しとるため

※④イベントで配布したものを除いたもの

⑶　破損、修理状況

状　　況（点）	H27
破損や汚れのための撤去	72
紛失	21
修理による復帰	52
修理不可能での廃棄	2
同種で交換や追加したもの	26
新規展示	0

資料を大切に扱っていただくことの啓発を兼ねて、簡単な修理はできるだけ利用者の前で行った。

⑷　デジタルデータの活用

システム名	H27
来館者用情報提供システム	5,242

来館者用情報提供システムとは、Ｑ＆Ａ形式で歴史や文化に関わる様々なトピックを紹介しているシステムである。より多くの来館者に利用してもらう目的で、同システムは情報資料センターにも設置さ

れている。

2．イベント

よろいや小袖などを着て変身するイベント。以下の内容で例年、年３回実施している。

⑴　館内での変身タイム

第１回「政宗・秀吉のよろいを着てみよう！」

●伊達政宗所用黒漆五枚胴具足（重文）の複製

●豊臣秀吉所用銀伊予札白糸威胴丸具足(重文)の複製

平成27年６月６日（土）13：30～15：00

第２回「政宗のよろいと陣羽織を着てみよう！」

●伊達政宗所用黒漆五枚胴具足（重文）の複製

●伊達政宗所用山形文様陣羽織（重文）の複製（一部復元）

平成27年９月19日（土）13：30～15：00

第３回「桃山時代のお姫様や支倉常長に変身！」

●打掛・小袖

●支倉常長の衣装（復元）

平成28年２月27日（土）13：30～15：00

⑵　ミニ変身タイム

「政宗・秀吉のよろいを着てみよう！」

●伊達政宗所用黒漆五枚胴具足（重文）の複製

●豊臣秀吉所用銀伊予札白糸威胴丸具足(重文)の複製

平成27年11月11日（土）13：30～15：00

「変身タイム」は参加者の満足度が高いイベントである。着用する衣装については、政宗のよろいが一番人気である。応募者の世代は小学生から成人と幅広い。これまで、年３回の「変身タイム」の他に、実習生による事前広報なしの簡易な「変身タイム」を実施していた。定期的な開催を望む声もあり、今年度、特別展期間中に学生サポーターを活用して「変身タイム」を実施した。

アンケート結果から、参加者は１人を除き、全て当日来館してイベントを知った方々であった。定員10人を上回る14人の申込みがあった。政宗の具足の実物が常設展で展示されていたこともあり、参加者の関心が高まったものと思われる。

今後も実施時期や形態などについて検討を加えながら、来館者が気軽に参加できるイベント、館を身近に感じられるようなイベントを企画していきたい。

表８　参加者（人）（子供は中学生以下）

	回	募集	応募	参加内訳			
				大人	子供	合計	聴講者
H27	1	12	11	3	8	11	25
	2	8	6	3	3	6	24
	3	18	6	5	0	5	20
	4					13	
	計	38	23	11	11	35	69

3．特別イベント

イベントを企画する際の原則は以下の通りである。

⑴　入室には常設観覧料を必要とするため、イベント参加を目的に訪れる利用者に配慮し、材料費無料とし、用具などの必要なものはすべて用意する。

⑵　表示やテキストを見ながら、できるだけ自分でできる内容とする。

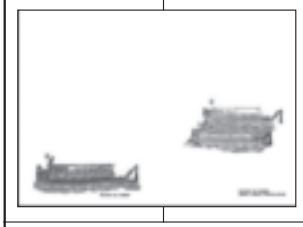
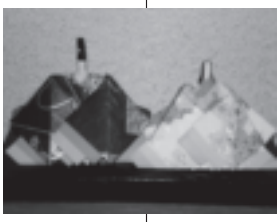
⑶　内容は以下に分類されるものを取り上げる。

●常設展示資料に焦点をあてたもの

○年中行事や季節にあわせたもの

◎特別展や企画展にちなんだもの

表９　平成27年度特別イベント一覧

期　間	参加者	内　　容
◎紋切り型で伊達家の家紋をつくろう！		
3/28(土) ～4/12(日) 21日間 	大人　186人 子ども　131人 計　317人	・国連防災会議の際に行った特別展示「DAIMYO展」に関連したイベント。紋切り型を楽しみながら、伊達家の家紋をつくってもらった。
◎あなたがデザイナー　着せ替え天女ぬり絵コレクション		
4/24（金） ～6/21（日） 52日間 	大人　1,061人 子ども　805人 計　1,866人	・特別展「国宝　吉祥天女が舞い降りた！－奈良　薬師寺　未来への祈り」と関連したイベント。天女のキャラクターのぬり絵を楽しんでもらった。
○短冊に願いを…		
7/7（火） ～8/16(日) 36日間 	575枚	・和紙で短冊を作りながら、七夕を迎える楽しさを味わうイベント。柳生和紙の短冊に願い事を書き、笹竹（造花）に結んでもらった。
◎あなたも摺り師		
7/17（金） ～9/6（日） 45日間 	大人　690人 子ども　652人 計　1,342人	・特別展「ご覧あれ　浮世絵の華－歌麿・北斎・広重　平木コレクションの名品」に関連したイベント。浮世絵の摺りの工程を楽しんでもらった。
◎和綴じに挑戦		
10/9（金） ～11/23 （祝・月） 40日間 	大人　426人 子ども　186人 計　612人	・特別展「宇和島伊達家の名宝　政宗長男秀宗から始まる西国の伊達」に関連したイベント。宇和島伊達市博物館所蔵の名品を表紙、裏表紙とした和紙を使って、和綴じを楽しんでもらった。
◎とべとべ！するめてんばた		
12/5（土） ～2/28（日） 66日間 	大人　103人 子ども　219人 計　322人	・企画展「せんだい再発見！こんなこと分かりました平成の仙台市史」に関連したイベント。仙台地方に伝わる「するめてんばた」というたこを作ってもらった。
○桃の節句－折り雛を飾ろう－		
2/2（火） ～3/6（日） 29日間 	大人　67人 子ども　26人 計　93人	・和紙で折り雛を作りながら、桃の節句を迎える楽しさを味わうイベント。お雛とめ雛をセットで作ってもらった。

情報資料センター

博物館には、資料の収集および調査・研究に伴って膨大な情報が蓄積される。その提供手段は主に展示活動であるが、それを補足するため図書など二次資料のかたちで提供する場が必要となってくる。また、歴史的分野における市民の自主的な学習を通した生涯学習支援は、博物館の教育普及活動の重要な要素であり、情報資料センターを実践の場と位置付けている。

当センターは、利用者のニーズにも対応できるよう運営されている。ミュージアムアシスタント２人（うち司書１人）が、利用案内と質問の受付にあたり、専門的な回答を要するものについては、各担当学芸員に引き継いでいる（利用状況は表10参照）。

今年度の取り組み作業として、年々増加していく図書の見直し・整理を行った。

提供資料

１．図書資料

当センターでは自由閲覧を可能とした部屋になっている。自由閲覧以外の蔵書も要望により閲覧に供しているが、貸し出しには応じていない。

内容的には、仙台を中心とする東北地方の地方史文献、通史及び分野別の全集、美術全集、百科事典及び分野別の辞典類、古典文学、などである。

今年度の受入図書は1,656冊で、図書整理を行った結果、蔵書数は81,349冊となった。このうちセンターで自由閲覧できる図書は4,589冊である。

また、センター内の企画として、特別展・企画展に関連した特設図書コーナーを随時設けている。

今年度は３回設置し、延べ設置冊数は48冊であった。

２．映像資料

申込み制の利用とし、主に館内講演会などの記録映像を中心にモニターで提供している。

３．収蔵資料閲覧カード

伊達家文書を中心として、絵巻物・浮世絵等について写真を添付したカードを作成し、整冊して開架書架に配している。

４．マイクロフィルム

伊達家文書を中心にマイクロフィルム化を進めている。コインベンダー式のマイクロリーダープリンター１台を設置し、有料（申込制）でプリントが可能である（利用件数は表10参照）。

フィルムの資料は伊達治家記録や、三原良吉コレクション（一部）などが閲覧可能である。

５．周辺情報・他館情報の提供

仙台市と近郊の博物館・美術館など文化施設の利用案内や展示･行事の情報、また全国の博物館･美術館から送られてくるポスター、リーフレット、館だより等についても当センターで取り扱っている。

６．デジタルデータの活用

総合展示室（５台）に設置された情報提供システムと同様のものが設置１台設置されている。総合展示室のものと異なる主な点として、収蔵品・関係施設を検索しやすいキーワード検索機能を備えている（同プレイミュージアム）。

今年度のアクセス数は、総合展示室31,166件、プレイミュージアム5,242件、当センターでは1,393件であった。

表10　平成27年度情報資料センター利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数（人）		455	765	750	480	740	430	537	588	353	401	416	406	6,321
相談質問（件）		42	57	52	52	64	42	39	53	24	25	52	40	542
外線問合せ（件）		583	724	708	298	312	282	339	280	209	226	263	327	4,551
映像利用	利用数	1	0	2	3	0	0	2	0	3	1	2	1	15
	利用者	2	0	1	2	0	0	1	0	2	1	1	2	12
図書複写利用	利用（件）	36	51	41	49	44	37	54	59	37	50	52	36	546
	複写（枚）	634	1,561	1,286	1,337	784	574	1,463	1,502	539	484	632	314	11,110
マイクロフィルム利用	利用（件）	5	4	5	3	7	7	3	3	3	3	2	3	48
	複写（枚）	286	68	90	191	1,099	203	539	47	92	409	19	59	3,102
画像提供装置利用者数（情報資料センター調べ）		9	33	34	31	55	14	13	28	14	14	19	11	275
収蔵資料検索アクセス数		80	131	146	166	236	121	69	110	87	88	89	70	1,393

※　平成27年12月28日～平成28年１月４日まで年末年始休館

学校教育との連携

1．学校の博物館利用状況

表11から分かるように、平成27年度の学校の博物館の総利用状況は479件･13,652人（前年度比件数37件増･1,287人増）であった。平成26年度は館内工事及び国連防災世界会議への対応による臨時休館（平成26年12月１日から平成27年３月27日まで）があったため、利用件数、来館人数ともに、平成26年度より増加している。

市内学校の利用状況は125件・6,045人（前年度比５件増･1,125人増）であった。市内の小学校の来館件数は年間を通して58件であり、市内公立小学校（127校）の約45％にあたる。市内の中学校の来館件数は年間を通して18件であり、市内公立中学校（63校）の約28％にとどまっている。平成27年12月の仙台市地下鉄東西線の開業により、交通手段として地下鉄を利用する場合も増えてきている。今後も市内の小･中学校の学習利用をさらに促進していきたい。

市外学校の来館件数は354件・7,517人（前年度比32件増･162人減）であった。特に４月から５月にかけて隣県の中学校の利用が多い。

博物館来館時の学習形態を見ると、児童・生徒がグループごとに学習計画を立て、各施設等を見学する学習形態が多い。仙台市内の小・中学校では、社会科や総合的な学習の時間に位置づけ、グループでの利用ではなく児童・生徒がまとまって入館し、博物館の学習プログラム（講話、体験等）を利用する学校も少なくない。

表11　来館児童生徒数（人）

	H25	H26	H27
小　学　校	7,126	5,425	6,063
中　学　校	4,977	4,809	5,443
高校･大学等	2,836	2,041	2,056
合 計 者 数	14,939	12,275	13,562

平成27年度　学校における博物館利用状況

（上段:平成27年度　下段:平成26年度　単位:件･人）

表12　概況

	内　訳	件数	人数
利用数	市内	125	6,045
		120	4,920
	市外	354	7,517
		322	7,355
	合計	479	13,562
		442	12,275
学習形態数	一斉	181	
		155	
	グループ	307	
		287	
	合計	488	
		442	
利用目的数	常設展	342	7,681
		286	7,329
	企画展	32	1,659
		136	2,868
	特別展	125	4,222
		163	4,946
	合計	499	13,562
		585	15,143

表13　月別状況

		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合　計	
		件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
仙台市内	小	5	357	4	175	4	350	1	25	2	50	8	683	8	625	11	514	6	303	5	442	4	100	0	0	58	3,624
		3	89	12	524	5	310	1	70	3	266	10	547	5	308	18	869	0	0	0	0	0	0	0	0	57	2,983
	中	0	0	4	267	1	3	3	103	1	4	3	204	0	0	4	96	0	0	1	147	1	99	0	0	18	923
		0	0	2	39	1	33	3	69	0	0	2	45	6	131	6	214	0	0	0	0	0	0	0	0	20	531
	高	1	30	6	365	1	11	0	0	1	12	1	6	0	0	1	10	1	4	2	264	0	0	4	212	18	914
		1	25	5	483	1	27	2	37	2	53	1	4	1	106	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	14	739
	他	4	49	6	117	5	68	1	13	2	29	0	0	2	52	5	88	2	41	4	127	0	0	0	0	31	584
		2	86	6	160	2	27	6	119	3	58	1	33	3	81	6	103	0	0	0	0	0	0	0	0	29	667
	小計	10	436	20	924	11	432	5	141	6	95	12	893	10	677	21	708	9	348	12	980	5	199	4	212	125	6,045
		6	200	25	1,206	9	397	12	295	8	377	14	629	15	626	31	1,190	0	0	0	0	0	0	0	0	120	4,920
仙台市外	小	2	27	24	311	85	1,200	5	107	0	0	20	334	7	103	6	357	0	0	0	0	0	0	0	0	149	2,439
		3	50	21	345	72	1,110	4	20	1	18	24	381	3	70	10	448	0	0	0	0	0	0	0	0	138	2,442
	中	50	1,400	77	1,853	7	275	12	182	2	17	14	448	10	154	3	71	4	94	0	0	0	0	2	26	181	4,520
		50	1,373	68	1,759	8	261	10	228	4	46	16	422	5	91	5	98	0	0	0	0	0	0	0	0	166	4,278
	高	1	278	0	0	2	20	1	13	2	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	323
		0	0	3	193	0	0	1	27	1	10	1	4	2	284	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	9	524
	他	1	22	1	4	0	0	2	13	0	0	7	63	1	47	1	17	0	0	2	34	2	19	1	16	18	235
		1	22	0	0	1	3	2	36	0	0	5	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	111
	小計	54	1,727	102	2,168	94	1,495	20	315	4	29	41	845	18	304	10	445	4	94	2	34	2	19	3	42	354	7,517
		54	1,445	92	2,297	81	1,374	17	311	6	74	46	857	10	445	16	552	0	0	0	0	0	0	0	0	322	7,355
合計		64	2,163	122	3,092	105	1,927	25	456	10	124	53	1,738	28	981	31	1,153	13	442	14	1,014	7	218	7	254	479	13,562
		60	1,645	117	3,503	90	1,771	29	606	14	451	60	1,486	25	1,071	47	1,742	0	0	0	0	0	0	0	0	442	12,275

※１　館内工事により平成26年12月1日～平成27年3月27日まで休館（平成27年3月14日～18日までの５日間、国連防災世界会議により特別開館）。
※２　人数は、園児・児童・生徒・学生の数である（引率者の数は除外してある）。
※３　利用目的が複数あった学校があるため、目的件数と利用件数は一致しない。
※４　仙台市内は、入館料減免（事前申込）による来館者数及び当日来館者（どこでもパスポート利用含む）数から作成した。
※５　仙台市外は、来館者数（当日申込含）から作成した。
※６　他は、大学、高等専門学校、幼稚園、特別支援学校、ろう学校、盲学校、杜のひろば等とした。

２．学校向け広報

学校による博物館活用の機会を広げるため、博物館のホームページに「学校の先生方へ」という項目を設け、展示見学、職場訪問、貸出教材リスト、出前授業、教員向け研修などの最新情報を提供している。各種申込用紙のダウンロードも可能である。

また、教員が新年度の学習計画や研修計画を立てる際の参考資料になるよう、学校向けプログラムの紹介や館内の行事日程などを掲載したリーフレットを、宮城県内の各学校に送付している。

3. 学校教員対象講座

⑴　ミュージアムセミナー

特別展と企画展毎に県内の教員を対象に行うセミナーで、授業作りや博物館学習に役立ててもらうことを目的としている。学芸員が展示の見所を解説した後、展示室の自由観覧とした。教員対象のセミナーであるが、平成26年度から博物館ボランティアの参加も可能とした。

・特別展
「国宝　吉祥天女が舞い降りた！」　参加者：80人
日　時：平成27年４月24日（金）10：00～11：30
29日（水）10：00～11：30

・特別展　「ご覧あれ　浮世絵の華」参加者：100人
日　時：平成27年７月18日（土）10：00～11：30
７月22日（水）15：00～16：30

・特別展　「宇和島伊達家の名宝」参加者：36人
日　時：平成27年10月10日（土）10：00～11：30
10月14日（水）15：00～16：30

・企画展　「せんだい再発見！」参加者：19人
日　時：平成27年12月12日（土）10：00～11：30

⑵　博物館活用研修会（平成27年度は社会教育施設連携研修、小中学校図工美術科研修と合同開催）
日　時：平成27年８月５日（水）９：30～16：30
参加者：博物館活用研修　34人
社会教育施設連携研修　10人
小中学校図工・美術研修会　12人

社会科、図工・美術科を中心とした博物館学習に関する講話、「もんきりがたで遊ぼう」の体験等、博物館活用のヒントになるような研修の場を提供した。また、学芸員による特別展の解説を行い、博物館見学への意識付けを図った。

⑶　学校・各種教育機関との連携研修

以下のように学校や教育機関と連携し、研修会を開催した。主に博物館指導主事、学芸員が講師となり講座や体験実習を行った。各研修会の事後アンケートからは、博物館を利用した学習プログラムや貸出教材を活用した授業づくりに対する関心の高まりが見られた。学校教育における博物館の活用を促す機会として、今後も充実させていきたい。

・市中学校美術部会研修会
日　時：平成27年５月14日　15：00～16：45
内　容：講話「博物館の概要及び特別展解説」
参加者：市内中学校教諭50人

・市小学校社会科研究会（於：日立システムズホール仙台）
日　時：平成27年６月17日（水）15：20～15：40
内　容：講話「博物館の活用事例について」
参加者：市内小学校教諭　50人

・小学校社会科研修会
日　時：平成27年６月18日（木）10：00～15：20
内　容:講話「資料から気付き考える授業づくり」
講話「特別展解説」等
参加者：県内小学校教諭20人

・多賀城市小中学校社会科研究部会・研修会
日　時：平成27年６月24日（水）
内　容：講話「仙台城と仙台藩」
参加者：多賀城市小・中学校教諭14人

・仙台市小学校図工研究部会　夏季実技研修会
日　時：平成27年８月６日（木）９：30～12：00
内　容:実技「ぺたくた作り」講話「特別展解説」
参加者：38人

・社会教育施設連携研修　※博物館活用研修と合同
日　時：平成27年６月25日（木）15：30～16：30
平成27年８月５日（水）９：30～16：30
内　容：１日目　オリエンテーション
２日目　博物館の活用について
参加者：市内小・中学校教諭10人

・博物館活用研修（大学生対象）
日　時：平成27年11月21日（土）９：30～12：00
対　象：東北福祉大学　中・高等学校教員養成コース　16人
内　容：模擬授業「仙台藩の参勤交代」等

4．展示見学におけるボランティアとの連携

常設展示室で児童生徒から出される質問や資料解説について、ボランティアが主に対応した。特にスタディシートを利用しながら、分からないところをボランティアに質問するという利用の仕方が多く見られた。見学の際にボランティアの対応で、疑問を解決することができている。

5．職場体験

キャリア教育の浸透にともない、職場訪問や学芸員の仕事に関する問合せが増加している。今年度は中学校の職場体験を６校、23人を受け入れた。いずれも館内学習の補助、イベントの材料・チラシづくり、接客対応等、３日間の体験プログラムを通して博物館の仕事について学んだ。他に県内外の小・中学生の来館時に、職業に関する質問等に随時対応した。

6．博物館教材の貸出

平成27年度の博物館教材の貸出件数は、９件（20点）であった。最も件数の多かった貸出教材「楽山公行列図巻」（５件）で、他には縄文土器や石包丁の複製、「支倉常長像」のパネルの貸出があった。

7．館内講師・館外講師派遣

学校や市民センター、一般団体からの要望に応じて館職員が館内外で講話を行っている。中でも児童・生徒が博物館を見学する際には、より楽しく見学できるよう、「学習プログラム」を利用してほしいと考えている。

表14は、当館で受理された「講師派遣依頼（館内・館外）」の中から、学校関係を選び作成した講師派遣状況である。（学校関係以外への対応は、「講座・イベント」の頁を参照）。

表14　講師派遣一覧（学校関係）

講師派遣（館内・館外）	件数	対象人数
館内講師（内訳）	87件※	4,736人
○特別展・企画展の解説	11件	463人
○講話・講義	57件	3,539人
○実技・体験	25件	1,248人
館外講師（内訳）	5件	427人
○小学校（出前授業）	5件	427人
○中学校（出前授業）	0件	0人
合　　計	5件	427人

※１校で複数のプログラムを行うことがあるため、館内講師件数の総数、対象人数の総数と、それぞれの内訳の合計は一致しない。

館内講師については、講話・講義を希望する学校が多い。特に小・中学校では社会科プログラム「伊達政宗と仙台」の利用が多い。大学からの依頼としては、特別展・企画展の展示解説の他、文化財保護や博物館の概要といった内容の希望が多い。

また実技・体験型のプログラムを利用する学校としては小学校が多く、特に図工・美術科プログラムの「もんきりがたで遊ぼう」の利用が多い。学年を問わず手軽に体験でき、体験を基に展示室で楽しく家紋を探すことができることから、好評を得ている。

表15　学習プログラム一覧

	プログラム名	内　容
社会科	伊達政宗と仙台	伊達政宗の生涯をたどり、まちづくりの特徴を学ぶ
	慶長遣欧使節と支倉常長	慶長遣欧使節の目的や支倉常長の功績について学ぶ
	仙台藩の参勤交代を調べよう	オリジナル教材を使い、参勤交代の様子について学ぶ
	政宗のよろいを調べよう	体験用よろいを使い、よろいの材質や構造について学ぶ
	縄文のむらから古墳のくにへ	農耕によりむらが大きくなっていく様子を学ぶ
	仙台市の歩みについて学ぼう	明治以降の仙台市の移り変わりについて学ぶ
図工・美術科	もんきりがたで遊ぼう	江戸時代から伝わる型を使った切り紙を体験する
	ミニするめてんばたをつくろう	凧作りをとおして仙台地方に伝わる凧の由来について学ぶ
	土人形って何だろう	絵付けをとおして堤人形の歴史や特徴を学ぶ
	ようこそ屏風絵の世界へ	鑑賞をとおして屏風の歴史や構造を学ぶ

館外講師については、件数は少ないが小・中学校で出前授業を行った。図工･美術科プログラムの「ようこそ屏風絵の世界へ」では、児童が楽しく学ぶ様子が見られた。

8．博物館実習

学芸員資格取得を目指す学生を対象に、実習生の受け入れをしている。平成27年度は18人の実習生を受け入れた。実習日程については２グループに分け、前期、後期それぞれ５日間（合同実習１日、グループ別実習４日）で、歴史・美術に関する講話及び実技を中心に実習した。

合同実習　平成27年７月31日（金）９：00～16：00
前期実習　平成27年８月19日（水）～22日（土）
後期実習　　８月26日（水）～29日（土）
※前期、後期ともに時間は９：00から16：00まで。

９．キャンパスメンバーズ制度の導入

大学や専門学校教育における博物館の有効な活用を促し、学生や教職員が歴史・文化に親しむ機会をより豊かにすることを目的として、平成25年４月１日からキャンパスメンバーズ制度を開始した。

平成27年度末での加入校は16校となった。また、キャリア形成の場を提供する意味から、館内イベントへの学生サポーターの導入を試験的に開始した。

平成27年度　加入校一覧（五十音順）

・尚絅学院大学
・聖和学園短期大学
・仙台白百合女子大学
・仙台青葉学院短期大学
・東北医科薬科大学
・東北学院大学
・東北工業大学
・東北生活文化大学
・東北生活文化大学短期大学部
・東北大学
・東北福祉大学
・東北文化学園専門学校
・東北文化学園大学
・宮城学院女子大学
・宮城教育大学
・宮城大学

生涯学習施設との連携

SMMA（仙台・宮城ミュージアムアライアンス）

SMMAは、仙台・宮城地域における豊かな学習環境を整備し、人々の知的活動の活性化及び地域づくりに資するため、仙台・宮城地域の多様な館種の博物館施設が集合し、大学機関や図書館などと連携してネットワークを形成することにより、知的資源や人材の相互活用とそれぞれが持つ機能の融合を図り、博物館機能の高度化と地域を活性化させる新たな知の集積の形成を目的として平成21年度に設立された。事務局がせんだいメディアテークに置かれている。

参加機関

社会福祉法人共生福祉会　福島美術館※／スリーエム仙台市科学館／仙台うみの杜水族館※／仙台市縄文の森広場／仙台市天文台／地底の森ミュージアム／仙台市博物館／仙台市八木山動物公園／仙台市歴史民俗資料館／仙台文学館／せんだいメディアテーク／東北学院大学博物館※／東北大学総合学術博物館／東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館／東北福祉大学・鉄道交流ステーション※／仙台市教育委員会（生涯学習部）

※は平成27年度加盟館

１．ミュージアムユニバース～すてき・ふしぎ・おもしろい～

開催日時：平成27年12月18日（金）13：00～19：00
　　19日（土）11：00～18：00
参加者数：2,549人（２日間）
会場：せんだいメディアテーク１階オープンスクエア

ミュージアムの魅力や新しい楽しみ方を伝え、体感してもらうことを目的に、ＳＭＭＡ参加館が一堂に集まり実施したイベント。参加館の職員によるトークやクイズを行う「トークとイベントの広場」、ものづくりや実演などのプログラムに参加できる「体験の広場」、ミュージアムを楽しむための情報が詰まった「展示の広場」、各館のオリジナルグッズを販売する「ミュージアムグッズショップ」を展開した。

「トークとイベントの広場」では、歴ネット（仙台歴史ミュージアムネットワーク）によるクイズ「再発見！仙台の歴史」を実施した。博物館を含む歴

ネット各施設の職員が、施設や収蔵資料に関するクイズを出題し、仙台の歴史や文化について紹介した。

SMMA企画の「ミュゼバトル～私のイチ押しミュージアムはコレよ！～」では、博物館学芸員が他館学芸員と共に、世界中の様々な博物館の中からおすすめの博物館を紹介し合った。

また、「展示の広場」では博物館収蔵資料の紹介や、次回特別展の予告を掲示するとともに、兜をかぶる体験コーナーを設け、来場者に博物館の魅力をアピールした。

クイズ「再発見！仙台の歴史」

ミュゼバトル「私のイチ押しミュージアムはコレよ！」

２．ＳＭＭＡ各館の交流

ＳＭＭＡ参加館15館の職員を対象とした研修会は、日常業務の中で同じような悩みや課題を抱える職員のために、ミュージアムの分野を超えて意見・情報交換、ワークショップ、外部講師を招いた講習会等を実施するものである。

平成27年度から博物館がSMMAの研修・交流企画部会の担当となり、SMMA各館からの研修・交流等についての要望を受けて実施した。

・第１回SMMA研修会

日時：平成27年12月11日（金）14：00～16：45

会場：仙台うみの杜水族館

内容：講話「仙台うみの杜水族館の施設概要と展示、広報について」、施設見学

講師：仙台うみの杜水族館　学芸員　萬　倫一氏

参加者：29人

・第２回SMMA研修会

※仙台市博物館職員研修とSMMA研修会を兼ねて実施

日時：平成28年３月15日（火）13：30～15：30

会場：博物館講習室

内容：講話・実技「学芸員の仕事―文化財の取り扱いについて実技を通して学ぶ」

講師：東北大学大学院　教授　泉　武夫氏

参加者：37人

この他、実行委員会、幹事会、運営会議や交流会を通して、SMMAの運営について協議するとともに、各館の情報交換を行った。

仙台歴史ミュージアムネットワーク

仙台の歴史や文化についての幅広い関心に応えるため，市内８つの歴史・文化施設が連携して平成21年度に結成した。歴ネットと略称。事務局は当館に置かれ、SMMAの事業部会の一つとして位置付けられている。

参加施設

・地底の森ミュージアム　・仙台市縄文の森広場
・仙台市博物館　・仙台城見聞館
・瑞鳳殿　・仙台市歴史民俗資料館
・仙台文学館　・仙台市戦災復興記念館

１．連携事業の実施　※SMMAクロスイベントとして実施

(1)　歴ネットクイズラリー

平成27年９月１日から平成28年１月31日まで開催した。各館の有料ゾーンにあるオリジナルクイズに答え各館を巡り、参加者が各館を回遊しながら仙台の歴史・文化を学ぶことができる。参加者にとってクイズラリーは、他施設を巡るきっかけとなっている。また、クイズの解答を考える際に、展示物を深く観察したり、親子で話し合ったり、クイズを楽しんでいる様子が見られた。

期間：平成27年９月１日（火）
　　～平成28年１月31日（日）

台紙配布数：5,957枚

４館達成者：135人

８館達成者：63人

各館に設置したポスター

⑵　仙台の伝統門松復元事業

かつて、仙台やその周辺で飾られていた仙台の伝統的な門松を泉区根白石で昔ながらの門松を受け継いでいる旧家の方の協力を得て再現、展示した。伝統門松の展示は市民に仙台の伝統や歴史に触れてもらう機会となった。平成27年度は新たに地底の森ミュージアムが他施設の職員と協力して設置した。また平成26年度に引き続き、門松に取り付ける「ケンダイ」を担当者が中心となって作成した。

展示期間：平成27年12月１日(火)～平成28年２月28日(日)　※各施設で展示期間を設定

展示会場：地底の森ミュージアム／仙台市縄文の森広場／仙台市博物館／瑞鳳殿／仙台市歴史民俗資料館／仙台文学館／仙台市戦災復興記念館

・研修

日時：平成27年11月27日（金）13：00～16：30

会場：仙台市縄文の森広場　活動室及び工房

内容：「縄ないとケンダイ作り」

講師：泉区根白石　熊谷　和夫氏

参加者：歴ネット参加館職員14人

博物館に設置した伝統門松

２．広報・その他

⑴　歴ネット会議

平成27年度は４回の会議を設け、連携事業についての検討や情報交換を行った。

⑵　歴ネットシートの作成・配布

参加８館が統一規格のシートを用いて、各館ごとに仙台の歴史や文化について紹介した。

・平成27年度シート配布数：約22,800枚※

※仙台市博物館分・７種

⑶　連携事業の広報

連携事業についてはチラシを作成し、各館で配布した。また、SMMAウェブサイト「見験楽学」にて、情報発信を行った。

広報

博物館で随時開催する展覧会やイベントなどの各種行事に来館・参加いただくためには、周知・広報業務も重要であり、博物館の普及活動の一環として位置づけられている。

広報にも様々な方法・媒体があり、どの媒体をどのように使うか個別に判断・選択が必要となるが、基本としては以下のような広報活動を行っている。また、最近は学校を通じての児童・生徒への広報活動にも力を入れているが、このことについては別項「学校教育との連携」を参照されたい。

そのほか展覧会や市史講座など、内容によっては定例的な広報手段のほかにも単発で取材依頼や個別発送なども行った。

また、新たな広報手段としてＳＮＳを活用した「仙台市博物館ツイッター」の運用を仙台市地下鉄東西線開業に合わせて12月５日から開始した。

１．広報用印刷物

最も基本的な広報資料として、以下２種類の印刷物を発行・配布した。平成19年からはじめたＰＤＦファイルによるホームページへの掲載も継続し、いつでもどこからでも自由に閲覧できるようにしている。

⑴　博物館だより（隔月発行）　№169～174

225×420mm　四つ折り　観音開き

⑵　展覧会案内（平成28年度版）

225×420mm　四つ折り　観音開き

広報用印刷物（博物館だより・展覧会案内）

２．広報資料発送

マスコミ等をはじめとする広報関係機関への情報提供として、上記広報用印刷物やイベントのちらし、概要資料などの広報資料を定期的に送付している。今年度は、マスコミ各社（テレビ局、ラジオ局、新聞社、雑誌･フリーペーパー等出版社など）約135

社あてに発送した。

また、個別に送付される掲載依頼やイベント情報などに関する照会・回答などにはその都度対応しているほか、実際に掲載される原稿に誤りがないかの校正依頼などもあり、27年度は約240件となった。

3. ホームページ

博物館ホームページは、博物館案内や展覧会・イベント情報、英語による博物館情報（展覧会案内含む）などのほか、主な収蔵品50件を検索できるコーナーや伊達政宗・支倉常長コーナー、調べ学習にも活用できるキッズコーナーなどを充実させている。

そのほか、常設展見学をより楽しむための情報を集めた「常設展を楽しむために」、学校の流れや手続き・博物館学習のプログラムなどを取り上げた「学校の先生方へ」などのコーナーもあり、見学をより充実したものとしていただくための情報提供にも努めている。

情報更新は、毎月５回を目安に随時行っており、平成27年度の当館ホームページへの総アクセス数は、2,818,018件であった。特別展･企画展会期中は例年どおりアクセス数が増加し、展覧会広報におけるホームページでの情報提供が求められている。

また、「仙台市博物館ツイッター」開設後はアクセス数が著しく増加した。特に、開設月の12月のホームページアクセス数は927,732件と、前年の同月と比べて約９倍のアクセスがあり、その後の月においても対前年比120％～200％となっている。ツイッターからホームページへの誘導という形で情報提供が行われていることがうかがえる。

博物館ホームページ

刊行物・グッズ等

平成27年度は、下記のとおり３種の刊行物を発行した。（市史活用推進事業で作成された刊行物については、「５．市史活用推進事業」参照）

オリジナルグッズもこれまで同様大変好評をいただき、27年度は、絵葉書（水玉模様陣羽織、伊達政宗のよろい、孔雀･鳳凰図、花樹に貝尽し蒔絵鏡台、蔓草蒔絵太鼓胴、閑上浜御仮屋十二支額、かげぼしづくし）、一筆箋（伊達政宗のよろい･鷲図･三沢初子の帯）、水玉模様陣羽織デザインハンカチの追加製作を行った。

また、新たに、公民権証書デザイントートバッグ、ぽち袋（慶長遣欧使節関係資料・三沢初子の帯）の製作を行った。

１．刊行物

⑴ 「仙台市博物館年報」第42号
　平成27年６月30日発行　Ａ４判　94ページ

⑵ 「仙台市博物館調査研究報告」第36号
　平成28年３月31日発行　Ｂ５判　64ページ

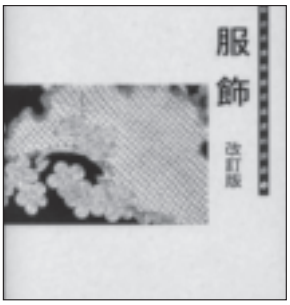
⑶ 特別展図録
「宇和島伊達家の名宝―政宗長男･秀宗からはじまる西国の伊達―」
　平成27年10月９日発行　Ａ４判　138ページ

⑷ 収蔵資料図録②「服飾　改訂版」
　平成28年３月31日発行
　Ａ５変形判　123ページ

年報

調査研究報告

特別展図録



収蔵資料図録

2．オリジナルグッズ

平成27年度製作・追加製作は以下のとおり。

⑴　公民権証書デザイントートバッグ（1,080円）

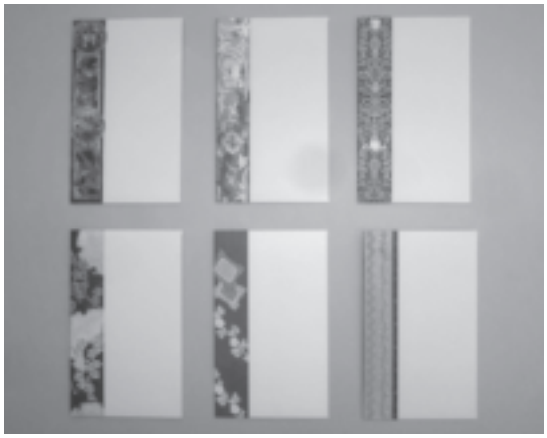
⑵　ぽち袋２種（490円）

⑶　絵葉書７種（60円）

⑷　一筆箋３種（300円）

⑸　水玉模様陣羽織デザインハンカチ（800円）

公民権証書デザイントートバッグ



ぽち袋（慶長遣欧使節関係資料・三沢初子の帯）

4. 調査・研究

平成27年度『仙台市博物館調査研究報告』36号には、以下の論文を掲載した。（掲載順）

伊達家文書に遺る
「小文の礼紙」についての調査報告

明石　治郎

仙台市博物館所蔵伊達家文書のうちの中世文書を対象とした形態等の調査において知り得た「小文の礼紙」についての報告である。

この場合、「小文の礼紙」とは、横切紙の書状とそれに巻かれた白紙（礼紙）、それらに掛かる封紙から成る一組のことであり、書状が運搬された戦国期当時の原形を留める貴重な資料だと考える。

本稿では、二十数点遺る「小文の礼紙」を江戸時代後期の『貞丈雑記』など故実書に見える記述との対照もおこないながら紹介した。

「伊達家文書」所収「岩城親隆書状」の再検討

泉田　邦彦・星川　礼応

本稿は、仙台市博物館所蔵「伊達家文書」に所収されている「年不詳十月五日付伊達氏宛岩城前下総守親隆書状」の原本調査を行い、その成果に基づき史料の発給年次、発給・宛所の人物の再検討を行ったものである。まず、岩城親隆の花押型の分析から、当該史料は文明15年（1483）に上洛中の伊達成宗に宛てて岩城親隆が発給した書状であることを明らかにした。その上で、関連史料を踏まえて当該期の奥州岩城氏と室町幕府との関係について考察を加えている。本稿の検討によって「伊達家文書」所収史料が位置付け直されたことは、室町期の伊達・岩城氏研究のみならず、当該期の南奥史研究においても重大な意義を持つといえよう。

戦国時代後期における
宮城郡・黒川郡の交通について

三好　俊文

中世の宮城郡と黒川郡との往来については、古代東山道や鎌倉時代の奥大道を継承した海手の幹道と、根白石と宮床とを結ぶ山手の道の存在が明らかにされている。本稿では、西と東に偏るこの２つの道以外の、両郡の往来について検討した。

結果、中世末において宮城郡の松森から黒川郡の鍋山周辺を経て、同郡明石の小野目に至る経路で、宮城郡と黒川郡の往来があったことを指摘した。

藤塚知明旧蔵の西洋奇図について（下）

松田　　清

「西洋奇図」全51図のうち、林子平が「ケレイキスブツク」と呼んだドイツ兵書ディリッヒ『戦争書』（1689）を典拠とする18図について、各図ごとに典拠図を示し、原書本文の説明、彰考館所蔵『戦争書』写本の書き入れ、『海国兵談』における「ケレイキスブツク」引用箇所などを元に、書誌的な考察を加えた。結論として、林子平が「西洋奇図」を参照した形跡はみられないこと、子平が『戦争書』中の近世ヨーロッパ軍事を無視し、古代ローマの軍事を現代オランダの軍事とみなしてその採用導入を提言していることを解明した。

◇平成28年度研究テーマ◇

平成28年度の仙台市博物館学芸員の研究テーマは以下のとおりである。

中世・近世の伊達家と仙台藩の研究　　菅原　美咲
中世・近世の庶民信仰美術の研究　　寺澤　慎吾
近世・近代の都市仙台の研究　　水野　沙織
古代・中世仏教彫刻・工芸史の研究　　酒井昌一郎
古代中世東北史および近世前期の伊達家・仙台藩の研究　　佐々木　徹
日本中近世絵画史の研究　　樋口　智之
博物館を活用した社会科の学習について　　山澤　一郎
図画工作科・美術科における博物館の活用について　　齋藤　大祐

表16　仙台市博物館調査研究報告書一覧

No.	所　収　タ　イ　ト　ル	執 筆 者	発行年・頒価等
No.1	仙台における明治20年代の自由民権思想－雑誌「通信演説」と「東北評論」から－仙台城本丸の障壁画をめぐって 大槻磐渓書翰集について 伊達政宗の印章・印影について 博物館を市民のものとするために	佐藤憲一 濱田直嗣 鵜飼幸子 嘉藤美代子 佐藤泰	昭和56年３月　完売
No.2	養賢堂の学制改革について－桜田欽斎、志村篤治の反論を中心に－ 仙台の書肆について－西村治郎兵衛、西村治右衛門、伊勢屋半右衛門、伊勢屋安右衛門－ 伊達家旧蔵の印章について （史料紹介）　宮城県の自由民権運動に関する新史料 名取市熊野神社蔵　木造狛犬調査報告	鵜飼幸子 小井川百合子 嘉藤美代子 佐藤憲一 佐藤泰	昭和57年３月　完売
No.3	角懸鹿谷の美術 正保年間製作「奥州仙台領絵図」について 大槻俊斎の書状について 伊達家旧蔵の印章について・補遺	濱田直嗣 佐藤憲一 鵜飼幸子 嘉藤美代子	昭和58年３月　完売
No.4	仙台藩寛永期検地帳について －「伊具郡東根之内小斎村御検地帳」の分析－ 堤人形と信仰－照徳寺内地蔵堂の例－ 伊達政宗・伊達忠宗所用兜の銘について 旧支倉家関係資料について	鵜飼幸子 小井川百合子 嘉藤美代子 濱田直嗣	昭和59年３月　完売
No.5	仙台市博物館蔵ブルーノ・タウト指導照明器具４点の復元研究報告ならびに修理報告	庄子晃子・ 鈴木治平	昭和60年３月　完売
No.6	仙台城館および周辺建築復元考	佐藤巧	昭和61年３月（平成10年３月増刷）　1,210円
No.7	円山応挙試論 伊達の黒箱文書について もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－（一） 善応寺横穴墓群、法領塚古墳出土鉄・銅製品整理報告	内山淳一 鵜飼幸子 小井川百合子 田中則和	昭和62年３月　完売
No.8	ローマ、ボルゲーゼ宮　「支倉常長」像の作者について 江戸時代における古瓦の認識－宮城県域を中心に－ 「支倉常長追放文書」の年代について 菅野壽雄氏寄贈資料について－染織資料を中心に－ もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－（二）	田中英道 佐々木和博 佐藤憲一 嘉藤美代子 小井川百合子	昭和63年３月　完売
No.9	新博物館への一考察－反省と展望－ 学校教育における博物館利用学習 もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－（三） 仙台藩関係の婚礼調度について 慈光明院蔵　種子華鬘について 柴田町金谷貝塚出土の櫂状木製品 支倉常長の法王使節団に関する諸問題 伊達政宗の「鉛筆」調査報告　Ⅰ～Ⅴ	佐藤泰 佐藤佳彦 小井川百合子 嘉藤美代子 髙橋あけみ 田中則和 Ｐ.コッラディーニ・芳野明訳 内藤俊彦・西本洋二・村山斌夫・小井川百合子	平成元年３月　完売
No.10	東北地方における山伏笈 「仙台領奥州街道絵図」の基礎的検討 白雲の研究－未紹介の真景帖を中心に－ もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－（四） 館蔵考古資料の紹介Ⅰ トチの実を食す	髙橋あけみ 佐々木和博 内山淳一 小井川百合子 結城慎一 結城慎一	平成２年３月　1,870円
No.11	「宗久・宗易道具書立」を含む伊達政宗伝授書群について もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－（五） 館蔵考古資料の紹介Ⅱ－佐藤半兵衛コレクションに見る中国古銭－ 宮城県における古代火山灰の年代観について	髙橋あけみ 小井川百合子 結城慎一 結城慎一	平成３年３月　1,870円
No.12	戦国期奥羽の在家をめぐって 伊達政宗と医事・医学－高屋家文書の紹介を兼ねて－ 朱皺漆紫糸素懸威具足・三宝荒神形兜付について もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－（六） 画像情報提供装置の導入について 赤焼土器についての覚書－宮城県とその近県－ 仙台城三ノ丸跡出土漆器資料の製作技法	菅野正道 佐藤憲一 嘉藤美代子 小井川百合子 阿部秀夫 結城慎一 北野信彦	平成４年３月　完売
No.13	東洋におけるキリスト教伝道の歴史的証言－クイリナーレ宮殿のサーラ・レージアの肖像画について－ 宮城県大和町西風所在の五輪塔－支倉常成・常長との関わりの可能性－ 財団法人斎藤報恩会所蔵　「遠藤山城文書」について もう一つの伊達政宗言行録－木村宇右衛門覚書－（七）	K.H.フィオーレ・小関史絵　訳 佐々木和博 明石治郎 小井川百合子	平成５年３月　完売

No.	所　収　タ　イ　ト　ル	執 筆 者	発行年・頒価等
No.14	観瀾閣宝物目録について－仙台伊達家における什器保存の試み 孫太郎虫と仙台藩主－江戸後期博物趣味の一断面－ 東京国立博物館所蔵の「小袖図」（伊達家旧蔵）などについて 重要文化財・慶長遣欧使節関係資料のうちローマ市公民権証書の修理について 洋式帆船開成丸について	小井川百合子 内山淳一 嘉藤美代子 髙橋あけみ 荒井聡	平成６年３月　完売
No.15	『伊達支族伝引証記』所収の石田文書 「支倉六右衛門遺物」と写真－明治時代前期の動向を中心に－ 観瀾閣宝物目録について（二）－仙台伊達家における什器保存の試み（補遺） 伊達政宗の母・義姫の出奔の時期について－新出の虎哉和尚の手紙から－ 『松島風土記』所載の「坪碑文図」－多賀城碑に関する新資料－ 仙台座『目論見書』について－芝居小屋経営の視点から－ 宮城県における岩版・土版について	菅野正道 濱田直嗣 小井川百合子 佐藤憲一 佐々木和博 佐藤理香 原河英二	平成７年３月　完売
No.16	「スタディ・シート」の十年－博物館ワーク・シートの構想と実践－ 観瀾閣宝物目録について（三）－仙台伊達家における什器保存の試み（補遺二） 「古川状」について 情報資料センターの展望と課題－10年目をむかえて－ 伊達政宗の使節団（1614年）	佐々木和博 小井川百合子 伊藤信 郷湖理香 Ｊ.Ｃ.Ｒ.フラード・今江克彦訳	平成８年３月　2,460円
No.17	博物館の「利用」から「活用」へ－仙台市博物館での実践を通して－ 「宗久・宗易道具書立」を含む佐藤家本四冊について 天正十七年の伊達氏の正月行事－「茶湯客座亭座人数書」と「矢日記」・「玉日記」の再検討－ 宮城県蔵王町鍛冶沢遺跡出土の土偶について 宮城県仙台市青山二丁目Ｂ遺跡出土の石器について	布施勝久 髙橋あけみ 菅野正道 相原淳一 原河英二	平成９年３月　完売
No.18	円爾弁円最晩年の頂相著賛について－我が国への頂相文化定着の一局面－ 仙台藩の小人について 支倉常長将来の刀剣に関する基礎的研究	樋口智之 齋藤潤 佐々木和博	平成10年３月　1,710円
No.19	伊達家の家紋に関する一考察－家紋の覚書と美術資料にみる伊達家の家紋およびその変遷－ 資料紹介　戦国期伊達領における馬術・伯楽関係資料－館蔵の新資料から－ 資料紹介　仙台市博物館所蔵『年中行事絵巻模本』十八巻 中部バヌアツ・エファテ島東海岸における考古学的踏査	髙橋あけみ 菅野正道 樋口智之 相原淳一・中野拓大・磯目隆夫・篠遠喜彦	平成11年３月　2,280円
No.20	新収資料・国分家資料について 伊達家文書の形成過程（一） 朝鮮出兵時における伊達政宗の足跡をたどる－大韓民国倭城等調査報告－ 中国に「仙台」を訪ねて－仙台開府四百年記念特別展・中国調査の報告－ 近年における仙台市博物館の入館者動向－98・99年実施の面接調査およびアンケート調査から－	齋藤潤 菅野正道 濱田直嗣・齋藤潤 樋口智之 相原淳一	平成12年３月　完売
No.21	百富士画をめぐって－江戸時代後期の風景趣味と絵画－ 「秀頼様御祝言御呉服之帳」・「万渡方帳」・「御物之帳」について 資料紹介　仙台市博物館所蔵の伊達氏古系図四種	内山淳一 髙橋あけみ 羽下徳彦	平成13年３月　2,460円
No.22	仙台市内出土の陶磁器集成－近世－ 仙台市博物館における学校教育との連携－社会科・総合的な学習の時間における博物館利用の報告－ 仙台市博物館におけるマルチメディア博物館実証実験について ローマ教皇パウロ５世宛伊達政宗ラテン語書状について－西洋古典文献学の立場から－ 佐藤家本について（補遺）	佐藤洋 高倉祐一 荒井聡 石田啓 髙橋あけみ	平成14年３月　1,260円
No.23	陸奥国分寺の不動明王・毘沙門天・十二神将 竹菱梅葵紋蒔絵女乗物について 調査報告　大崎八幡宮石の間天井画について 仙台市博物館における広報活動について 仙台市博物館利用者アンケート調査報告－平成12・13・14年度の調査から－	酒井昌一郎 髙橋あけみ 樋口智之 佐藤美香 高倉祐一	平成15年３月　1,330円
No.24	仙台画壇の黎明期－寛政・文化期の画譜と書画会を中心に－ もう一つの伊達綱村茶会記「学恵茶湯志」	内山淳一 小井川百合子	平成16年３月　2,180円
No.25	絵仏師徳応・貞綱の肖像画制作について－瑞巌寺僧関係作品を中心に－ 伊達氏における印判状の成立 資料紹介　佐々木閑心覚書－伊達氏系譜の異伝資料－	樋口智之 菅野正道 羽下徳彦	平成17年３月　完売

No.	所　収　タ　イ　ト　ル	執 筆 者	発行年・頒価等
No.26	ベネチア・佐賀・仙台に在る竹に雀雪薄紋桜折枝蒔絵三棚について－黒棚（ベネチア東洋美術館蔵）・厨子棚（鍋島報效会蔵）・書棚（仙台市博物館蔵）－ 伊達家文書の形成過程（二） 資料紹介　文化三年御屏風本帳附渡帳 資料紹介　尚文館コレクションの「西洋式軍鼓」免許巻	髙橋あけみ 菅野正道 樋口智之・ 齋藤潤 舩渡崇	平成18年３月　900円
No.27	陸奥国分寺の仏像－主に表面仕上げに関するデータから－ 仙台市博物館ボランティア「三の丸会」活動紹介－10周年を迎えて－ 仙台市博物館友の会活動35年の総括と今後の課題	酒井昌一郎 高橋綾子 小井川百合子・ 大友まさ子	平成19年３月　900円
No.28	支倉常長像の模写と写真－大泉光一氏「支倉常長像の加筆・改作」説の検証を兼ねて－ 柳宗悦と東北－昭和九年～昭和十五年－ 資料紹介　御証文方御本牒手控－仙台藩における資料管理の一側面－	濱田直嗣 小井川百合子 齋藤潤	平成20年３月　900円
No.29	１．失われたみちのく図巻－谷元旦・大野文泉の東北地方写生図をめぐって－ ２．伊達政宗公三百年祭について	内山淳一 水野沙織	平成21年３月　900円
No.30	１．史料紹介「領内境日記」－伊達吉村の軍制整備との関係から－ ２．小田原参陣における伊達領の警固体制 ３．十八夜観世音堂立像に使用された木材の樹種 〈付論〉十八夜観世音堂菩薩立像の樹種同定結果を受けて	坂田美咲 菅野正道 大山幹成 星野安治 鈴木三男 酒井昌一郎	平成22年３月　900円
No.31	１．奥の正法寺と偽綸旨 ２．資料紹介「伊達の黒箱」文書について（一） ３．新「スタディシート」の一年－その構成と活用方法を中心に－ ４．仙台市博物館リニューアルにおける情報提供システムの導入について	佐々木徹 坂田美咲 岩瀬利宏 押野良美	平成23年３月　900円
No.32・33合併号	１．「御奥方格式」について－美術工芸的アプローチ－ ２．安政六年武市九郎三郎通達の蝦夷地警固日記 ３．「葦名靭負戊辰記事」に関する一考察 ４．花嶽神社安置の不動明王二童子像について ５．蔵王町下別当遺跡の「人面装飾土器」－特に著保内野遺跡出土国宝「土偶」との比較から－	髙橋あけみ 水野沙織 栗原伸一郎 酒井昌一郎 竹田幸司・安倍千春・西脇対名夫	平成25年３月　1,200円
No.34	１．屏風のなかの動物たち－伊藤若冲とその周辺作品をめぐって－ ２．資料紹介－「伊達の黒箱」文書について（二）― ３．慶長遣欧使節をめぐる諸問題―大使支倉の名乗りと「震災復興派遣説」について―	内山淳一 菅原美咲 佐々木徹	平成26年３月　900円
No.35	１．中尊寺蔵「平泉諸寺参詣曼荼羅」について ２．登米市懐古館所蔵資料　伊達政宗筆　古歌「咲時ハ」(一幅)について－その成立事情と伝来の経緯－ ３．史料紹介『成宗公御上洛之日記写』に関する一考察 ４．藤塚知明旧蔵の西洋奇図について（上）	寺澤慎吾 佐藤憲一 星川礼応 松田清	平成27年３月　900円
No.36	１．伊達家文書に遺る「小文の礼紙」についての調査報告 ２．「伊達家文書」所収「岩城親隆書状」の再検討 ３．戦国時代後期における宮城郡・黒川郡の交通について ４．藤塚知明旧蔵の西洋奇図について（下） ※内容については、本年報66ページ参照	明石治郎 泉田邦彦・星川礼応 三好俊文 松田清	平成28年３月　900円

（平成27年４月１日より　No.26以降の調査研究報告書の頒布を開始。価格および内容については平成27年４月１日現在、以下続刊）

5. 仙台市史活用推進事業

仙台市制百周年記念事業の一つとして昭和61年から開始された市史編さん事業は、平成２年度からは当館が事業を所管し、館内に設置された市史編さん室が事務局となって平成26年度までに通史編９巻、資料編13巻、特別編９巻、年表・索引１巻の合計32巻を刊行するとともに、関連資料の調査・収集や、普及事業を展開してきた。

平成27年２月に最終巻となる『年表・索引』が刊行されたことで市史編さん事業は終了となり、「仙台市史編さん委員会設置要綱」と同要綱に基づいて設置されていた仙台市史編さん委員会・仙台市史編さん専門委員会、および市史編さん室は同３月31日をもって廃止となった。

市史編さん事業の収束にあたっては、平成25年８月に仙台市史編さん委員会より市長宛てに、市史編さん室の人材を活用しながら、事業成果を活用する施策に取り組むこと、仙台市域の歴史に関する調査・研究を継続的に実施することなどを主眼とした提言書が提出されていた。

こうした状況を受け、平成27年度からは、市史編さん事業で蓄積された多くの成果の活用を図るとともに、市域の歴史に関する調査や資料収集を行う「仙台市史活用推進事業」が新たに開始され、市史編さん事業の残務処理を含めて、組織改正によって設置された学芸普及室がその担当となった。

平成27年度の業務としては、市史編さん事業の成果を活用した企画展「せんだい再発見！」開催のほか、従来から実施してきた印刷物発行や普及事業開催、収集した資料の整理、東日本大震災に対応した資料保全活動と震災アーカイブ事業に取り組んだ。さらに、市民向けの普及書の作成や他機関と連携した普及事業など、幾つかの新たな取り組みも行った。

１．講座等

⑴　仙台市史セミナー

仙台市史セミナーは、市史編さん事業で得られた調査分析成果を市民へ発表することを目的に平成３年度から年１回実施しているイベントである。

平成27年度は、市史編さん事業の総括となるような内容で、企画展「せんだい再発見！」関連行事として開催した。

第24回仙台市史セミナー「せんだい再発見！」
日　時：12月12日（土）　13：00～16：00
場　所：博物館ホール
テーマおよび講師
・「仙台平野の『考古学的中世』」（宮城県考古学会会長　田中則和氏）
・「近現代・仙台の歴史像：『仙台市史』の特色と課題」（東北大学大学院教授　安達宏昭氏）
・「『仙台市史』が語る仙台の歴史像」（宮城学院女子大学学長　平川新氏）
参加者：171人

⑵　仙台市史講座

仙台市史講座は、市史編さん事業成果の地域還元と『仙台市史』の読者層の拡大を目的に市内59カ所に設置されている市民センターとの共催で、年２回程度実施してきたものである。講演のテーマは、市史編さん事業で得られた調査研究成果のなかから、開催場所に即したものを選択してきた。平成27年度については、以下のとおり２カ所で実施した。

第31回仙台市史講座
テーマ：「山田・鈎取の近現代史　―地域開発の様相をたどる―」
講　師：松浦順一氏（元芦口小学校校長）
日　時：平成27年７月19日（日）13：30～15：30
会　場：山田市民センター
参加者：80人

第32回仙台市史講座
テーマ：「江戸時代の松陵
―旧松森村とその周辺―」
講　師：堀田幸義氏（宮城教育大学准教授）
日　時：平成27年９月12日（土）13：30～15：30
会　場：松陵市民センター
受講者：101人

市史講座の開催状況

⑶　くずし字講座

古文書やくずし字の読解に関する初心者向け講座を平成24年度から東北大学上廣歴史資料学研究部門との共催で実施してきた。例年、募集人数の２倍から３倍に及ぶ受講申込があるため、今年度は抽選に漏れた応募者を対象に、ダイジェスト版の講座も実施した。

「はじめての『くずし字』―江戸時代の仙台を読む」

日　時：平成28年２月３日（水）、10日（水）、
　　17日（水）、24日（水）
　　（連続４回　毎回13：30～15：00）

会　場：仙台市博物館講習室

受講者：50人（申し込み153人）

講　師：友田昌宏氏（東北大学上廣歴史資料学研究部門助教）、倉橋真紀（学芸普及室嘱託）

「はじめての『くずし字』ダイジェスト」

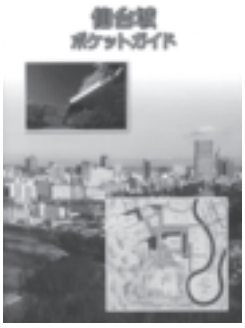
日　時：平成28年３月９日（水）13：00～15：40

会　場：仙台市博物館ホール

受講者：62人

講　師：友田昌宏氏（東北大学上廣歴史資料学研究部門助教）、倉橋真紀（学芸普及室嘱託）

市史せんだい



仙台城ポケットガイド

活用資料集

２．刊行物

⑴　『市史せんだい　Vol. 25』

平成27年９月30日発行　Ａ５判　128ページ

第一特集「『仙台市史』刊行を振り返って」

・『市史』を振り返って（関係者８名のコラム）

・仙台市史編さん事業の25年略史（菅野正道）

第二特集「戦後七〇年」

・「軍都仙台」の呼び名はいつ頃生まれたのか（中武敏彦）

・昭和二〇年七月一二日撮影　仙台空襲後の市街地写真（菅原友子・村岡淳子）

論文　幻の鉄道　―大正期における仙台周辺の鉄道敷設構想―　（菅野正道）

史料紹介　伊達政宗文書・補遺（九）

⑵　『「仙台市史」活用資料集vol. 2　若林区の歴史探し』

平成28年３月31日発行　Ａ４判　16ページ

⑶　『仙台城ポケットガイド』

平成27年12月１日　Ａ５判　64ページ

３．連携事業

⑴　「みんなで『堀』起こし　六郷堀･七郷堀がおもしろい」

・主催　若林区まちづくり推進課、若林区中央市民センター、若林区文化センター

・協力　仙台市博物館､仙台市市民文化事業団、六･七郷堀サポーターズ

・会場　若林区文化センター

・期間　平成27年８月18日（火）～平成27年９月13日（日）

・内容

①六郷堀･七郷堀の魅力マップや、歴史や暮らしとのかかわりについてのパネルの展示

②トークイベント「堀の魅力　あーだ　こーだ大会議」

日時：平成27年８月22日(土)13：00～15：00

参加者22人

③講座「ほりおこし仙台平野　―六郷堀と七郷堀のうつりかわり―」（講師：菅野正道）

日時：平成27年８月30日(日)10：00～12：00

参加者30人

④トークイベント「聞いてみよう　暮らしの中にある堀」
日時：平成27年９月６日(土)13：00～15：00
参加者34人

⑵「仙台鉄道物語　～大正時代の鉄道と電気事業のあゆみ～」
・主催　東北電力グリーンプラザ
・協力　仙台市博物館、東北福祉大学鉄道交流ステーション
・会場　東北電力ビルグリーンプラザ「とうほく文化情報コーナー」
・期間　平成27年11月10日（火）
～平成28年１月11日（日）
・内容　大正時代における仙台の鉄道事業、電気事業に関するパネルや複製資料の展示

⑶　仙台市博物館×仙台市図書館連携事業「土地の履歴書　～絵図・地図で探る地域の歴史～」
・主催　仙台市博物館、市民図書館
・内容　絵図や地図を用いて地域の変遷を紹介する博物館職員による講座と、関連文献やレファレンス例、調査方法を紹介する図書館職員の講座との組み合わせ
・開催日、開催場所および参加者、演題・講師
12月17日（木）　太白図書館　参加91人
「長町の履歴を探る」　三好俊文
１月20日（水）　泉図書館　参加79人
「野初絵図でみる七北田・松森周辺」
菅野正道
１月29日（金）　榴岡図書館　参加22人
「絵図・地図でたどる榴ヶ岡周辺の履歴」
水野沙織
２月10日（水）　市民図書館　参加40人
「扇形の街『仙台』」　三好俊文
２月24日（水）　広瀬図書館　参加77人
「絵図で読み解く愛子周辺の歴史」　菅野正道
３月５日（土）　若林図書館　参加79人
「南小泉・木ノ下の歴史を探る」　三好俊文
３月19日（土）　宮城野図書館　参加93人
「絵図・地図でたどる原町地区の履歴」
水野沙織

⑷「3.11から５年　―絵図・地図・写真でたどるむかしといま―」
・主催　仙台市博物館、東北電力グリーンプラザ
・会場　東北電力ビルグリーンプラザ「とうほく文化情報コーナー」
・期間　平成28年３月８日（火）
～平成28年５月８日（日）
・内容　仙台市内津波被災地について、絵図や地図、震災前と現在の写真を用いてその変化を紹介するパネルや、震災後の博物館の活動や被災資料の保全活動についてのパネルなどを展示

「3.11から５年」の開催状況

４．広報事業

市史編さん事業の成果を広く市民に周知し、地域の歴史や文化に対する関心を高めることと、『仙台市史』の販売促進を目的に、さまざまな広報事業に取り組んでいる。

⑴　仙台商工会議所機関誌『飛翔』での連載

『飛翔』には、平成26年度から旧仙台藩領の物産や名所を紹介する「地域のたから、自慢の逸品」を連載し、学芸普及室および学芸企画室の職員が執筆を担当していたが、平成27年も連載を継続した。平成28年１月からは、地下鉄東西線開業に関連して、東西線各駅付近の歴史を紹介する「地域のたから　東西線編」に内容を改め、連載を継続している。内容、執筆者は以下の通り。

2015年　４月号「柳生和紙」（菅野正道）
５月号「鷹」（菅野正道）
６月号「酒」（水野沙織）
７月号「薬種」（倉橋真紀）
８月号「馬」（佐々木徹）
９月号「萩」（菅野正道）
10月号「案内湯豆腐」（佐々木徹）

11月号「仙台箪笥」（髙橋あけみ）
12月号「地下鉄」（菅野正道）
2016年　１月号「荒井駅」（菅野正道）
２月号「八木山動物公園駅」（菅野正道）
３月号「六丁の目駅」（菅野正道）

⑵　タウン誌『Kappo』での連載

仙台を代表するタウン誌（隔月発行）の一つである『Kappo』に、平成26年度から「仙台、歴史のさんぽ道」を連載している。各号の内容は以下の通り。

2015年　５月号「岩切に中世を歩く」
７月号「政宗が愛した根白石」
９月号「過去と現在が交差する柳生」
11月号「仙台の近代化を支える」
2016年　１月号「東西線に乗って政宗を探す」
３月号「東京で仙台を探す」

⑶　市史販売促進活動

市史講座などの博物館主催の講座やイベントに際し、『仙台市史』や『市史せんだい』を販売し、会場での購入者に平成26年度に作成した専用のクリアファイルを特典とするなどの仙台市史の販売促進活動を随時実施している。

５．調査・資料収集

市域に関連する歴史資料の調査や収集については、前述した仙台市史編さん委員会からの提言書を受けて、継続的に行っている。調査資料については、デジタルカメラ等を用いた撮影や目録作成などを行っている。また、昨年度までの市史編さん事業で調査・収集した資料のデータベース作成、デジタル化の作業も継続実施した。

⑴　主な調査先・資料群

仙台市／仙台藩士半沢家文書
旧岩切村行政資料
岩手県／花巻市博物館
茨城県／龍ケ崎市歴史民俗資料館
横浜市／（財）馬事文化財団馬の博物館

⑵　購入資料

・仙台伊達領全図（江戸時代後期写し）　１鋪
・鷹図（天正14年　広田伊賀守宗綱）　１幅
・仙台藩古文書　一括
・欧南遣使考　１冊
・仙台関係近代資料　一括
・仙台近郊町村行政資料　一括
・早川家関係資料　一括
・菊地勝之助関係資料　一括
・小西家関係資料　一括
・河北新報（明治37、８年）　４綴

６．資料保全・震災アーカイブ活動

平成26年度に引き続き、東日本大震災で被害をうけた歴史資料を対象に資料レスキュー活動（救出・一時保管、整理など）を行い、個人が所蔵する資料の保全処置を実施したほか、個人宅の資料調査を行った。整理が終了した資料については、所蔵者の意向を踏まえながら、順次返却を開始している。

また、津波で被災した市内３小学校の資料について、各学校及び仙台市教育委員会学事課と協議・調整をしながら、燻蒸作業やデジタル化を進めた。預かっていた荒浜小学校所蔵資料の一部と中野小学校所蔵資料については返却に至った。

〔活動状況〕

平成27年３月28日～４月12日　パネル展「東日本大震災と資料レスキュー活動 The Great East Japan Earthquake and Salvation of Historical Materials」（会場：仙台市博物館）
５月28日　資料調査（若林区六丁の目）、巡回調査（七郷地区）
６月18日　被災資料の借用（荒浜小学校）
７月28日　被災資料の返却（中野小学校）
９月３日　被災資料の返却（荒浜小学校）
９月17日　豪雨に伴う巡回調査（六郷・七郷・中野・高砂・岩切地区）
９月24･25日　被災資料の洗浄作業（仙台市博物館）
平成28年２月７日　津波被災地の現状調査（高砂・中野地区）
２月８日　津波被災地の現状調査（六郷･七郷地区）
３月１日　被災資料の返却（中野小学校）
３月８日～５月８日　パネル展「3.11から５年―絵図・地図・写真でたどる　むかしといま―」（会場:東北電力グリーンプラザ「とうほく文化情報コーナー」）

6. 文化庁補助事業

被災ミュージアム再興事業

東日本大震災で被災した博物館施設の復興、修した資料の整理・データベース化、応急措置を施した被災資料を収蔵する場所の確保等に要する経費を国が補助する事業である。平成26年度、仙台市博物館では、以下の事業を行った。

1）修理した資料の整理・データベース化を行う事業（事業費8,256,720円）

東日本大震災で被災し、当館の活動で保存、修理などの処置を行った資料について、前年度に引き続き、整理やデータベース化を進めた。

2）応急処置を施した資料を収蔵する場所を確保する事業（事業費823,376円）

東日本大震災で被害をこうむった博物館施設の修繕や、被災した資料を収蔵する場所を整備する事業。館外の収蔵施設として確保している文化財課野村収蔵庫の環境整備や、同所などに保管している資料の燻蒸作業を実施した。

3）被災した資料を修理する事業（事業費3,456,000円）

東日本大震災で被災した資料で、当館に寄贈ないしは寄託が予定されていた資料を保存および展示のために修理する事業。以下の６件の資料について実施した。

①坤輿万国図屏風	６曲１隻	個人蔵
②松図屏風	６曲１双	個人蔵
③留守景宗判物	１幅	館蔵（佐藤勝五郎氏寄贈）
④朴沢家文書	10通	個人蔵
⑤回文屏風	６曲１隻	個人蔵
⑥涅槃図	１幅	個人蔵

修復のおわった留守景宗判物

7. ボランティア

仙台市博物館では「仙台市博物館ボランティア（三の丸会）」が展示解説をボランティアで行っている。平成９年に組織されたこの団体は平成27年で19年目を迎え、平成27年度の登録者は122人であった。

ボランティア活動は活動班（各班10人～11人の12班編成）に分かれ、２週間に１回程度活動している。活動内容は常設展示室での資料解説が主で、他にもプレイミュージアムでの活動補助、平成22年度からは館庭（三の丸跡）案内をしている。

会の運営や情報交換は月１回の役員会で行われる。役員会は会長、副会長、会計、監事、各部長、班長、担当職員からなる。会全体の活動方針に関わる事項は年１回の総会で決定している。

また、ボランティアの任期については平成19年度より５年任期制を導入している。しかし市民からボランティア活動への要望が高まり、新規ボランティアの採用の仕方について見直しを図る必要が出てきたことから、平成27年度、任期についての見直しを行った。その結果、５年任期後の再応募は妨げないが連続した活動は10年までとすること、10年活動後は一度退会することが、役員会等を通して了承された。

１．新規会員の募集・養成講座等

新規ボランティア募集に44人の応募があり、抽選の結果39人を採用（新規採用18人、再応募21人）した。採用通知後の辞退者が３人あったが、新規採用者15人については、以下のボランティア養成講座（２日間･12講座）を受講することによって会員として登録された。

・１日目：博物館の概要／ボランティア活動について／三の丸会の紹介／歴史部門の展示説明／美術部門の展示説明
・２日目：歴史部門展示の説明／美術部門の展示説明／教育普及／プレイミュージアム

※６月に行った登録・更新式で新規会員に対して登録証を交付した。

２．解説活動

平成27年度の年間活動日数は306日、ボランティアののべ活動人数は2,607人であった。展示解説件数は14,346件、観覧者29,737人に対応した。小・中学生の見学への対応の他、市民センターや老荘大学など、一般団体向けの解説依頼に多数対応した。

また、三の丸会の発案により、平成27年度から新たに「伊達政宗コース」と「支倉常長コース」の２つのガイドメニューを設け、来館者の要望に応じて実施している。三の丸会では会員がガイドに困らないよう、二つのコースのガイド案を作成し、会員に配布している。

政宗コースと常長コース

仙台城ガイダンス機能を拡充させる目的でスタートした館庭案内は１日１回、４月から11月末日まで行い、実施日数が167日（中止44日）、840人の観覧者を案内した。四季を通じて楽しめる三の丸館庭は、来館者にとっても魅力的なエリアになっており、解説に力を入れている。

また予約による英語解説も受け付けており、留学生や市内ALT研修を始め、要望があった際には三の丸会英語部が中心となって対応した。常設展の展示解説の他、プレイミュージアムで日本の文化に触れてもらうなど、海外の来館者から好評を得ている。

海外からの来館者と（英語部）

3．部会活動

ボランティアは活動班の他に、５つの部会のいずれかに属し活動している。

表17　三の丸会の部会

部会	活動内容
運営部	会の運営に関する事務全般を担当し、会則の改正や総会の準備、議事録作成等を行う。
研修部	会員の研究発表会、学習会、講演会、館外研修会などの企画・運営を担当する。
会報部	三の丸会会報を発行。博物館情報、会員による寄稿文、勉強会報告などが掲載され、情報共有化の大切な手段となっている。
英語部	海外からの観覧者に英語で解説する。予約による英語解説も行っている。部会では勉強会の他、英語ガイド実例集を作成。
資料部	観覧者からの質問と回答をまとめた「尋解集」の作成や、各種資料の収集・保管を担当。古文書講読会を月に1度実施。

4. 主な研修

○ギャラリートーク（春の展示）
　日時：４月15日（水）９：15～９：45
　会場：博物館展示室
　講師：髙橋あけみ、佐々木　徹

○ギャラリートーク（夏の展示）
　日時：６月10日（水）９：15～９：45
　会場：博物館展示室
　講師：酒井昌一郎、中武敏彦

○ギャラリートーク（秋の展示）
　日時：９月16日（水）９：45～10：15
　会場：博物館展示室
　講師：樋口智之、酒井昌一郎

○接遇研修（第１回）※生涯学習課、科学館と共催
　日時：平成27年９月16日（水）10：30～12：00
　会場：博物館講習室
　講師：ロイヤルパークホテル人事統括マネージャー
　　小倉典子氏
　内容：接遇・ホスピタリティに関する研修
　参加：44人（博物館42人、天文台１人、
　　科学館１人）

○接遇研修（第２回）※生涯学習課、科学館と共催
　日時：平成27年11月28日（土）10：00～11：30
　内容：①事例紹介
　　科学館せかぼ倶楽部　　繁野　健氏
　　佐々木光一氏
　　博物館三の丸会　　鈴木正行氏
　　縄文の森広場ボランティア　佐藤　隆氏
　　②講話「社会教育施設に来館する児童・生徒への対応」
　　教育委員会健康教育課　　松本宏子氏
　　教育委員会生涯課　　髙橋一誠氏
　　③科学館案内　科学館指導主事
　　花田義輝氏
　参加：42人（博物館21人、科学館18人、縄文の森広場３人、歴史民俗資料館１人）

○研修部主催・研修会（第１回）
　日時：平成27年７月31日（金）10：00～11：30
　会場：博物館ホール
　講師：菅野正道
　内容：講話「政宗は、なぜ仙台を選んだか」

○研修部主催・研修会（第２回）
　日時：平成27年10月16日（金）10：00～11：30
　会場：博物館講習室
　講師：菅野正道
　内容：講話「仙台藩の家臣団あれこれ」

○研修部主催・研修会（第３回）
　日時：平成28年２月11日（水）10：00～11：30
　会場：博物館講習室
　講師：菅野正道
　内容：講話「仙台城と藩政」

○館外研修
　日時：平成27年10月４日（日）８：30～17：00
　テーマ：「伊達政宗と登米」
　参加者：ボランティア43人、館職員１人
　講師：登米伊達家16代当主　　伊達宗弘氏
　　登米市歴史博物館学芸員　　小野寺智哉氏
　　登米市観光物産協会　　渡邉　優氏
　　東陽寺31世住職　　寿海英人氏
　主な訪問先：覚乗寺、寺崎城址、登米懐古館、武家屋敷、東陽寺、登米歴史博物館、佐沼城址等

小野寺学芸員の解説（佐沼城址にて）

５．ボランティアと博物館との懇談会

日時：平成28年２月22日（月）11：00～12：00

場所：博物館講習室

参加者：ボランティア39人、博物館職員13人

より多くの方々に喜ばれる博物館にするため、ボランティアと職員の情報交換を兼ねた懇談会を２月に行った。館側からは５年任期についての改定案の説明等を行った。ボランティアからはガイドについての悩みや展示についての要望、日頃の活動を通して気づいたことなどが出され、博物館職員と意見を交換することができた。

６．博物館ボランティア新規募集説明会

新規のボランティア希望者を対象に、説明会を実施した。

日時：平成28年３月６日（日）10：00～11：30

場所：博物館講習室

内容：講話「ボランティア活動について」担当職員
講話「ボランティア活動の実際」
19期　小林　茂氏、仲嶺信隆氏

参加者：19人

始めに担当職員より博物館ボランティアの実際について説明した後、現会員（19期生）の小林氏、仲嶺氏から体験談等についての話があり、新年度の活動に向けて有意義な説明会となった。

8. 友の会

仙台市博物館友の会は、博物館活動を愛好する市民によって昭和47年に結成された。博物館を中心として歴史・芸術・民俗などに関する知識を深めながら会員相互の親睦をはかり、かつ博物館活動の支援を目的として、その普及発展に寄与してきた。

会員は賛助会員（年会費１口　5,000円）・普通会員（年会費　3,000円）・学生会員（年会費　2,000円）からなる。平成27年度の普通会員数は740人であった。すべての会員構成は、別表の通りである。

友の会の企画運営は、役員とそれを補佐する準役員から構成される役員会において決定されており、本年度の役員会は11回開催された。また役員は会報を編集する編集委員会、研修会を企画・立案する研修委員会、講演会の司会や受付などを担当する講座委員会に属し、それぞれ積極的に活動を行った。各事業には友の会サポーターにも協力をいただいた。

会の事業実績は、右記のとおりである。広報セミナー５回、日帰り研修会２回、古文書講読会１回、友の会講座１回などを実施し、いずれも多くの会員の参加を得ることができた。

表18　平成27年度会員内訳

	性別	年代	人数		
賛助会員			29	29	
普通会員	男性	10　代	0	360	740
		20　代	1		
		30　代	8		
		40　代	19		
		50　代	46		
		60　代	116		
		70　代	93		
		80　代	36		
		90　代	2		
		その他	39		
	女性	10　代	0	380	
		20　代	5		
		30　代	17		
		40　代	33		
		50　代	54		
		60　代	109		
		70　代	64		
		80　代	20		
		90　代	0		
		その他	78		
学生会員			12	12	
計			781		

平成27年度友の会事業実績

１．　総会

４月６日　博物館ホール　参加91人

２．　事業

⑴　会報発行

６月１日　171号、９月１日　172号、
12月１日　173号、３月１日　174号

⑵　行事

４月６日　広報セミナー
「DAIMYO
—仙台藩と伊達家の名品」
講師　髙橋あけみ主幹　　参加91人

５月７日　広報セミナー
「国宝　吉祥天女が舞い降りた！」
講師　酒井昌一郎学芸員　参加174人

５月28日　日帰り研修会　鶴岡方面　参加40人
講師　酒井昌一郎学芸員
星川礼応学芸員

７月21日　広報セミナー
「ご覧あれ　浮世絵の華」
講師　寺澤慎吾学芸員　　参加120人

10月19日　広報セミナー
「宇和島伊達家の名宝」
講師　水野沙織学芸員　　参加120人

10月28日　日帰り研修会　白石方面
講師　菅原美咲学芸員　　参加40人

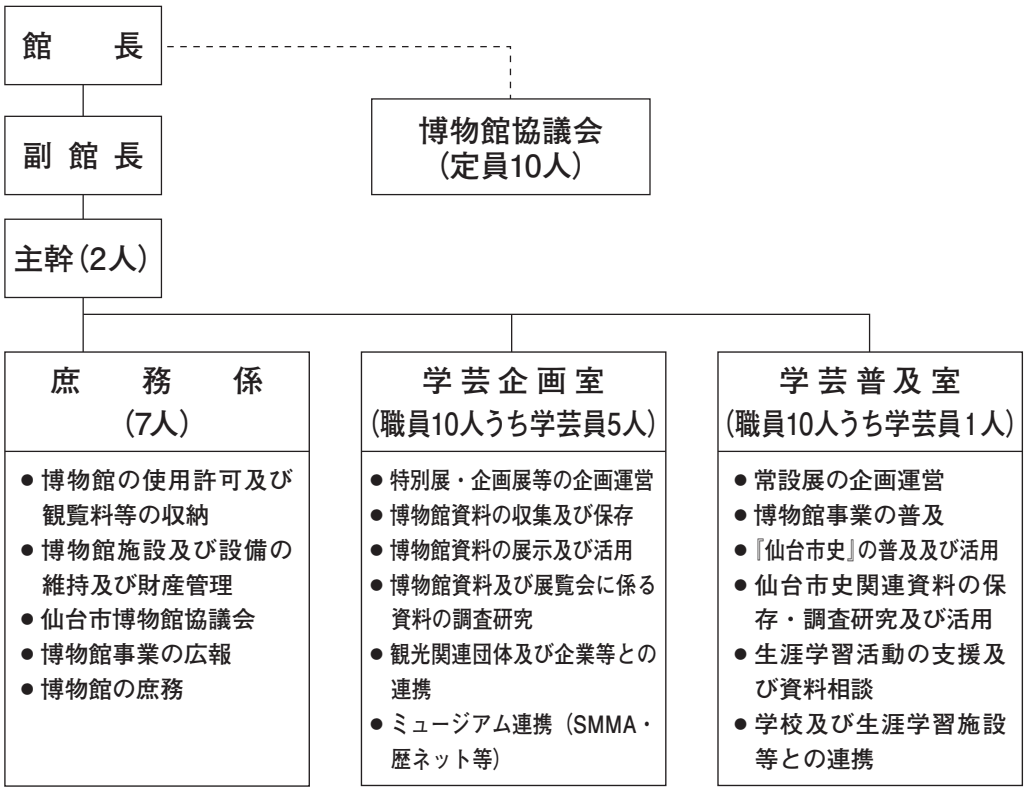
12月７日　広報セミナー
「せんだい再発見！」
講師　佐々木徹学芸員　　参加113人

１月31日　古文書講読会
「藩境を越えて—仙台藩の街道史料を読む—」
講師　菅原美咲学芸員　　参加138人

２月14日　友の会講座
「仙台の都市交通史と鉄道
～宮城電鉄から地下鉄東西線へ～」
講師　菅野正道主幹兼学芸普及室長
参加96人

9. 組織・予算・運営

組織・事務分掌（平成27年４月１日現在）



予算概要

表19　平成27年度予算概要　（単位：千円）

費目		当初予算額	摘要
1　運営管理費	（1）光熱水費	54,544	電気、上・下水道、ガス使用料
	（2）管理運営委託費	101,483	警備、清掃、電気機械設備運転保守、観覧料収納・案内、看板・演示具製作、展示物運搬・陳列等の委託費
	（3）施設修繕費	4,677	機械設備等修繕費
	（4）資料修繕費	1,388	収蔵資料修繕費
	（5）その他管理運営費	20,165	教育普及、調査研究、その他運営管理に要する経費
	小計	182,257	
2　資料購入費		2,178	展示用美術工芸品・歴史資料等の購入経費
3　特別展覧会開催費		53,625	特別展覧会開催に要する経費
4　市史編さん費		17,238	「仙台市史」編さん・刊行に要する経費
5　維持修繕費		97,211	空気熱交換機改修工事設計
合計		352,509	

職　員（平成27年４月１日現在）

館　　長　遠藤俊行
副館長　内山淳一
主　幹　髙橋あけみ
主　幹　菅野正道

室・係	職名	氏名
庶務係	係長	守勝行
	主任	稗貫信
	主任	南部英湖
	主事	木村公一
	臨時職員	鈴木由香
	非常勤嘱託職員	鈴木友希恵
	非常勤嘱託職員	阿部さやか
学芸企画室	室長	樋口智之
	主任	酒井昌一郎
	主事	佐々木徹
	主事	菅原美咲
	主事	寺澤慎吾
	非常勤嘱託職員	明石治郎
	非常勤嘱託職員	鈴木かおる
	非常勤嘱託職員	星川礼応
	非常勤嘱託職員	中武敏彦
	非常勤嘱託職員	山田今日子
学芸普及室	室長	（菅野主幹事務取扱）
	指導主事	山澤一郎
	指導主事	山田貴史
	主事	水野沙織
	非常勤嘱託職員	村岡淳子
	非常勤嘱託職員	氏家文枝
	非常勤嘱託職員	二上玲子
	非常勤嘱託職員	倉橋真紀
	非常勤嘱託職員	菅原友子
	非常勤嘱託職員	三好俊文
	非常勤嘱託職員	大平千波弥

仙台市博物館協議会

平成27年度　仙台市博物館協議会委員

（五十音順・敬称略　◎＝会長　○＝副会長）

◎泉　　武夫　　東北大学大学院教授
　尾崎　彰宏　　東北大学大学院教授
　小野寺　健　　仙台市議会議員
　菊池　勇夫　　宮城学院大女子大学教授
○佐川　正敏　　東北学院大学教授
　佐藤　憲子　　元仙台市社会学級研究会会長
　須藤　由子　　仙台市立上杉山中学校長
　伊達　泰宗　　伊達家伯記念會取締役会長
　濱田　淑子　　東北福祉大学美術工芸館参与
　森　美智子　　東北学院大学教授

平成27年度　協議内容

第１回　平成27年５月19日（火）

１　報告事項

⑴　平成27年４月の観覧者数について

⑵　国連防災世界会議開催記念特別展示「ＤＡＩＭＹＯ―仙台藩と伊達家の名品」の観覧者数について

⑶　特別展「国宝　吉祥天女が舞い降りた！―奈良　薬師寺　未来への祈り―」の中間報告について

⑷　市史活用推進事業について

⑸　学校・その他の連携事業等について

２　協議事項

⑴　特別展「宇和島伊達家の名宝―政宗長男・秀宗からはじまる西国の伊達―」について

第２回　平成27年７月28日（火）

１　報告事項

⑴　平成27年５～６月の観覧者数について

⑵　特別展「ご覧あれ　浮世絵の華―歌麿・北斎・広重　平木コレクションの名品―」の中間報告について

⑶　特別展「国宝　吉祥天女が舞い降りた！―奈良　薬師寺　未来への祈り―」の結果報告について

⑷　市史活用推進事業について

⑸　学校・その他の連携事業等について

２　協議事項

⑴　『仙台市史』完結･仙台市地下鉄東西線開業記念企画展「せんだい再発見！―こんなことわかりました。平成の『仙台市史』」について

第３回　平成27年11月10日（火）

１　報告事項

⑴　平成27年７～10月の観覧者数　について

⑵　特別展「ご覧あれ　浮世絵の華―歌麿･北斎･広重　平木コレクションの名品―」の結果報告について

⑶　特別展「宇和島伊達家の名宝―政宗長男･秀宗からはじまる西国の伊達」の中間報告について

⑷　市史活用推進事業について

⑸　学校・その他の連携事業について

２　協議事項

⑴　特別展「国立カイロ博物館所蔵　黄金のファラオと大ピラミッド展」仙台展について

第４回　平成28年２月９日（火）

１　報告事項

⑴　平成27年11月～平成28年１月の観覧者数について

⑵　特別展「宇和島伊達家の名宝―政宗長男・秀宗からはじまる西国の伊達」の結果報告について

⑶　企画展「せんだい再発見！―こんなことわかりました。平成の『仙台市史』」の中間報告について

⑷　市史活用推進事業について

⑸　学校・その他の連携事業について

２　協議事項

⑴　企画展「イチ押し収蔵品　主役･わき役キャラクター大集合！―ゆかい★ほのぼの★お化けも登場―」について

10. 利用状況

月別観覧者数

表20　月別観覧者数

（人）

月	個人				団体				無料	総計
	一般	高校	小中	計	一般	高校	小中	計		
4	8, 508	102	1, 305	9, 915	158	278	323	759	2, 669	13, 343
5	34, 650	561	1, 883	37, 094	493	0	715	1, 208	4, 800	43, 102
6	37, 135	441	1, 166	38, 742	1, 036	9	327	1, 372	6, 586	46, 700
7	7, 919	209	446	8, 574	51	0	88	139	1, 834	10, 547
8	16, 811	744	1, 166	18, 721	38	10	14	62	2, 989	21, 772
9	8, 912	187	776	9, 875	188	0	158	346	2, 568	12, 789
10	7, 927	153	165	8, 245	135	0	35	170	2, 548	10, 963
11	8, 098	178	105	8, 381	360	17	0	377	2, 897	11, 655
12	2, 617	34	116	2, 767	30	0	45	75	1, 554	4, 396
1	2, 432	25	77	2, 534	0	0	0	0	2, 287	4, 821
2	2, 881	33	60	2, 974	0	0	0	0	1, 623	4, 597
3	3, 567	129	299	3, 995	0	0	0	0	1, 144	5, 139
計	141, 457	2, 796	7, 564	151, 817	2, 489	314	1, 705	4, 508	33, 499	189, 824

展示開館日数：259日

施設利用状況

表21　ギャラリー利用状況

利　用　団　体　名	利　用　期　間	日　数	利　用　内　容
博物館		291	特別展、資料整理等
計		291	

表22　ホール利用状況

利　用　団　体　名	利　用　期　間	日　数	利　用　内　容
宮城教育大学教育復興支援センター	10／17～10／18	2	フォーラム
一般財団法人　関西情報センター	3／12	1	フォーラム
宮城教育大学教育復興支援センター	1／23	1	フォーラム
公益財団法人　仙台フィルハーモニー管弦楽団	2／14	1	合唱団リハーサル
博物館		284	講演会、ビデオガイダンス等
計		289	一般貸出利用者計486人

展示開館日数：259日

講師等利用状況

表23　講師利用件数表

内訳／年度	件数（件）					人数（人）				
	館内		館外		計	館内		館外		計
	学校	一般	学校	一般		学校	一般	学校	一般	
平成27年度	87	44	5	29	165	4,792	1,410	427	2,915	9,544

表24　レファレンス対応等表（件）

内訳／年度	資料相談・質問対応等	マスコミ対応等	資料閲覧対応等	写真貸出・写真利用	計
平成27年度	195	224	33	233	791

視察対応状況

表25　平成27年度　視察対応状況

月　日	視　　察　　者	人　数
5／25	大韓民国・光州広域市職員	6人
6／26	在バチカン日本国特命全権大使　長崎輝晃 氏	1人
7／24	北海道教育委員他	5人
8／5	愛知県史編さん室職員	1人
8／6	徳島市議会副議長他	3人
8／18	福島県郡山市社会教育委員他	11人
10／2	大都市文化振興財団等連絡会	32人
10／21	仙台商工会議所　会頭　鎌田宏 氏他	3人
10／22	仙台市議会議員　わたなべ拓 議員	1人
10／28	登米市文化財保護委員他	14人
11／12	仙台市議会議長　岡部恒司 氏他	2人
11／13	東北都市市民主管課長会議	8人
11／19	仙台商工会議所文化観光部会	22人
12／17	自由民主党広島県議会議員連盟　教育問題研究調査会	7人

11. 条例・規則・要綱等

仙台市博物館条例

昭和60年12月19日
仙台市条例第二九号

仙台市博物館条例（昭和36年仙台市条例第二十二号）の全部を改正する。

（設　置）

第一条　歴史、美術工芸等に関する資料を収集し、保管し、及び展示して市民の教養の向上、調査研究等に資するとともに、これらの資料に関する調査研究及び普及活動を行うことを目的として、博物館を設置する。

（名称及び位置）

第二条　博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名　　称	位　　置
仙台市博物館	仙台市青葉区川内二十六番地

（観覧料）

第三条　博物館が展示する資料を観覧しようとする者は、別表第一に定める観覧料を納入しなければならない。

（使用の許可）

第四条　別表第二に掲げる施設（以下「施設」という。）を使用しようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。

2　教育委員会は、次の各号の一に該当するときは、前項の許可をしないことができる。

一　公の秩序を乱すおそれがあるとき

二　管理上支障を及ぼすおそれがあるとき

三　使用目的が博物館の設置目的に反するとき

（使用料）

第五条　施設の使用料は、別表第二に定めるとおりとする。

2　使用料は、前条第一項の許可の際に納入しなければならない。ただし、市長が必要と認めるときは、使用料を別に定める納期限までに納入させることができる。

（使用料の額の特例）

第五条の二　市長は、前条第二項ただし書の規定により使用料を別に定める納期限までに納入させる場合において、当該納期限の日以前に、第四条第一項の許可を受けた者につき次の各号のいずれかに該当すると認めるとき（使用料が既納の場合を除く。）は、前条第一項の規定にかかわらず、同項に規定する使用料の額の範囲内で使用料の額を定めることができる。

一　天災その他自己の責めによらない事由により施設を使用できないとき

二　市長が別に定める期間内に施設の使用の取りやめを申し出たとき

（使用許可の取消し等）

第六条　教育委員会は、次の各号の一に該当するときは、第四条第一項の許可を取り消し、又は使用を制限し、若しくは停止することができる。

一　第四条第一項の許可を受けた者がこの条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき

二　第四条第二項各号の一に該当することとなったとき

（観覧料等の返還）

第七条　既納の観覧料及び使用料は、返還しない。ただし、次の各号のいずれかに該当すると市長が認めるときは、その全部又は一部を返還することができる。

一　観覧料を納入した者につき天災その他自己の責めによらない事由により観覧できないとき

二　使用料を納入した者につき第五条の二各号のいずれかに該当するとき

（観覧料等の減免）

第八条　市長は、特別の事由があると認めるときは、観覧料及び使用料を減免することができる。

（損害賠償）

第九条　博物館の建物、付属設備又は資料を損傷し、又は滅失した者は、その損害を賠償しなければならない。

（博物館協議会）

第十条　博物館法（昭和二十六年法律第二百八十五号）第二十条第一項の規定に基づき、博物館に仙台市博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2　協議会の委員の任命の基準は、博物館法施行規則（昭和三十年文部省令第二十四号）第十八条に規定する基準とする。

3　協議会の委員の定数は、十人とする。

4　協議会の委員の任期は、二年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（委　任）

第十一条　この条例の施行に関し必要な事項は、市長又は教育委員会が定める。

附　則

この条例は、昭和61年３月１日から施行する。

附　則（昭63、12・改正）抄

この条例は、昭和64年４月１日から施行する。

附　則（平３、12・改正）抄

（施行期日）

１　この条例は、平成４年４月１日から施行する。

（経過措置）

２　次項に定めるものを除き、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）前になされた使用の許可その他これに類する行為に係る使用料又は手数料については、なお従前の例による。

附　則（平９、３・改正）抄

（施行期日）

１　この条例は、平成９年４月１日から施行する。

（経過措置の原則）

２　次項から附則第十三項まで定めるものを除き、この条例の施行の日（以下「施行日」という。）前になされた使用の許可その他これに類する行為に係る使用料又は手数料については、なお従前の例による。

附　則（平15、７・改正）

この条例は、公布の日から施行する。

附　則（平16、３・改正）

この条例は、公布の日から施行する。

別表第一（第三条関係）

区分			金額（１人につき）
常設展	個人利用	一般	400円
		高校生	200円
		小学生・中学生	100円
	団体利用	一般	320円
		高校生	160円
		小学生・中学生	80円
特別展			1,500円の範囲内で教育委員会が定める額

備考

一　特別展の観覧料を納入したものは、常設展は無料とする。

二　団体利用とは、30人以上の団体による利用をいう。

三　常設展のみの団体利用においては、引率者は、30人に１人の割合で無料とする。

別表第二（第四条、第五条関係）

使用区分＼使用時間		午前（9:00～12:00）	午後（13:00～16:30）
ホール	入場料を徴収しない場合	4,200円	6,500円
	入場料を徴収する場合	12,600円	19,500円
ギャラリー	入場料を徴収しない場合	3,000円	4,400円
	入場料を徴収する場合	9,100円	13,200円

備考

一　全日（午前９時～午後４時30分）の使用時間に係る使用料は、午前及び午後の使用料の合計額とする。

二　使用時間が本表に定める使用時間に満たない場合は、時間割計算は、行わない。

三　本表に定める使用時間を超えて使用する場合における当該超える分に係る使用料は、その使用が午前９時以前又は正午から午後１時までのときは午前、午後４時30分以降のときは午後の使用料の額の時間割計算による。この場合において、超える時間に一時間に満たない端数があるときは、これを一時間に切り上げる。

四　本表に定める使用時間に準備等のために使用する場合の使用料は、当該使用料の２分の１とする。

五　日曜日又は国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第百七十八号）に規定する休日に使用する場合は、本表に定める使用料の２割増しとする。

六　付帯設備の使用料は、教育委員会が定める。

七　暖房し、又は冷房する場合の使用料は、教育委員会が定める。

仙台市博物館条例施行規則

昭和61年１月24日
仙台市教育委員会規則第二号

仙台市博物館条例施行規則（昭和36年仙台市教育委員会規則第八号）の全部を改正する。

（趣　旨）

第一条　この規則は、仙台市博物館条例（昭和60年仙台市条例第二九号。以下「条例」という。）の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

（開館時間）

第二条　博物館の開館時間は、午前９時から午後４時45分までとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、臨時にこれを変更することができる。

（休館日）

第三条　博物館の休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、休館日に開館することができる。

一　月曜日（国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第百七十八号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たる日を除く。）

二　休日の翌日（土曜日、日曜日、十月の第二月曜日の翌日又は休日に当たる日を除く。）

三　１月１日から１月４日まで及び12月28日から12月31日まで

四　その他教育委員会が必要と認める日

（平17、３・平27、３・改正）

（入館者の遵守事項）

第四条　入館者は次の事項を遵守しなければならない。

一　博物館の建物、付属設備若しくは資料を損傷し、若しくは汚損し、又はそのおそれのある行為をしないこと

二　許可を得ないで博物館の資料の撮影、模写等をしないこと

三　所定の場所以外の場所で喫煙又は飲食をしないこと

四　他の入館者に迷惑となる行為をしないこと

五　その他係員の指示に従うこと

（入館の制限）

第五条　教育委員会は、博物館を利用する者が次の各号の一に該当するときは、入館を拒絶し、又は退館を命ずることがある。

一　適当な指導者又は付添人のない満六歳未満の者

二　でい酔者

三　他人に危害を及ぼし、若しくは他人の迷惑となるおそれのある物品を携帯し、又は動物を伴う者

四　係員の指示に従わない者

五　その他管理上支障があると認められる者

（観覧券）

第六条　博物館が展示する資料を観覧しようとする者は、観覧券の交付を受け、展示室の入り口においてこれを係員に提示しなければならない。

２　前項の観覧券は、観覧料の納入の際に交付する。ただし、教育委員会が特別の事由があると認めるときは、この限りでない。

（使用許可の手続）

第七条　条例第四条第一項の許可（以下「使用許可」という。）を受けようとする者は、使用しようとする日（以下「使用日」という。）の十四日前までに使用申込書を教育委員会に提出しなければならない。

２　前項の使用申込書の受付は、使用日の３月前から行うものとする。ただし、教育委員会が特に必要と認めるときは、６月前から行うことができる。

３　教育委員会は、使用許可をしたときは、使用承認書を交付するものとする。

（市長が必要と認めるときの使用料の納期限）

第七条の二　条例第五条第二項ただし書に規定する市長が必要と認めるときは、次の各号に掲げる場合とし、同項ただし書に規定する別に定める納期限は、当該各号に掲げる場合の区分に応じ、それぞれ当該各号に定める日とする。

一　使用料を口座振替の方法により納入する場合　使用許可を受けた日の属する月の翌月末日

二　教育委員会が特別な事由があると認める場合　教育委員会が定める日

（市長が必要と認めるときの使用料の額の特例）

第七条の三　使用許可を受けた者（以下「使用者」という。）が条例第五条の二第一号に該当する場合において、同条の規定により市長が定める使用料の額は、零とする。

２　条例第五条の二第二号に規定する市長が別に定める期間は、次の各号に掲げる期間とし、同条の

規定により市長が定める使用料の額は、前項の規定にかかわらず、次の各号に掲げる期間の区分に応じ、それぞれ当該各号に定める額とする。

一　使用許可を受けた日から使用日の一月前の日までの期間　零

二　使用日の一月前の日の翌日から使用日の七日前の日までの期間　条例第五条第一項の規定による使用料（以下「従前の使用料」という。）の額の五割に相当する額（その額に百円未満の端数が生じたときは、これを切り上げた額）。ただし、附帯設備の使用料及び暖房し、又は冷房する場合の使用料にあっては、零

三　使用日の七日前の日の翌日から使用日までの期間　従前の使用料の額

3　使用者が前条の納期限までに使用料を納入せず、かつ、施設を使用する意思があると認められないときは、当該納期限の日において使用の取りやめの申出がなされたものとみなし、前項の規定を準用する。

（使用者の遵守事項）

第八条　使用者は、次の事項を遵守しなければならない。

一　使用の権利を譲渡し、又は転貸しないこと

二　使用許可を受けた目的以外の目的に使用しないこと

三　入場人員は収容定員を超えないこと

四　火災、盗難、人身事故その他の事故防止に留意すること

五　許可を得ないで寄付金の募集、物品の販売又は飲食物の提供を行わないこと

六　許可を得ないで広告物等の掲示若しくは配布又は看板立札等の設置を行わないこと

七　使用の終了後、直ちにその使用に係る施設を原状に回復すること

（観覧料等の返還）

第九条　観覧料を納入した者が天災その他自己の責めによらない事由により観覧できないときは、観覧料の全額を返還する。

2　使用者が条例第五条の二第一号に該当すると教育委員会が認める場合において、条例第七条ただし書の規定により既納の使用料を返還する場合の返還額は、既納の使用料の全額とする。

3　使用者が条例第五条の二第二号に該当すると教育委員会が認める場合において、条例第七条ただし書の規定により既納の使用料を返還する場合の返還額は、次の各号に掲げる期間の区分に応じ、それぞれ当該各号に定める額とする。

一　第七条の三第二項第一号に掲げる期間　既納の使用料の全額

二　第七条の三第二項第二号に掲げる期間　既納の使用料の額から当該額の五割に相当する額（その額に百円未満の端数が生じたときは、これを切り上げた額）を控除して得た額（附帯設備の使用料及び暖房し、又は冷房する場合の使用料にあっては、既納の使用料の全額）

4　使用料の返還を受けようとする者は、使用料返還申込書を教育委員会に提出しなければならない。

（観覧料等の減免）

第十条　観覧料又は使用料の減免を受けようとする者は、減免を受けようとする事由を記載した減免申込書を教育委員会に提出しなければならない。ただし、教育委員会が減免申込書の提出を必要としない事由があると認める者については、この限りでない。

（付帯設備等の使用料）

第十一条　条例別表第二備考第六号の付帯設備の使用料は、別表一に表の定めるとおりとする。

2　条例別表第二備考第七号の暖房し、又は冷房する場合の使用料は、同表に定める使用料の額に同表の使用区分に応じ別表二の表に定める額を加算した額とする。

（博物館協議会）

第十二条　仙台市博物館協議会（以下「協議会」という。）に会長及び副会長１人を置き、委員の互選によって定める。

2　会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

3　副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代行する。

第十三条　協議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が必要と認めたときに開催する。

2　会長は、会議を招集し、その議長となる。

3　会議は、委員の過半数が出席しなければこれを開くことができない。

4　会議の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

第十四条　協議会の庶務は、博物館において処理する。

（実施細目）

第十五条　この規則の実施細目は、教育長が定める。

附　則

この規則は、昭和61年３月１日から施行する。

附　則（昭和63、２・改正）

この規則は、昭和63年４月１日から施行する。

附　則（平成９、３・改正）

（施行期日）

１　この規則は、平成９年４月１日から施行する。

（経過措置）

２　改正後の別表一の表の規定は、この規則の施行の日（以下「施行日」という。）以後になされた使用許可に係る付帯設備使用料について適用し、施行日前になされた使用許可に係る付帯設備使用料については、なお従前の例による。

附　則（平成９、９・改正）

この規則は、公布の日から施行する。

附　則（平成15、９・改正）

（施行期日）

１　この規則は、平成15年11月16日から施行する。ただし、第六条及び第十条の改正規定は、公布の日から施行する。

２　改正後の第九条の規定は、この規則の施行の日以後に使用料の返還の申込みがあった場合について適用する。

附　則（平16、３・改正）

この規則は、平成16年４月１日から施行する。ただし、第八条の改正規定及び第十三条の改正規定（「定例会及び臨時会とし、定例会は隔月に、臨時会は」を削る部分を除く。）は、公布の日から施行する。

附　則（平17、３・改正）

この規則は、平成17年４月１日から施行する。

附　則（平27、３・改正）

この規則は、平成27年４月１日から施行する。

別表第一（第十一条関係）

一　付帯設備使用料

区　　分	単位	金額（１回につき）
舞台照明設備	１式	1,000円
音響設備	１式	2,100円
視聴覚設備	１式	1,000円

備考　１回とは、使用１回（使用が２日以上にわたる場合は、１日）をいう。

二　暖房し、又は冷房する場合の加算額

区　　分	加算額（１時間につき）
ホール	500円
ギャラリー	400円

備考　暖房し、又は冷房する時間に１時間未満の端数があるときは、これを１時間に切り上げる。

仙台市博物館キャンパスメンバーズ制度設置要綱

（平成25年２月４日教育長決裁）

（趣旨）

第１条　この要綱は、仙台市博物館キャンパスメンバーズ制度（以下「制度」という。）の設置及び取扱いに関し、必要な事項を定めるものとする。

（設置目的）

第２条　仙台市博物館（以下「博物館」という。）は、大学等との連携を図り、学校教育における博物館の有効な活用を促し、学生等が歴史・文化に親しむ機会をより豊かにすることを目的に、仙台市博物館キャンパスメンバーズ制度を設けるものとする。

（対象）

第３条　制度に入会することができるものは、大学、短期大学、高等専門学校、専修学校等の学校単位とする。但し、博物館が認める場合は、学部等の単位でも入会することができる。

（名称）

第４条　制度に入会した大学等は、「仙台市博物館キャンパスメンバー」（以下「メンバー」という。）と称する。

（特典）

第５条　メンバーの特典は、次のとおりとする。

⑴　メンバーに在籍する学生及び教職員の常設展観覧料の全額免除及び特別展観覧料の半額免除

⑵　博物館が発行する印刷物の提供

⑶　博物館での校外授業、研修、見学等の実施への協力

⑷　その他博物館長が認めた事項

２　前項第１号の特典を受けようとする者は、その身分を証明するものを提示するものとする。

（入会手続）

第６条　制度に入会を希望する大学等は、別紙様式１に定める「仙台市博物館キャンパスメンバーズ入会申込書」（以下「申込書」という。）により入会手続きを行うものとする。

２　博物館は前項に定める入会手続を行った大学等がメンバーとしての要件を満たしている場合は入会を認め、別紙様式２に定めるメンバー証を発行するものとする。

（会費）

第７条　会費は、年会費とし、別表のとおりとする。ただし、次条第２項の規定により入会したメンバーの会費は、別表備考欄２のとおりとする。

２　前項の規定による会費は、納入通知書記載の納入期限までに納入するものとする。

３　博物館は、指定した期日までに会費の払い込みがない場合は、入会を取り消すことができるものとする。

（有効期間）

第８条　メンバーの有効期間は、原則として毎年４月１日から翌年の３月末日までとする。

２　大学等は、前項の規定にかかわらず、年度途中で入会できるものとする。この場合の有効期間の始期は、申し込みの時期、大学等の要望その他の状況を考慮し、博物館が定める。

（退会）

第９条　メンバーが退会しようとする場合は、博物館に退会届を提出するものとし、博物館が受理した時点で退会したものとする。

２　博物館は、メンバーとして適当でないと認められる行為があった場合は、当該メンバーを脱会させ、再入会させないことができるものとする。

３　退会した場合の会費は、原則として返還しない。

（事務）

第10条　制度の事務は博物館が行う。

（その他）

第11条　この要綱に定めるもののほか、必要な事項は、教育長が別に定める。

附　則

この要綱は、平成25年４月１日から施行する。

別表　区分と年会費

学生・教職員数	年会費	月割額
500人未満	30,000円	2,500円
500～1,000人未満	50,000円	4,200円
1,000～1,500人未満	75,000円	6,300円
1,500～2,000人未満	100,000円	8,400円
2,000～2,500人未満	125,000円	10,500円
2,500～3,000人未満	150,000円	12,500円
3,000～3,500人未満	175,000円	14,600円
3,500～4,000人未満	200,000円	16,700円
4,000～4,500人未満	225,000円	18,800円
4,500～5,000人未満	250,000円	20,900円
5,000～5,500人未満	275,000円	23,000円
5,500～6,000人未満	300,000円	25,000円
6,000～6,500人未満	325,000円	27,100円
6,500～7,000人未満	350,000円	29,200円
7,000～7,500人未満	375,000円	31,300円
7,500～8,000人未満	400,000円	33,400円
8,000～8,500人未満	425,000円	35,500円
8,500～9,000人未満	450,000円	37,500円
9,000～9,500人未満	475,000円	39,600円
9,500人以上	500,000円	41,700円

備考

1　学生数には、大学院生、通信制課程の学生を含む。また、基準となる学生数は申込日における直近の学校基本調査票（文部科学省指定統計）に基づくものとする。

2　年度中の入会に係る当該年度の会費については、月割額（当該年度を12で除して得た額に100円未満の端数が生じたときは100円に切り上げた額）に入会月から当該年度末までの月数を乗じて得た額とする。

12. 仙台市博物館のあゆみ

旧　館

昭和34年３月	博物館建設調査着手
35年１月	学識経験者による基本構想検討
３月	博物館建設費予算計上
９月	博物館建設事務局設置
10月	博物館建設工事着工
36年６月	同工事竣工（鉄筋コンクリート２階建一部地階　総床面積883㎡）
７月	博物館条例設定
９月	博物館施行規則及び処務規定制定
10月	同条例・施行規則施行
38年７～11月	第一次増築工事（鉄筋コンクリート２階建　総床面積244㎡）
43年３～11月	第二次増築工事（鉄筋コンクリート２階建　総床面積879㎡）
46年12月	第三次増築工事（鉄筋コンクリート２階建　総床面積405㎡）
～47年３月	
50年11月	文化財保護法第48条に基づく勧告・承認館認定
58年３月	新館建築のため休館
５月	旧博物館解体工事開始
７月	旧博物館解体工事完了

新　館

昭和57年４月	博物館基本構想策定委員会設置
７月	同委員会が「仙台市博物館基本構想報告書」を仙台市教育委員会へ提出
９月	市議会で新博物館基本設計費を議決
11月	新博物館建設基本設計開始
58年５月	新博物館建設実施設計・展示実施設計開始
59年１月	博物館改築工事安全祈願祭及び起工式執行
60年７月	建築工事完了
11月	定礎式
61年２月	展示工事完了
３月	新博物館開館
62年９月	新博物館入場者50万人達成
平成元年10月	新博物館入場者100万人達成
11年８月	新博物館入場者300万人達成
13年６月	「慶長遣欧使節関係資料」47点　歴史資料国宝第１号指定
19年９月	「仙台城ガイダンス機能拡充等事業」基本計画策定業務開始
21年３月	「仙台城ガイダンス機能拡充等事業」基本計画総合設計完了
21年９月	「仙台城ガイダンス機能拡充等事業」館内改修工事着工
22年３月	改修工事完了
22年４月	リニューアルオープン
23年３～４月	東日本大震災に伴う復旧工事（１期）
４月	開館50周年
６～７月	復旧工事（２期）
１～２月	復旧工事（３期）、完全復旧
24年７月	開館以来の入館者数が700万人を突破
25年６月	国宝「慶長遣欧使節関係資料」のうち、「支倉常長像」等３点がユネスコ記憶遺産に認定

仙台市博物館年報

第43号　平成27年度

編集・発行　仙台市博物館
仙台市青葉区川内26番地
〈仙台城三の丸跡〉
Tel.022(225)2557/0814

印　　刷　遠山青葉印刷株式会社
仙台市青葉区木町通二丁目5-24
Tel.022(272)7371

平成28年6月30日発行

©Sendai City Museum 2016

再生紙を使用しています